

国土交通省 土地・水資源局 水資源部 水源地域対策課

平成 22 年度水源地域活性化調査 「五ヶ山ダム水源地域活性化事業」

報 告 書

平成 23 年 3 月

ツルカメ O&E 株式会社

目 次

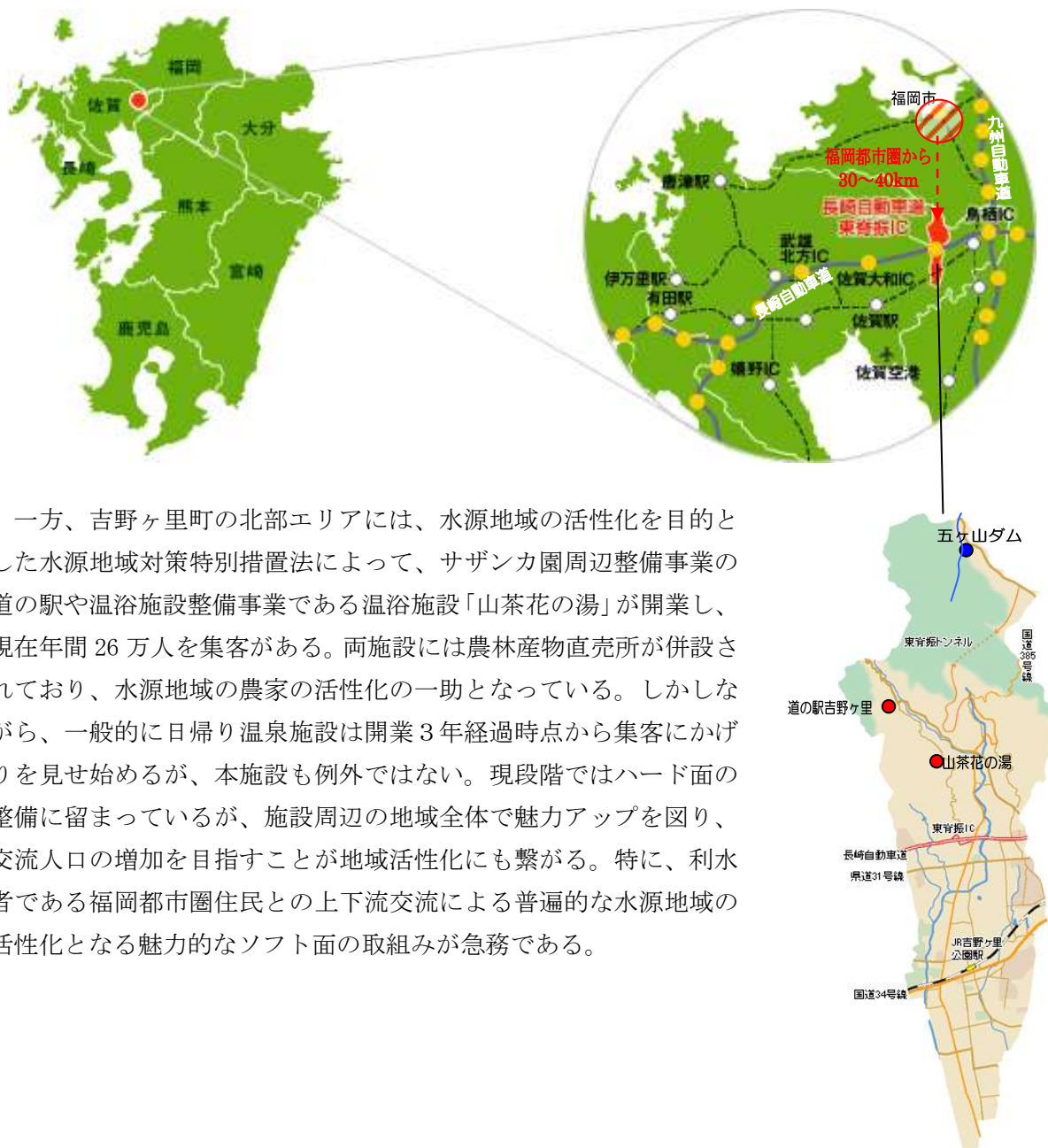
序章 事業概要	1
1. 水源地域の現状と本調査の背景	1
2. 事業の目的	2
3. 事業の内容	2
(1) 地域交流（ニューツーリズム）	2
(2) 健康づくり（ヘルシーカンパニー）	2
4. 事業スケジュール	3
5. 事業の進め方	4
第1章 地域交流（ニューツーリズム）	4
1. 地域交流によるニューツーリズム創出の考え方	5
2. 地域資源の整理	6
3. モニターツアー・体験プログラムの企画、準備、試行実施	8
(1) ツアー造成に向けた検討	8
(2) モニターツアー・体験プログラム内容概要	9
(3) 実施結果	12
(4) アンケートの評価・検証	30
(5) 成果と課題	31
4. 本格実施に向けての検討（次年度以降の展開）	32
(1) 体験プログラムの品質管理と継続的開発・提供を行う受け地側コーディネート機能（組織）の設置	32
(2) 福岡都市圏の企業研修向けツアーとヘルスツーリズムの呼び込みへの展開に向けて	32
(3) 効果的な販売チャネルの開発	33
(4) ツアー（サービス）と商品の融合の試み	33
第2章 健康づくり（ヘルシーカンパニー）	34
1. 健康づくり（ヘルシーカンパニー）推進の考え方	34
(1) 社会的背景	34
(2) 取組み概要	34
2. 健康づくり（ヘルシーカンパニー）推進に向けてのプログラムの試行	34
(1) プログラムの概要	35
(2) プログラムの試行	36
(3) アンケートの評価・検証	70
(4) 成果と課題	72
3. 本格的実施に向けて	74
(1) 産官学の健康づくりチームの結成	74
(2) 山茶花の湯を活用した企業・従業員の健康づくり	75
第3章 今後の実施に向けた実施体制について	78
補足説明	79
補足説明-1) スイス、レストランショーにて吉野ヶ里町産「栄西茶」の試飲サービスを実施	79
補足説明-2) 大塚製薬 ウォーキングで町おこしコンセプトシート	82
補足説明-3) アンケート用紙集	85

序章 事業概要

1. 水源地域の現状と本調査の背景

吉野ヶ里町は、吉野ヶ里遺跡をはじめとする歴史文化資源、吉野ヶ里公園を自然資源が豊富に存在するとともに、長崎自動車道の東脊振 IC が町の中央に位置し、東脊振トンネル有料道路が開通するなど、福岡都市圏とのアクセス利便性が良好である。

地の利を活かし、製造業の誘致によって、近年人口は増加傾向にあるものの、北部山間地に位置する水源地域は、ダム建設による人口流出、林業従業者の減少等に伴う山林の荒廃が進み、水源の涵養や土砂災害の防止等の自然環境の保全機能が損なわれ、水と緑の美しい自然景観も失われつつある。



一方、吉野ヶ里町の北部エリアには、水源地域の活性化を目的とした水源地域対策特別措置法によって、サザンカ園周辺整備事業の道の駅や温浴施設整備事業である温浴施設「山茶花の湯」が開業し、現在年間 26 万人を集客がある。両施設には農林産物直売所が併設されており、水源地域の農家の活性化の一助となっている。しかしながら、一般的に日帰り温泉施設は開業 3 年経過時点から集客にかけりを見せ始めるが、本施設も例外ではない。現段階ではハード面の整備に留まっているが、施設周辺の地域全体で魅力アップを図り、交流人口の増加を目指すことが地域活性化にも繋がる。特に、利水者である福岡都市圏住民との上下流交流による普遍的な水源地域の活性化となる魅力的なソフト面の取組みが急務である。

2. 事業の目的

本事業では、水源地域対策特別措置法によって整備された温浴施設「山茶花の湯」などのハードを活用して、周辺地域の地域団体や民間企業等との連携によりソフトの充実を図り、地域の活性化に繋げていくことが目的である。

特に、福岡都市圏からの集客を得ることを最終目標とし、地域経済に波及効果をもたらすとともに、都市住民との交流により地域住民の自信と元気を回復する。さらには、福岡都市圏の住民、企業、行政との連携・協働しながら、水源地域と都市部の持つ悩み解決も含め、ポジティブな思考を育み、各主体がWin-Winとなる関係を目指す。

3. 事業の内容

(1) 地域交流（ニューツーリズム）

ニューツーリズムの造成については、単なる物見遊山的観光ではなく、価値観を共有できる人との交流、連携を目指すものとした。また、地域資源（お茶、栄西禅師、霊仙寺、竹、等）に対する興味、蘊蓄などを盛り込み、テーマを設定して体験プログラムの構築を行った。具体的テーマの落としこみは受け地側が協働で行い、地域資源を最大限活用しコスト負担をやわらげたソフトメニューの開発を推進する。（特産品の開発も視野に入れる。）

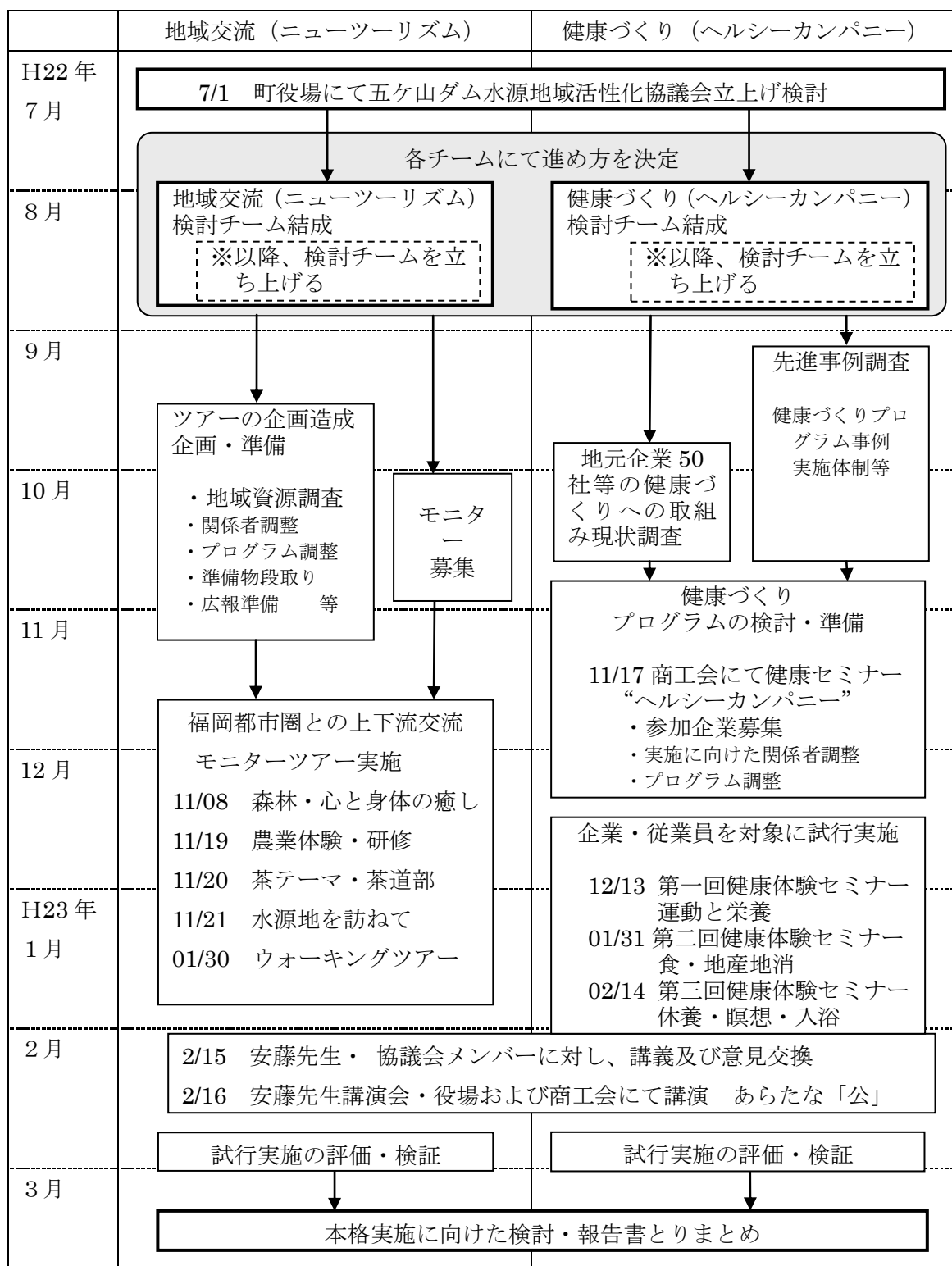
今年度事業では、7本のモニターツアーの企画、造成と14本の体験プログラムの構築を行い、うち5本のモニターツアーを試行実施した。その結果を踏まえて課題を整理し、本格実施に向けた検討事項を抽出した。

(2) 健康づくり（ヘルシーカンパニー）

企業や大学等との連携により、地域住民（地元企業、行政関連の従業員とその家族）および福岡都市圏の住民（企業、行政関連の従業員）を対象として健康づくりプログラムを提供していくことが最終目標である。

今年度事業では、地元企業を対象として試行的にセミナー等を開催しながらニーズを把握し、そのニーズに対応できる健康体験プログラムを企画・施行した。また、本格実施に向けて事業展開方針を整理した。

4. 事業スケジュール



H23 年度 本格実施・運営事業体の検討（吉野ヶ里公園エリアとの連携強化）

H24 年度 運営事業体設立、継続実施と発展、連携

5. 事業の進め方

この事業を推進していくためには、地域の多種多様な個人、団体の参画が必須である。推進協議会を立ち上げるべく、町の企画課から町の各課へ主旨を伝え、やる気のある個人、団体を探し参画を求めることからスタートした。まずは、その候補者をリストアップしながら、事業の主旨を説明すべく各々へ直接アプローチした。最初は、ばらばらの様相であったが、方向性を揃り合わせるべく 11/1 に開催した第一回の推進協議会をきっかけに、各個人、団体の連携の機運が高まり徐々にツアー企画として具体化し、後述の体験プログラム 14 本等に練り上げることができた。また試行したツアー 5 本に各々が体験プログラムの提供者として参加した。2/15 開催の推進協議会には、20 人の結集を得ることができた。

第1章 地域交流（ニューツーリズム）

1. 地域交流によるニューツーリズム創出の考え方

これまでの物優先、便利さ、機能、効率の追求からほんとうの豊かさとは何かを求める時代となり、ツアーも「見る、聞く」から「体験（五感、感性）」を重視するようになってきた。地域資源とは、その地域ならではの自然、文化、歴史、そして人情厚い住民である。体験そのもの以上に、体験を通して人と人との関わり、交流から互いが高まること、それが心の豊かさを求めるツアーとなる。単なる物見遊山的観光ではなく、価値観を共有できる人との交流、連携を目指す。

福岡都市圏から車で約一時間の距離にある五ヶ山エリアには、自然、文化、歴史が豊かである。栄西茶、霊仙寺、山茶花の群生、森林セラピー、ウォーキング等の中から、まずは、テーマを決め、興味を共有できる人々をターゲットと想定した。たとえば、お茶というテーマツアーで八女、星野村、嬉野等と広域連携が可能だし、さらにブラッシュアップすることで海外（ヨーロッパ、東アジア）からの集客も視野にいれる（インバウンド）。近い将来、このツアーを企画するための事前調査として、スイス・ローザンヌで開催された食の見本市「ガストロノミア」に出展したジェトロのブースでの日本茶試飲サービスをはじめ、文化交流イベントにて栄西茶をPRした。（補足説明-1 ジェトロ日本茶試飲サービス参照）

近年ヨーロッパ各国では、日本文化（「おもてなし」）の人气が一段と高まりつつある。しかし、「おもてなし」はすでに日本では形骸化し減りつつあるので、「おもてなし」を再発見する旅の価値を逆に海外からの視点で見直し、新しいツアーを生み出していきたい。

- ・ 今までの見学型から体験型へ移行

本物の地域資源にもとづく高度化、多様化した要望への対応

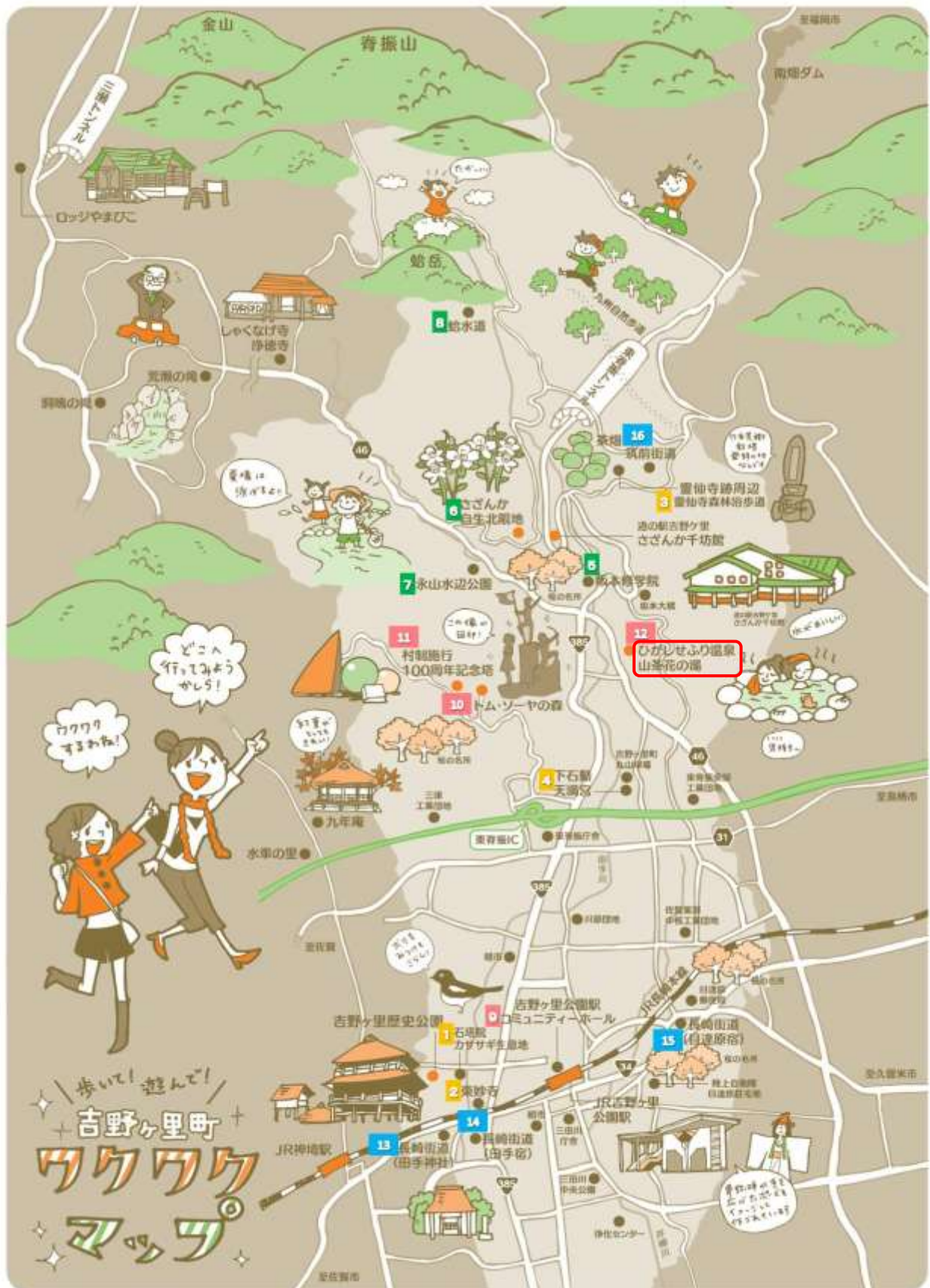
- ・ 着地型ツアー

今までのマス対応（大手旅行代理店等）ではない地域主導の集客方法の確立

- ・ 地域づくりのためのツアー

地域資源の利活用を前面に取り上げることにより、水源地域の自然を守り、地域産業の再生を試み、地域住民が誇りを取り戻すことで地域の魅力を増大させる。これがツアー客を呼び寄せ、事業の可能性を高めるという好循環のサイクルを目指す。自然環境の保全、改善のために水源地の耕作放棄地や山林荒廃の防止策として水源地域住民と福岡都市圏住民が協働して市民農園や山林の手入れ保全を行うことも有効と考える。

2. 地域資源の整理

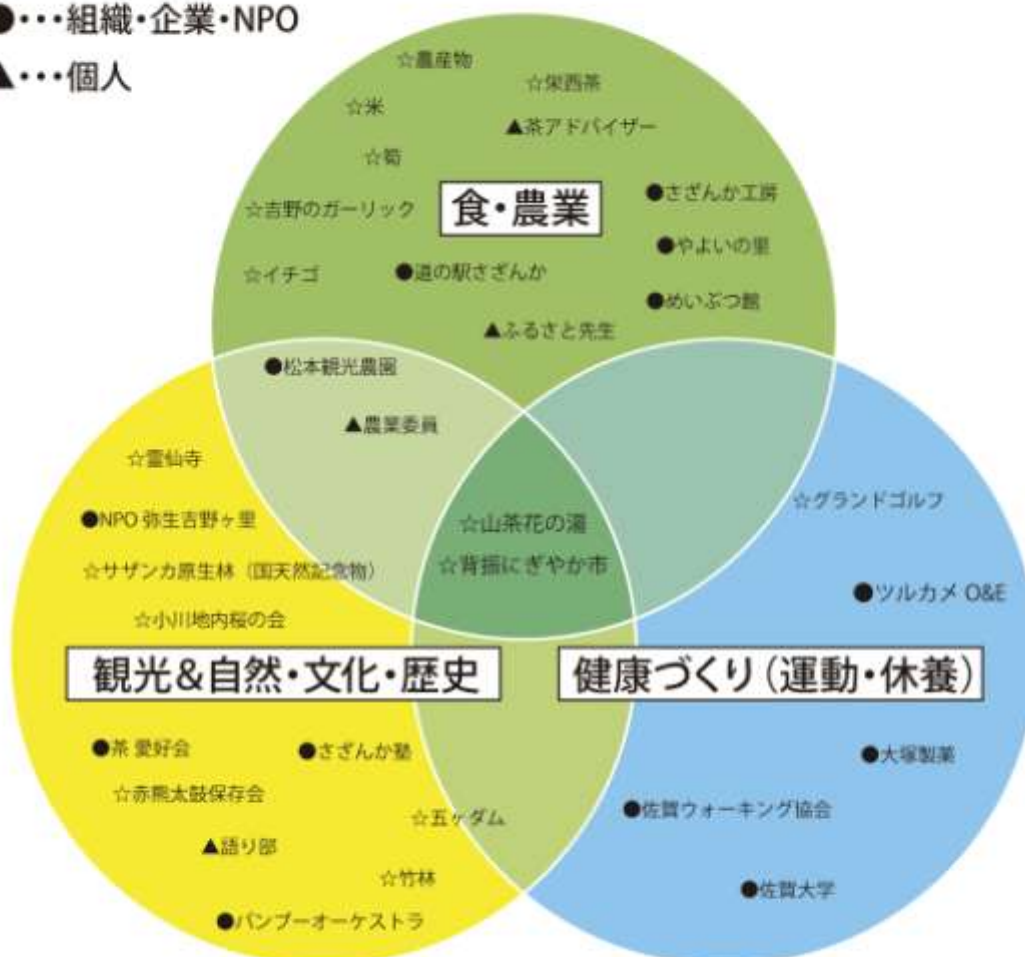


地域にある資源を「食・農業」「観光&自然・文化・歴史」「健康づくり（運動・休養）」の3つに分けて整理、地域の各個人、団体の連携によって、新たな切り口でのツアー内容とした。

☆…資源

●…組織・企業・NPO

▲…個人



3. モニターツアー・体験プログラムの企画、準備、試行実施

(1) ツアー造成に向けた検討

ニューツーリズム、エコツーリズム、グリーンツーリズムの現状を把握するために、7～8月に既存資料収集を行うとともに、JTB・ヘルスツーリズム研究所や(株)農協観光など、専門機関・旅行業関係者へのヒアリングを行った。

その結果、ニューツーリズム等については、①脚光をあびつつも事業面からは厳しいこと、②助成金を使った低価格のモニターツアーはアンケートにおいては評価が高いが、助成金がなくなれば参加者が激減していること、③多くのツアーがプロダクトアウトのプロセスで造成されており（作り手の情熱はすばらしいが）顧客からみて魅力に乏しいこと、④他地域との差異化ができていないこと、⑤受け地側の体制づくりがなかなか進展しないこと等の現状を知ることができた。

以上を踏まえ、チームメンバーと検討しつつ、下記4点を基本方針とした。

- ① プロダクトアウトではなく、マーケットインの立場からのツアーを企画、造成、催行する。
- ② エコツアーの基本は踏襲するも、テーマ（たとえばお茶）を設定し、これに健康づくりの要素を加えつつ、顧客のセグメンテーション、ポジショニングなどを押さえ、ターゲットを明確にしていく。
- ③ テーマツアーを継続していくには、ツアーコンダクターの資質（人柄、ホスピタリティー）とそのテーマに対する知的レベルが要求される。受け地側の人材、育成が重要となる。テーマにそった人材が地元にはいない場合、当面は外部インストラクターを導入し、地元と連携しながら人材を育てていく。

以上の基本方針のもとで7本のモニターツアーの企画、造成と14本の体験プログラムの構築を行った（うち5本のモニターツアーを試行実施した。）。

なお、先進地事例として、長野県信濃町の森林セラピー（企業の福利厚生、健康づくり、保養地として提携）、財団法人和歌山健康センター（熊野で健康ウォーキング）、岡山県美咲町・美咲ファイネスト(株)（美咲農村ルネッサンス推進協議会）を参考にした。

また、当初は、福岡都市圏からの健康ツアーの催行を狙い、下記のスポーツ・健康ツアーを企画検討したが、計画地の五ヶ山ダムエリアは、住民が全員移転済により受け地側の体制づくりが厳しいと想定されることから、主たるエリアを山茶花の湯、霊仙寺、修学院、さざんか群生地へとシフトすることとした。

○当初計画したツアー内容

ウォーキングツアー（日本ウォーキング協会）、トレイルランツアー、ノルディックウォーキングツアー（アグローブ）、ヨガツアー（(株)ストレッチスタジオ）、サイクリングツアー（関西サイクルスポーツセンター）、クアツアー（財団法人大阪クナイブ協会）、ヘルスツーリズム（JTB・企業、行政機関の従業員向け）

(2) モニターツアー・体験プログラム内容概要

モニターツアーと各体験プログラム内容、ツアー趣旨、事業効果については以下に示す。

全体としての狙い

- ・温浴施設「山茶花の湯」、ならびに周辺地域を巻き込んだ新規顧客・リピーターの確保を図るために、継続的な取り組みとしていきたい。(町の観光戦略・みらい会議への組み込み提供、合流)
- ・そのために、参加された方の旅行形態、プログラムに対する評価を聞くことにより、今後実施する場合の参加意向、周辺地域で訪問してみたかった場所、実施してほしいプログラム内容などを聞くことで、今後のプログラム造成の検討材料とする。また、基礎データとして地域へのこれまでの来訪回数を聞くことで、新規顧客の確保の見込みを把握する材料とする。
- ・企業に対しては、新たな商品開発などの展開が考えられるか、その後の展開を見越した内容を問う。また、身近に参加しそうな団体・組織等についての情報を仕入れる。

催行日	ツアー名	体験プログラム内容	ツアー趣旨	事業実施効果
11/8 (月)	健康づくりと地域交流 ～心と身体の癒しツアー～	・森林健康ウォーキングウォーキング指導者と森林セラピー資格者と一緒に歩こう ・座禅止観体験 ・芋掘り体験 ・焼き芋体験 (松本農園)	・ツーリズムウォーキング。健康志向の都市住民を対象とした吉野ヶ里の地域資源を利活用した観光プログラムの造成。 ・対象地域の魅力を知ってもらうために、地域の自然資源を生かしたウォーキング、さざんか自然群生地への立ち寄り、収穫体験を行うとともに、地域の歴史文化資源である脊振修学院における座禅止観体験(メンタルヘルス)を入れる。 ・今年度は福岡都市圏に隣接する篠栗町の歩こう会等をモニターとして実施する。今後、歩こう会や森林セラピー愛好者等との連動を見越す。篠栗町は今夏森林セラピーロードを開設。その他うきは市森林セラピーと連携していきたい。	・山茶花の湯と周辺の地域資源(神社、自然、農家)との連携による地域全体としての集客を図る(新規顧客開拓、リピーター確保に) ・農家や森林セラピー資格者の雇用拡大の機会を創出 ・健康志向の都市住民に対し、吉野ヶ里の地域資源を利活用したここならではの観光ウォーキング、森林セラピーを提供
11/19 (金)	農業体験を通じ、食の重要性を知ろう！ 企業研修	・農業体験企業研修(講師) 三神農業改良普及センター(食育) ㈱さざんか工房(食物) 他	・食に関わる企業の社員研修としてのプログラムの造成。 ・対象地域には食・農業を学ぶフィールドがあるため、社外研修の一環として、食と農業の現場を学ぶ機会を創出する。 ・今年度は、福岡市内で居酒屋、レストランなどを展開する企業からピックアップし、モニターとして実施する。今後、食と農業に関連する企業を対象に内容をブラッシュアップし定期的実施を目指す。	・新たなビジネスの展開など、地元農業の振興が期待される参加企業の農産物直接購入等 ・都市部の企業社員と農家等との信頼関係が築かれるとともに、新たなビジネスの展開が進むことで地域に来訪する人が見込まれる ・参加企業の新規事業の立上げ ・市民農園の開業 ・社員の起業等

催行日	ツアー名	体験プログラム内容	ツアー趣旨	事業実施効果
11/20 (土)	日本茶栽培発祥の地 「脊振山 霊仙寺跡」を訪ねて 大学茶道部	・脊振山霊仙寺跡一帯と栄西禅師 茶栽培の地「石上坊跡」散策 (案内人) 日本茶アドバイザー・多良正裕氏(美味しいお茶の入れ方実践／茶道愛好会) 赤熊太鼓鑑賞	・お茶に興味を持つ人を対象としたプログラム造成。 ・日本茶栽培発祥の地という地域資源を活用して、茶栽培の地を巡り、お茶の入れ方を体感してもらう。(途中、さざんか自然群生地など地域の魅力にも触れる。) ・今年度は、佐賀の大学の茶道部をモニターとして実施。今後、学校や団体などの茶道部やお茶に興味を持つ人、さらには海外からの旅行者等を対象に実施を目指す。	・「茶」というキーワードによる新規顧客の確保、地域への集客拡大 ・お茶に興味を持つ人が茶のことを知る機会を創出 ・栄養としての「茶」 ・広域連携茶テーマツアー ・海外にも発信が可能(日本文化) スイスでの見本市「ガストロミノア」ジェトロ 栄西茶PR
11/21 (日)	五ヶ山ダム水源地を訪ねて 福岡市水道局	・水源地の歴史、文化、自然を学ぼう ダムに関する話(福岡県五ヶ山ダム建設事務所) 歴史、文化、自然について(於講師、大石講師)	・水源地を訪ねて水道事業を知る社会教育、環境教育エコツアーの造成。エコウォーキング。 ・社会勉強の一環としてダムの造成にまつわる様々な話や、周辺地域の歴史、文化、自然を学ぶ。 ・今年度、福岡市水道局、福岡県五ヶ山ダム建設事務所と連携して、一般よりモニターを募集。今後、福岡市水源林ボランティアの会など環境、社会貢献活動に関心を持つ団体、企業、個人などとの連携を見越す。	・ダム造成など社会学習の機会を創出。 ・福岡都市圏との上下流交流のきっかけづくりとなり、行政間としてもさまざまな事業の展開が見込まれる
1/30 (日)	山茶花・健康ウォーキング 佐賀ウォーキング協会 日本ウォーキング協会 山茶花マラソン 佐賀大学マラソンクラブ 1/29(土) 催行	・各種ウォーキングコースの設定 山茶花コース／竹林コース／霊仙寺コース／歴史・文化コース 茶のおもてなし・茶道愛好会 赤熊太鼓演奏でスタート、出迎え ウォーキングからジョギング、マラソンへ展開	・スポーツとしてのウォーキング。九州におけるウォーキング基地のメッカを目指す。 ・今回は、佐賀ウォーキング協会を中心に福岡都市圏のウォーキング愛好者に呼びかける。単に歩くだけでなく地域資源(お茶、山茶花、竹等)を有効活用し、独自の魅力あるコースを目指す。 ・佐賀ウォーキング協会の定期催行内定。 ・ウォーキングコース、ジョギングコース、ランニングコース、トレイルランへの発展拡大を目指す	・日本ウォーキング協会、福岡ウォーキング協会、佐賀ウォーキング協会との連携。その他、歩こう会との連携 集客に向けての情報発信 ・吉野ヶ里ウォーキング倶楽部の立上げ ・ウォーキング事業の検討 ・協賛企業の募集 大塚製薬、ムーンスター、TOTO等

また、各体験プログラムの概要は下記の通りである。

体験プログラム	提供者	内容
1. 水源地の自然、歴史を学ぶ	大石久一	元林業従事の地域の語り部
2. 地域の自然、歴史、文化を学ぶ	於保忠	地元自然、歴史、文化の生き字引
3. 栄西茶を尋ねて	さざんか塾 多良塾長	茶の歴史、文化、日本茶アドバイザー
4. 茶のこころを学ぶ	茶道愛好会 真島代表	茶道、もてなしの心、実践
5. 太鼓イベント、実習	赤熊太鼓保存会 松田代表	地域の伝統保存、イベント、実習
6. 修学院で座禅・瞑想	坂本修学院 埜口住職	メンタルヘルスプログラム
7. 農業体験 農村セラピー	松本農園 松本代表	イチゴ狩り、芋ほり、焼き芋
8. 農業体験 農村セラピー	農家	みかん狩り
9. 農業体験 農村セラピー	農家	こんにゃくづくり
10. 農業体験と講習 農村セラピー	さざんか工房 池田代表	野菜、竹の子ほり、講話、料理研修
11. ウォーキング指導	佐賀ウォーキング協会	歩き方 実践、指導
12. 森林ウォーキング指導	青木勝	健康づくり 実践、指導
13. 森林セラピー指導	河辺輝典（資格保有者）	森林セラピー実践、指導
14. 温泉セラピー指導	ストレッチスタジオ 安希	ストレッチ、ヨガ、入浴方法等

(3) 実施結果

催行したモニターツアーの内容、アンケート結果概要一覧を以下に示す。(各ツアーの結果については次頁以降参照)

ツアー名	実施日	プログラム内容・協力	参加人数	アンケート評価 (1～5)	
健康作りと地域交流 ～心と身体の癒しツアー～ 参加者 福岡県内	11月8日 (月)	森林健康ウォーキング 座禅仕官体験 芋掘り体験・焼芋・猪肉振る舞い ・坂本修学院 埜口住職 ・松本農園 松本代表 ・森林セラピスト、ウォーキング	28名	ツアー全般	3.6
				座禅仕官体験	4.6
				森林セラピー・ウォーキング	4.3
				芋掘り体験	4.5
				山茶花の湯	4
				地産地消弁当	4.3
農業体験を通じ、食の重要性を知ろう 参加者：(株)益正 就職内定学生	11月19日 (金)	農業体験企業研修 料理実践 ・三神農業改良普及センター 藤崎副所長・川崎氏 ・(株)さざんか工房 池田代表	20名	ツアー全般	4.5
				講習(三神農業改良)	4.3
				講習(さざんか工房)	4.6
				山茶花の湯	4.6
				食事内容	4.8
日本茶栽培発祥の地 「脊振山霊仙寺跡」を訪ねて 参加者 西九州大学茶道部	11月20日 (土)	散策案内 脊振山霊仙寺一帯・ 茶栽培の地石上坊跡 お茶入れ方実践 太鼓鑑賞 ・日本茶アドバイザー多良講師 ・茶道愛好会 真島氏 ・赤熊太鼓一同	18名	ツアー全般	4.3
				霊仙寺案内	4.1
				お茶の淹れ方	4.1
				赤熊太鼓鑑賞	4.5
				山茶花の湯	4.8
				地産地消弁当	4.3
五ヶ山ダム水源地を訪ねて 福岡市水道局 参加者 福岡県内	11月21日 (日)	水源地の歴史、文化、自然を学ぶ ダムに関する話 歴史・自然・文化について ・福岡県五ヶ山ダム建設事務所 福岡市水道局 ・於保講師・大石講師・企画課 直塚副課長	36名	ツアー全般	4.3
				ダム説明	4.2
				五ヶ山案内	4.2
				歴史講演	4.3
				山茶花の湯	4
				地産地消弁当	4.2
山茶花ウォーキング ツアー 参加者 佐賀県内 (積雪のため福岡からのツアー中止)	1月30日 (日)	吉野ヶ里町ウォーキングコース 設定の実践 健康づくりにおける運動療法の 一環 ・ウォーキング協会会長 土井氏 ・(株)ムーンスター協力	59名	ツアー全般	－
				現地集合・解散	3.2
				ウォーキングコース	3.4
				山茶花の湯	3.9
				地産地消弁当	3.0
佐賀、福岡、ランニングチーム実施	1月29日 (土)	・佐賀大学&大塚製薬	30名	ランニングコース設定	

1) 健康作りと地域交流体験 ～心と身体の癒しツアー～

【日時】 2010 年 11 月 8 日（月） 9:00～18:30

【行程】 オアシス篠栗出発 9:00 →坂本修学院 到着 9:40（座禅止観の体験、地産地消弁当の昼食） →ウォーキング開始 13:00 坂本峠福岡側入口より出発 霊仙寺跡・山茶花自生北限地を経て、さざんか千坊館到着 14:30 →松本農園到着 14:45（芋掘り、試食、農業について講話） →山茶花の湯 到着 16:30（入浴、売店にてお買い物） → オアシス篠栗 到着・解散 18:20

【料金】 ¥4,980 （3 歳以上同料金）

【参加者】 26 名 その他 運転手(有)若杉観光バス 岡田氏
添乗員 森林セラピスト河辺講師、ウォーキングトレーナー青木講師
現地対応 山茶花の湯 松元・松浦 他

【所感】 ・通常の観光ツアー的要素に加え、ウォーキング・座禅止観による身体と心両面の健康プログラムを楽しめるツアー内容、特に座禅止観（全員初体験者）は皆さんかなりの満足度だった様子です。

・本モニターツアーの立寄り箇所は、どれも未だ観光地化されておらず、本業のツアー会社にもない箇所を新しく開拓したものと言えます。これはツアー慣れした年配者に対する訴求力と満足度においても非常に魅力的であったと思われます。

・地産地消弁当に関しては、薄味でヘルシーなメニューである点で概ね満足して頂きました。

・運営体制に関しては、今回 4 名体制で当りスケジュール・案内を行なえ非常に手厚いケアとなりました。参加者の誘導、アナウンスなども滞りなく行なえました。年配の方が主になるので、どの行程も健康に則したものであり、参加者の満足度を満たすものであったと思います。上記を踏まえ、当然お客様の満足へと繋がりましたが、今後コストの面で同様の体制をとるのは難しいと思われる。

・さらにバス代が加算され、ツアー代金が¥10,000 近くなると魅力がなくなると感じる。

【反省・改善面】・パッケージを市販物とは変えローカル色を出したり、なぜそのメニューになったのかその理由や地元のどんな農家で作られた物なのか等を案内書で説明すると参加者にさらに喜ばれると思います。

・ウォーキングにおける参加者のペースのばらつきにより、以降の行程が若干タイトになってしまった感は否めなかったもので、全員で動く（移動）する行程にはもう少し余裕を持つべきだったとは感じます。また現状のツアー状況の連絡など受け入れ側との連絡が後手に回ってしまった部分もあり、反省点となりました。

【その他】参加者へアンケート実施（集計結果は別紙参照）

【ツアー風景】



坂本修学院／座禅止観体験の様子。約1時間の初体験は大変貴重と皆さん喜ばれました。



昼食会場／数百年の歴史を誇る修学院の一間をお借りしての昼食は趣深い雰囲気となりました。



昼食／野菜を中心としたメニューの地産地消弁当。お茶は、日本初のお茶栽培の地吉野ケ里に因んだ栄西茶をご用意。



食事風景／薄めの味付けと、揚げ物の無いヘルシーなメニューは大変喜ばれました。



境内にて集合写真／境内の木々を眺めながら、紅葉の時期に又来たいとの声も聞かれました。



ウォーキング開始／福岡佐賀の県境、坂本峠の福岡側から佐賀へと向かいました。



ウォーキングコース／整備された歩道の中にも、ふと見上げれば大きな楠の古木。



ウォーキングコース／坂本修学院とも縁の深い霊仙寺跡。



ウォーキングコース／日本のお茶発祥の地「記念碑からの景色。手前に見えるのはその茶畑。



山茶花自生北限地／野生の山茶花をバックに記念撮影。



松本農園にて／芋掘り体験の様子。



松本農園にて／今回のツアー最高の盛り上がりを見せました。



松本農園／御主人から、農業についてのお話。1時間近くの間にも飽きる事なく耳を傾けられてました。



松本農園／お客様からも、作物についての質問も盛んに出て和やかな空気でした。



山茶花の湯・売店／農園にて、大量のお土産を買った後でもやはりお買い物は大きな楽しみの一つであるようです。

【アンケート結果】

開催日時：2010年11月9日（月） 天候：曇 参加者：26名 表題：健康作りと地域交流 心と身体の癒しツアー
集計枚数：26枚

問1. あなたの属性について下記の内容をお答え下さい。

性別・年齢	男性	4名	15%
		平均74歳（67～81歳）	
	女性	22名	85%
		平均68歳（60～76歳）	

居住地	穂高郡穂高町	22	穂高郡穂高町	2	福岡市内	2
-----	--------	----	--------	---	------	---

問2. これまでの来訪回数について、下記の設問にお答え下さい。

（1）吉野ケ里町へはこれまで何回訪問したことがありますか？

1 毎年のように行く	0	0.0%
2 行ったことがある → これまで（ ）回	19	73.1%
3 一度も行ったことがない	7	26.9%

（2）山茶花の湯へはこれまで何回訪問したことがありますか？

1 毎年のように行く	0	0.0%
2 行ったことがある → これまで（ ）回	9	34.6%
3 一度も行ったことがない	17	65.4%

問3. ツアー内容について下記の設問にお答え下さい。

（1）このツアーの内容を事前に聞いて、最も期待していたことは何ですか？

座禅	17	芋掘り	3	ウォーキング	5	無効	1
----	----	-----	---	--------	---	----	---

（2）ツアーに参加して最も印象に残ったプログラムは何ですか？

座禅	13	芋掘り	9	ウォーキング	5
----	----	-----	---	--------	---

※複数回答
・その他の意見 「山茶花の湯で春振に落ちる夕陽を眺めた」「農園の松本社長の話が良かった」
「しし肉を食べた」「（ウォーキングの）階段がきつかった（4人）」

（3）このツアーのプログラムについて、項目ごとに5段階で評価し、評価すべきこと、改善すべきこともお答え下さい

	平均点	コメント
ツアー全般	3.6	楽しかった、盛りだくさんで満足、農園が満足、天候に恵まれず
座禅仕立体験	4.6	初めての体験で良かった、清々しい気持ちになった
山茶花の湯	4	いい湯だった、疲れがとれた、綺麗だった、お風呂に入らなかった、時間が足りない 景色が良かった、感激した
芋掘り体験	4.5	楽しかった、お土産いっぱい良かった、道具（手袋やスコップ）をもっと用意して欲しい しし肉や芋の試食が良かった、ご主人の話がとてもよかった。
ウォーキング	4.3	階段がきつかった、チップが敷いてあるコースが歩き易かった
地産地消弁当	4.3	美味しかった、ヘルシーで量も丁度良かった、薄味で良かった、あまり美味しくなかった

※その他・ご意見 吉野ケ里公園に行けると思っていたので残念、充実した時間を過ごせた、スタッフさんに感謝

（4）今回のツアー料金はモニター価格であり、通常最低7000円程度になると考えられますがそれでも参加されますか？

1. 参加する	6	23.1%
2. 内容によって参加する	15	57.7%
3. 参加しない	4	15.4%
未記入	1	3.8%

問4. この地域で、今回のツアーの訪問先以外に訪ねたい場所を教えてください。

・吉野ケ里遺跡、阿蘇、津和野、伊万里、飯田高原、苅狩り、熊本

問5. 今後、この地域にどのような催しがあれば参加されますか？

1. 座禅止観ツアー	6	2. ウォーキング・森林セラピー	13	3. お茶・もてなしツアー	4
4. 農業体験	12	5. 子、孫に体験させる	0		

問6. この地域で感じられたこと、気になったこと、活かすべきこと等をお書き下さい。

・芋掘り体験も皆さんの人柄も良く又行きたい気持ちになりました。・気持ちがホッとしました。

【総括】
・座禅止観の体験は大半の方が初めての経験であり、「良い体験でした」と大変喜んで頂きました。
・ウォーキングコースに関しては、下りの階段が続く箇所が長く、若干きつく感じる方もおられた様子。
・農業体験に関して、芋や松本農園さんからの御好意による冬瓜等お土産の多さが大変喜ばれ、
また、農園ご主人のお話には皆さん大変感激したとの言葉が多く、それは結果にも見られました。

2) 農業体験を通じ、食の重要性を知ろう

【日時】 2010 年 11 月 19 日（金） 10:00～19:00

【行程】 益正本社出発 →山茶花の湯到着（休憩、入浴） →古民家にて講演・試食体験
→利休亭にて懇親会

【料金】 3,200 円 ※入浴されない方 2700 円

【参加者】 20 名 ㈱益正新卒採用者 18 名、本社社員 2 名

添乗員 松本氏（農協観光） 、河辺

現地対応 三神農業普及センター・藤崎副所長、川崎氏 ㈱さざんか 池田氏 他
山茶花の湯 松浦 他

【所感】 ・地元の「食」に携わる方の実体験による講話は、皆さん興味深く聞かれ印象にも残った御様子でした。特に餃子の手作り体験と試食は盛上がり楽しんで頂けたようです。

・飲食業の会社に入社したとの意識は感じられました。

・お風呂に関しては、入浴された方は満足して頂きましたが、入浴されなかった方もおられました。理由としては、入浴がプログラムの前半にきていた事と当日の服装がスーツであった事が考えられます。

・飲食業の研修として、今回の経験をベースにプログラムを充実させれば面白い展開になると思います。

【反省・改善面】

・今回は、都合により野菜収穫体験ができず、まことに残念です。

・講話だけではなく、せめて実際に土に触れながら収穫者の話を聞く等五感を使ったプログラムにすると、印象深く更に楽しんでもらえると思います。

・全行程における、入浴時間の配分等、こちら側の思惑と先方の希望とにズレがあった感は否めませんでした。プログラムの内容・行程・段取りについては事前に時間をとり十分に意見のすり合わせをする必要がありました。

・畑の状況とか天候に左右されるので、事前の準備と臨機応変の対応が必要としました。

【その他】 参加者へアンケート実施（集計結果は別紙参照）

【ツアー風景】



益正本社での研修



山茶花の湯 入浴・休憩



古民家にて スライドを使った講演



受講風景



講演後、地元食材を使った餃子作り体験・食事



利休亭にて懇親会

【アンケート結果】

開催日時：2010年11月10日（金） 天候：晴 参加者：18名 表題：食の重要性を知ろうツアー
集計枚数：17枚

問1. あなたの属性について下記の内容をお答え下さい。

性別・年齢	男性	8名	47%
		平均22歳（20～22歳）	
	女性	9名	53%
		平均22歳（20～22歳）	

居住地	福岡市内	8	北九州市	2	その他市外	5	県外	2
-----	------	---	------	---	-------	---	----	---

問2. これまでの来訪回数について、下記の設問にお答え下さい。

(1) 吉野ヶ里町へはこれまで何回訪問したことがありますか？

1 毎年のように行く	0	0.0%	
2 行ったことがある → これまで（ ）回	9	52.9%	平均1.5回（最少1～最多3回）
3 一度も行ったことがない	8	47.1%	

(2) 山茶花の湯へはこれまで何回訪問したことがありますか？

1 毎年のように行く	0	0.0%
2 行ったことがある → これまで（ ）回	0	0.0%
3 一度も行ったことがない	17	100.0%

問3. ツアー内容について下記の設問にお答え下さい。

(1) このツアーの内容を事前に聞いて、最も期待していたことは何ですか？

温泉	9	講演	5	農業体験	1	利休亭	2
----	---	----	---	------	---	-----	---

(2) ツアーに参加して最も印象に残ったプログラムは何ですか？

講演	9	温泉	2	試食会	6
----	---	----	---	-----	---

(3) このツアーのプログラムについて、項目ごとに5段階で評価し、評価すべきこと、改善すべきこともお答え下さい

	平均点	コメント
ツアー全般	4.5	楽しかった。知らない事（食・農業）を勉強できた。温泉が気持ち良かった
講習(三神) A	4.3	農業（佐賀）の現状を知れた、もっと詳しく聞きたかった、準備不足（運営面）を感じた
講習(三神) B	4.6	食の大切さ農業の大変さを知った、食に対して関心がわいた、話が分かりやすかった
山茶花の湯	4.0	露天風呂が広く気持ち良かった、夢の湯が良かった、従業員が親切だった
食事内容	4.8	美味しかった、自分で作ったギョーザは冷凍物とは違った、お米が美味しかった
本社研修等		勉強になった

(5) 今回のツアー料金はモニター価格であり、通常最低6,000円程度になると考えられますがそれでも参加されますか？

1. 参加する	2	11.6%	
2. 内容によって参加する	7	41.2%	〈変更したい内容「時間」1人〉
3. 参加しない	4	23.5%	
未記入	4	23.5%	

(6) 今回のツアーに参加したことによって、今後仕事をする上でのきっかけづくりになりましたか？

なった	2	未記入	7	その他	8
-----	---	-----	---	-----	---

「具体的コメント」：食物の大切さ仕事の縦と横のつながりを知った。農家の人の気持ちを知った
その他欄 季節（旬）を考えたい、食材選びを考えたい、仕事を待つのではなく攻める事を知った

(7) 今回のツアーを今後どのようなところに参加を呼びかけたらよいと思いますか？

・学校（多数意見）や飲食企業 ・幼稚園 ・老人ホーム ・農学部 ・50代以上の人

問4. この地域で、今回のツアーの訪問先以外に訪ねたい場所を教えてください。

・他の温泉、吉野ヶ里遺跡、海の手のある所、伊万里、武雄、農家

問5. 今後、この地域にどのような催しがあれば参加されますか？（複数回答可）

1. 座禅正観ツアー	1	2. ガーデン・森林セラピー	6	3. お茶・もてなしツアー	2
4. 農業体験	12	5. 食の重要性を知るツアー	4	4. その他	0

問6. この地域で感じられたこと、気になったこと、活かすべきこと等をお書き下さい。

・もっと宣伝したら良い ・自然がたくさん残っていて良い ・空気おいしい ・人の温かさ ・地産地消に取り組んでいる ・食文化が豊か

【総括】 ・地元「食」に携わる方の実体験による講話は、皆さん興味深く聞かれ印象にも残った御様子でした。特に「ガラク」の餃子手作り体験とご飯、味噌汁試食は盛上がり楽しんで頂けたようです。
・お風呂に関しては、ご入浴された方は満足して頂けましたが、入浴されなかった方も多数おられました。理由としては、入浴がプログラムの前半にきていた事と当日の服装がスーツであった事が考えられます。プログラムについてツルカメと先方の意見を充分すり合わせ打ち合わせをする必要がありました。

3) 日本茶栽培発祥の地 東脊振山霊仙寺を訪ねて

【日時】 2010年11月11日(土) 8:00~17:00

【行程】 JR 鳥栖駅出発 → 霊仙寺跡・山茶花自生地 散策 → 古民家にて昼食 → お茶の
ふるまい → 赤熊太鼓観賞・体験 → 山茶花の湯入浴・休憩

【料金】 1,000 円

【参加者】 18 名 西日本九州大学茶道部

茶道部顧問 安田様、

運転手(祐徳観光バス)添乗員 原 (農協観光)、 河辺

現地対応：日本茶アドバイザー多良さざんか塾長、

お茶愛好会 真島代表、赤熊太鼓 伊藤氏

山茶花の湯 松元・松浦 他

【所感】 ・ 霊仙寺跡や山茶花自生北限地を回る散策は非常に楽しんで頂けました。

・ ただ、事前に顧客の属性を聞いておくことでより提供プログラムの内容に磨き
がかかります。

・ 郷土史、お茶に詳しい方にガイドについて頂き、詳しくお話頂けた点が非常に
喜ばれました。

・ やはり、茶道部ということで、お茶の話には興味を示していました。

・ お茶の振る舞いや和太鼓の演奏・体験は非日常のものとして深く印象に残った様
子でした。

【反省・改善面】

・ 散策コース中、気温の問題でガイドさんからの説明が長くなると体力的にきつ
い箇所もあり、当日の気温や参加者の体力を考慮し、プログラムの時間配分を変
える等の対応が必要かと思われます。

・ 語り部からの説明は、昼食を共にしながら行なうと、より楽な環境でしつかり
と聞いて頂けるかと思えます。

・ 実際の入浴者は半数にも満たない程度でした。女性やその後の予定のある方など、
通常の日帰りツアーにおいても入浴されない方は多くおられる為自然な数字と思
われますが、そこに、事前確認で岩盤浴の予約受付や道の駅への送迎など入浴以
外の代替サービスが提供できればより満足度の高いものとなると思われます。

【その他】 参加者へアンケート実施(集計結果は別紙参照)

【ツアー風景】



霊仙寺跡付近にてガイドの模様



散策の模様



山茶花自生北限地にて



古民家にて、お茶の振る舞い



地元赤熊太鼓チームと演奏の体験



入浴・休憩時間における、グランドゴルフ利用の模様

【アンケート結果】

開催日時：2010年11月20日（土） 天候：晴 参加者：18名

集計枚数：18枚

問1. あなたの属性について下記の内容をお答え下さい。

性別・年齢	男性	2名	11%	女性	16名	89%		
		平均70歳（69～72歳）			平均29歳（19～77歳）			
居住地	神埼市	5	鳥栖市	2	その他県内	7	福岡県内	3

問2. これまでの来訪回数について、下記の設問にお答え下さい。

（1）吉野ケ里町へはこれまで何回訪問したことがありますか？

1 毎年のように行く	6	33.3%	
2 行ったことがある → これまで（ ）回	10	55.6%	平均2.3回（最少1～最多4回）
3 一度も行ったことがない	1	5.6%	

（2）山茶花の湯へはこれまで何回訪問したことがありますか？

1 毎年のように行く	1	5.9%	
2 行ったことがある → これまで（ ）回	10	58.8%	平均2.4回（最少1～最多30回）
3 一度も行ったことがない	7	41.2%	

問3. ツアー内容について下記の設問にお答え下さい。

（1）このツアーの内容を事前に聞いて、最も期待していたことは何ですか？

お茶	10	温泉	3	景観	1	その他	4
----	----	----	---	----	---	-----	---

（2）ツアーに参加して最も印象に残ったプログラムは何ですか？

茶講話	4	赤熊太鼓	2	山茶花	4	茶のもてなし	4
歩き	3	※霊仙寺案内					

（3）このツアーのプログラムについて、項目ごとに5段階で評価し、評価すべきこと、改善すべきこともお答え下さい

	平均点	コメント
ツアー全般	4.3	景色が綺麗、色々体験できた、話が興味深くわかりやすかった、お弁当がおいしかった
霊仙寺案内	4.2	楽しかった、紅葉が綺麗、いい運動になった。立ち止まっての話は寒かった、説明が良かった
地産地消弁当	4.3	ヘルシーで美味しかった、ボリューム満点、果物も欲しかった
お茶の流れ方	4.1	美味しかった、緑色の雰囲気良かった、「体験」ではなかったので自分でやりたかった
赤熊太鼓観賞	4.5	迫力があつた、体験できたのが良かった、ストレス発散になった
温泉	4.8	のんびりできた、気持ち良かった
その他		グラウンドゴルフが楽しかった

（5）今回のツアー料金はモニター価格であり、通常最低7000円程度になると考えられますがそれでも参加されますか？

1. 参加する	1	5.6%	
2. 内容によって参加する	12	66.7%	（変更したい内容「内容を増やす」）
3. 参加しない	5	27.8%	

（6）今回のツアーを海外の方対象に開催する事は可能だと思いますか？ 又、その際の留意点は？

1. 可能	17	94.4%	
2. 内容を変更すべき	1	5.6%	（変更したい内容「内容を増やす」）
3. 難しい	0	0.0%	

留意すべき点： ・通訳 ・英語の資料 ・記念撮影を撮る ・マナー面

問4. この地域で、今回のツアーの訪問先以外に訪ねたい場所を教えてください。

・トムゾーヤ、蛤岳、九年庵、吉野ケ里遺跡、永山水辺公園、神崎柿田宮、修学院

問5. 今後、この地域にどのような催しがあれば参加されますか？（複数回答可）

1. 座禅止観ツアー	5	2. ケーキング・森林セラピー	8	3. お茶・もてなしツアー	7
4. 農業体験	13	5. 食の重要性を知るツアー	6	4. その他	0

問6. この地域で感じられたこと、気になったこと、話さずべきこと等をお書き下さい。

・紅葉 ・歴史、ダム水問題について学べた ・自然を感じリラックスできた ・森林浴が良かった
・地元の人と一緒に盛り上がろうとしている、素敵な地域だと感じた

【総括】
・お茶の講話からお茶体験、太鼓観賞体験と結果から見ても満足度の高いものとなっている。
一般来館者の方もお茶の振る舞いや太鼓演目に目を奪われ、体験にも参加されるなど暖かい雰囲気であった。
・温泉に入浴されなかった方は、グラウンドゴルフを体験したりと山茶花の湯を自由に楽しんで頂いた。

4) 五ヶ山ダム 水源地を訪ねて ツアー 福岡水道局

【日時】 2010 年 11 月 21 日（日） 8:30～17:00

【行程】 福岡市役所前出発 →那珂川 中ノ島公園 →五ヶ山ダム建設現場内展望所
→坂本峠 →国境石見学→山茶花自生北限地 →古民家にて講演 →山茶花の湯
入浴・休憩 →千坊館にてお買い物 →福岡市役所

【料金】 1,000 円

【参加者】 36 名 その他運転手（西鉄観光バス）添乗員 春岡氏（農協観光）、 河辺
現地対応：福岡県五ヶ山ダム建設事務所、福岡市水道局、教育委員 於保講師 大
石講師、吉野ヶ里町役場企画課 直塚副課長 山茶花の湯 松浦 他

【所感】 ・五ヶ山ダム展望所は、現在工事中であり通常一般者が立ち入れない箇所において
建設の現場関係者から直接ご説明を頂きました。参加者からの質問も盛んで、参
加者の関心を満たすプログラムとなりました。

・ダム建設の地で育った講師方の講演は、言葉や話の 1 つ 1 つに重みと実感がこ
もり、皆さん興味深く聞いておられました。

・これだけの内容のわりには価格が安いがこの価格では継続がきびしいと思いま
す。

【反省・改善面】・参加者の関心を満たし、ダム建設への理解を深め、概ね満足度の高い内容であつ
たと思われます。

・五ヶ山ダム展望所からの景色は、工事の進行とともに大きくその景観を変えてい
く為、次回また催行できた時にはまた時間経過という要素を加え楽しんで頂ける
のではないのでしょうか。

・参加者の中には、一部ですがもっと観光色の強い内容を期待していた方もおられ
ました。

そういう方向けに、地元観光色のある内容を加えるのか、又は、純粋に郷土的
内容でいくのか

募集段階でのパッケージにおいて差別（特化）を図る事も今後の検討課題かと思
います。

・今回は農協観光に募集を依頼したが、環境、エコツアーであることの P R 不足
もあつたのではないかと思います。

【その他】 参加者へアンケート実施（集計結果は別紙参照）

【ツアー風景】



五ヶ山ダム展望所にて



坂本峠 国境石見学



山茶花自生北限地にて



古民家にて、スライドを使った講演
第一部



古民家にて、スライドを使った講演
第二部



古民家内部にて、受講風景

【アンケート結果】

開催日時：2016年11月21日（日） 天候：晴 参加者：34名
集計枚数：30枚 ※返事遅れに対して、お手紙へのアンケート収集はなし

問1. あなたの属性について下記の内容をお答え下さい。

性別・年齢	男性	9名	30%
		平均68歳（33～75歳）	
	女性	21名	70%
		平均68歳（28～79歳）	

居住地	福岡市	24	大野城市	6	糸島市	1
-----	-----	----	------	---	-----	---

問2. これまでの来訪回数について、下記の設問にお答え下さい。

（1）吉野ヶ里町へはこれまで何回訪問したことがありますか？

1 毎年のように行く	3	10.0%	
2 行ったことがある → これまで（ ）回	16	53.3%	平均3回（最少1～最多6回）
3 一度も行ったことがない	11	36.7%	

（2）山菜花の湯へはこれまで何回訪問したことがありますか？

1 毎年のように行く	1	3.3%	
2 行ったことがある → これまで（ ）回	6	16.7%	平均1.6回（最少1～最多3回）
3 一度も行ったことがない	24	80.0%	

問3. ツアー内容について下記の設問にお答え下さい。

（1）このツアーの内容を事前に聞いて、最も期待していたことは何ですか？

温泉	9	ダム見学	16	食事	6
----	---	------	----	----	---

その他：紅葉、五ヶ山の自然

（2）ツアーに参加して最も印象に残ったプログラムは何ですか？（複数回答含む）

ダム	11	温泉	3	山菜花	9	食事	1
講話	14						

（3）このツアーのプログラムについて、項目ごとに5段階で評価し、評価すべきこと、改善すべきこともお答え下さい

	平均点	コメント
ツアー全般	4.3	先生の話が良かった、風呂の時間が短い、見学地を増やして欲しい、こんないい所を初めて知った
ダム説明	4.2	初めて見て感動した、勉強になった、ダム工事自体を初めて知った
五ヶ山案内	4.2	美しいと感じた、山菜花の林が見事、もっと色々見たかった
歴史講話	4.3	ためになった、子供には難しかった
山菜花の湯	4	景色が良かった、存在を初めて知った、もっと時間が欲しかった、お茶の風呂が良かった
地産地消弁当	4.2	美味しかった、体に良さそう、冷めてたのが残念、食堂を使いたい、豚汁・おにぎり等を期待していた
その他		澄んだ空気が素晴らしいかった、工事の話を自然保護の観点と絡めて話して欲しかった

（4）今回のツアー料金はモニター価格であり、通常最低5000円程度になると考えられますがそれでも参加されますか？

1. 参加する	6	20.0%
2. 内容によって参加する	13	43.3%
3. 参加しない	9	30.0%
3. 未記入	2	6.7%

（変更したい内容「弁当、入浴時間」）

（5）今回のツアーを今後どのようなところに参加を呼びかけたいと思いますか？

・島の広報 ・学校関係 ・これからダムを作るところ ・PTA ・婦人会、老人会、サークル
・公民館、自治会 ・フリーペーパー

問4. この地域で、今回のツアーの訪問先以外に訪ねたい場所を教えてください。

五ヶ山豆腐の店、吉野ヶ里遺跡、神崎南産工場、給水道、グリーンピア那珂川、ダム三箇所巡り

問5. 今後、この地域にどのような催しがあれば参加されますか？（複数回答可）

1. 座禅止観ツアー	4	2. ガーミング・森林リレー	18	3. お茶・もてなしツアー	4
4. 農業体験	16	5. 食の重要性を知るツアー	11	4. その他	1

（土地の顔）

問6. この地域で感じられたこと、気になったこと、語らすべきこと等をお書き下さい。

・美しい景観、土地の人の親切さ ・「山菜花」を読めないでネット検索しづらい。その点を工夫した方がいい。
・国境有等、歴史の説明が良かった ・山菜花の自生地が初めてだったので良かった

【総 括】

・於保氏・大石氏の講話は皆さん大変熱心に行われて、草花の知識もあり、その辺りからも話が広がりをみせて喜ばれたようです。
・ダム建設現場では通常一般者が入れない場所を見学できた点も評価が高かった。
・天候面に恵まれたことも大きく、ダム見学・案内、山菜花の群生地見学も感動された方もいらっしゃった。

5) 山茶花ウォーキング大会

【日時】 2011 年 1 月 30 日 (日) 8:30~14:00 天候 雪

【参加者】 59 名 (小学生未満 3 名含)

【行程】 山茶花の湯集合・受付集金 (9:00) →開会式 (9:15) 古民家前、悪天候にてバーベキュー広場 出発 (9:30) →11:20 5 キロコース 15 名戻り →ムーンスター社による無料足測定 (37 名利用) 古民家にてお食事、アンケート入力後 自由時間 (入浴など) →12:30 10 キロコース 40 名戻り 古民家にてお食事、アンケート入力後 自由時間 →13:00 アンケート回収、松浦 シール配布※佐賀県ウォーキング協会→13:00 閉会宣言 土井会長 (奥様) 解散 各自帰宅・入浴等

【料金】 ¥1,000 現地までの交通費各自実費

内訳: 950 円 弁当 500 円、タオル 150 円、保険代 300 円

※佐賀県ウォーキング協会 50 円 ムーンスター社 2 名、

吉野ヶ里町 1 名 弁当・お茶代金に充当

【良かった点】・雪が降りしき中、大会参加に 60 名近い方が参加をされた点

・道路除雪作業が、開会式前までに終わることが出来たこと (対応: 商工観光課 城尾副課長・松浦)

・山茶花の湯へ足を運んで下さったことにより施設売上に貢献したこと。

【悪かった点】・参加人数が少なくなったとは言え、60 名近い参加者であった為、休憩所の古民家が混雑し混乱したこと。

・降雪ながら大会対応者が弊社数名であったことで、お客様の誘導、ご案内サービスが疎かになった。コース中の撮影も、弁当準備などにより出来なかった。

・福岡からも当初 11 人の参加がみこまれたが、降雪のため中止となり、残念であった。

【所感・改善策】・吉野ヶ里町周辺の町では、「歩こう会」があり、吉野ヶ里町では遅れていると言われている中、率先してウォーキング大会を開催できた点は、今後の躍進に繋げるきっかけになったと思います。

・大会開催時には主催者側の対応は最低 4 名は必要。積雪イレギュラーもありましたが、入浴が無料とされている方が多くいらっしゃり、書面にて案内をするべきと感じた。

・次回開催時は、当日キャンセルなどデメリットも考慮し、弁当の代わりに入浴を参加料金に組み込むように設定をしたいと思う。

【その他】 参加者へアンケート実施 (集計結果は別紙参照)

【ツアー風景】



開会式／佐賀ウォーキング協会会長・土井様によるコース説明、注意事項



開会式／司会進行・村上様



出発前・準備体操／約五分間実施



ウォーキング開始／雪の中、小さなお子様も参加。企画課・直塚様も5キロコースにチャレンジ



ウォーキング風景／寒さや雪により、身を丸くしながら歩かれている方も見受けられた



古民家内準備／第一陣 5 キロコース 25 名分の弁当準備



古民家玄関前／施設前にも大会案内 POP 掲示



食事風景／第一陣・5 キロコースの方々、第二陣・10 キロコースの方々が合流し、混雑を見せる



足型測定／ムーンスター社によるパソコンにて長さ、幅を測定（無料）の様子



足型測定／ムーンスター社によるパソコンにて長さ、幅を測定（無料）の様子

【アンケート結果】

問1. あなたの属性について下記の内容をお答えください

【性別】	男性	10名	37.0%	女性	17名	63.0%
------	----	-----	-------	----	-----	-------

【年齢】	・50代	5名	18.5%	・60代	12名	44.4%	・70代	9名	33.3%
------	------	----	-------	------	-----	-------	------	----	-------

未記入1名

【移住地】	・吉野ヶ里町	1名	3.7%
	・みやき町	8名	29.6%
	・嬉野市	2名	7.4%

・神埼市	5名	18.5%
・久留米市	3名	11.1%
・鳥栖市	2名	7.4%

・佐賀市	5名	18.5%
・八女市	1名	3.7%

問2. これまでの来訪回数について、下記の設問にお答えください

(1) 吉野ヶ里町へはこれまで何回訪問したことがありますか？

1. 毎月のように行く	18名	66.7%	2. 行ったことがある	9名	33.3%	3. 一度も行ったことがない	名	0.0%
-------------	-----	-------	-------------	----	-------	----------------	---	------

※これまでの来訪回数 1回～5回 2名、 5回以上 3名、10回以上 1名 未記入 3名

(2) 山菜花の湯へはこれまで何回訪問したことがありますか？

1. 毎月のように行く	3名	11.1%	2. 行ったことがある	15名	55.6%	3. 一度も行ったことがない	9名	33.3%
-------------	----	-------	-------------	-----	-------	----------------	----	-------

※これまでの来館回数 1回～5回 8名、 5回以上 4名、10回以上 2名 未記入 1名

問3. 今回のウォーキングについて下記の設問にお答えください。

(1) この内容を事前に聞いて、最も期待していたことは何ですか？

・ウォーキング後の温泉	12件
・いつもとコースが違うリフレッシュ	1件
・食事	2件
・入浴料金	1件

・山道がきついのではないか	2件
・自然・景色	2件
・人々とのふれあい	1件
・未記入	6件

(2) ウォーキングに参加して最も印象に残ったことは何ですか？

・坂道が大変だった。	2件
・地元の方が参加していないこと	1件
・雪の中のウォーキングが楽しかった。	4件
・雪で大変だった。	2件

・雪景色	5件
・雪の中を歩いたこと	6件
・風呂は無料にするべきだ	1件
・ウォーキング後の温泉	1件

※複数回答有り

6) 山茶花の湯拠点 アミノバリューランニングクラブ ランニングコース選定実施

【日時】 2011 年 1 月 29 日 (土) 8:00～13:00 天候 曇一時雪

【行程】 山茶花の湯集合 →主催ツルカメ O & E 挨拶・佐賀大学コース説明
→ストレッチ運動 →山茶花の湯出発 →吉野ヶ里町大曲 →山茶花の湯 →
山茶花の湯入浴・休憩 →各自解散
ウォーキング工程 9 キロ

【料金】 無料 現地までの交通費各自実費

【参加者】 30 名 佐賀大学スタッフ・大塚製薬(株)
現地対応 松浦 他

【所感】 ・普段のコースと違う点に、ウォーキングチームの皆様にとっては新鮮であったようです。
・定期的な形で、専門の健康指導士・ランニング指導の方を呼ぶことができれば設立も可能であると感じた。
※ランニング後の温泉は好評であったことからセット券販売も視野に入れる。

【改善面】・コースがわかりにくく、横断歩道がない所を渡るなど危険な面が指摘されており、道にも案内掲示が必要であり、新たなコース設定についても検討しなければならない。

【その他】 参加者へアンケート実施 (集計結果は別紙参照)

【ツアー風景】



コース説明



ストレッチ運動



ランニングスタート



ランニング様子



ランニング様子

【アンケート結果】

問1. あなたの属性について下記の内容をお答えください。

【性 別】	男性	17名	65.4%	女性	9名	34.6%									
【年 齢】	・20代	4名	15.4%	・30代	2名	7.7%	・40代	7名	26.9%	・50代	6名	23.1%	・60代	7名	26.9%
【移住地】	・吉野ヶ里町	3名	11.5%	・神埼市	2名	7.7%	・佐賀市	15名	57.7%						
	・小城市	1名	3.8%	・福岡県久留米市	3名	11.5%	・福岡市	2名	7.7%						

問2. これまでの来訪回数について、下記の設定にお答えください。

(1)山菜花の湯へはこれまで何回訪問したことがありますか？

1. 毎月のように行く	1名	3.8%	2. 行ったことがある	17名	65.4%	3. 一度も行ったことがない	8名	30.8%
-------------	----	------	-------------	-----	-------	----------------	----	-------

※これまでの来訪回数「1回～5回」10名、「5回以上」2名、「10回以上」3名

問3. 今回のランニングコースについて下記の設定にお答えください。

(1)このランニングコースを事前に関して、何を期待されましたか？

・ランニング後の温泉	4件	・アップダウンが練習になる。	4件	・坂道でのトレーニング効果	2件
・いつもとコースが違うリフレッシュ感	1件	・自然・景色	2件		
・走りやすさ	2件	・競技場との違い	1件		
・地理間がない為わからない	2件	・コースが違い	2件	・未記入	1件

(2)実際、このランニングコースはいかがでしたか？評価すべき点、改善すべき点を等お答えください。

・もう少し安全なコース（車が少ない道）を希望	6件	・コースがわからず迷った。（目印など）	3件
・川久保線沿いの横断は危険を感じた。	8件	・適度にアップダウンがあるのは良かった	2件
・良い点として能力に合わせて何週走るか調整できる。	2件	・最後の上りはキツイ	2件
・車道と分離したコースにしたほうが良い	2件	・タバコや袋などゴミがたくさん落ちていたので	1件

※複数回答有り

問4. 今回のランニング、入浴、その他、今後のランニング普及に向け、何でも感じたこと、気になったこと、

話すべきことなどをお書きください。

・寒い	・コースは研究の余地があるかも	同意見4件
・ランニング後の入浴は楽しみです。	・色々なランニング	同意見2件
・ジョギング大会を是非！	・ウォーキング教室を開催して終了後入浴のイベントも良いと思います。	
・山菜花の湯でもランニング会員をPRしてください。	・入浴は魅力だが、最後の上りは参加したくないと思わせます。下に	
・参加自由な会であれば参加したい	下らずに山のほうにまわってもいいのではないか	
・コースもよく、入浴もゆっくり入れた。	・コース上に距離表示があったら目安になる。	

アンケート配布枚数	30枚	回収	26枚	回収率	86.7%
-----------	-----	----	-----	-----	-------

(4) アンケートの評価・検証

モニターツアー・体験プログラムの内容について参加者の評価から、商品化に向けての改善ポイントは下記の通り挙げられる。

- ①今回の5本のモニター・ツアーを通じて、ツアー全般および各体験プログラムのアンケート5段階評価は、「山茶花ウォーキング」以外は、評価4以上を獲得していることから、テーマツアーはこの方針で商品化を進めればかなり高い受容性が見込まれる。
- ②高評価の要因の一つは、ツアーコンダクターである。社員研修ツアーの就職内定者は上司であるツアーコンダクターのもとでは低い評価はつけにくいであろう。また、＜日本茶栽培発祥ツアー＞においては、茶道部の顧問の先生のもとでは同様となると想定される。
- ③次にツアー価格が大きなポイントとなる。バス代等の助成金がなくなれば、@7,000～10,000円/人となり実際の参加率は低下が予想される。ヒアリングからは、@5,000円/人が目安との声があった。
- ④＜五ヶ山ダム水源地をたずねてツアー＞は、大手旅行会社の販売力に期待し@3,000円/人で募集をかけたが集まらず、@1,000円/人としたところ即満杯となった。本来の“環境、エコ学ぶ”趣旨が、いつの間にか低価格で“自然の中で遊ぼう”へ走ったと睨んでいる。
- ⑤＜日本茶栽培発祥ツアー＞は、大学茶道部、女子学生が多いこともあり、評価の高いツアーとなったが、現役学生はお金に厳しい現状ゆえ今後の事業性を考えるとOB等時間とお金に余裕ある層をターゲットにすべきとの意見をいただいた。
- ⑥各々のツアーについての評価として補足すると
＜健康づくりと地域交流＞では、@4,980円/人と最も高額ツアーであったにもかかわらず高評価であったのは、4名の運営体制をとったからである。参加者に高齢者が多かったゆえだが、高齢者向けには十分な対応人数が必要であること確認した。
＜食の重要性を知ろう＞では、都合により野菜収穫体験ができず残念であったが、研修担当者からは継続の可能性高い返事をいただいた。
＜日本茶栽培発祥ツアー＞では、お茶の講話といっても内容のレベルがまちまちで事前に参加者のニーズを把握しておく必要を指摘された。
＜五ヶ山ダム水源地を訪ねてツアー＞では、教育ツアーとして継続していくには、福岡市水道局、県土木事務所、吉野ヶ里町等の行政のバックアップが必須と思われる。
＜山茶花ウォーキングツアー＞では、評価が3と最も低く厳しいものとなったが、積雪で悪条件が原因と思われる。さらに、現地集合現地解散であったことも原因の一つ。もっと気候の良いシーズンであれば評価も高くなったと考えられる。

なお、アンケートには問題点があまり書かれていないが、雨天用のプログラムの準備や雨天用プログラムへのフレキシブルな変更、訪問地での滞在時間を長くする等のプログラム計画、講師の講義の内容やレベルを再検討することも必要と思われる。これらのクリアー、ブラッシュアップを図ることでさらなる顧客満足を獲得することを目指したい。

(5) 成果と課題

1) 成果

一つは、ツアー参加者のニーズに関しアンケート評価を通じて具体的に把握することができ、今後のツアー企画、造成、催行にあたり、参考指標とすることが可能となったこと。

二つ目は、受け地側の機運が盛り上がったこと。

本地域の資源は、「食・農業」「観光&自然・文化・歴史」そして「人」、いずれも豊かである。ただし、各々がばらばらで連携がされていなかった。当初は、「行政主導で動いていかないと難しい」「町に整備やサポートをお願いしても全く反応がない」あるいは「町はそれなりに豊かだからやる気が無い」「行政には期待していない」「本気で地域を考える危機感がない」といった声が散見されたが、体験プログラム、ツアーの企画検討を重ねるうちに方向性とベクトルが摺りあわせられ、最後は、「せっかくここまでやったのだから、無駄にならないよう継続すべき」「活動の広がりが大切だと思う。」「みんなで話し合い、意見を出し合い、進めていこう」「行政主導ではなくわれわれでやっていくべし」との機運が生まれてきた。このことが最大の成果である。

特に、女性グループから、次ぎのような声がでた。「人々の、それぞれの思いや考えを持ち寄る場をつくることを第一の目的とし、考えを押し付けるのではなく、様々な人々と考えにつきあうことが大切」「農村女性の意見は反映されにくい、女性が動かないと地域の行事やイベントは回らない。女性がやる気を出したら動く!」「動きだそう。やってみよう。自分たちでやれる。」「農村理解のためのグリーンツーリズム推進に関する取組みを進めるにあたり、町のバックアップをお願いしたい。具体的には、農業体験ツアー等研究会の開催、地域案内人の養成と案内のためのマップづくり、グリーンツーリズムインストラクター養成への参加へのバックアップ」

2) 課題

①提供プログラムのレベルアップ、ブラッシュアップ

短期間で成果を出す必要があり、十分なフィジビリティースタディーが行えていないため、今後体験プログラムのレベルアップ、ブラッシュアップをどうしていくかが検討課題である。

②体験プログラムの提供者の人材確保と育成

テーマツアーゆえ各ツアーのリーダー、体験プログラムの提供者の資質、知識、知恵が重要となるが、その人材のさらなる発掘と育成はより求められる。

③組織、体制

走りながら考えたため、地元住民はもとより、メンバー内にさえ十分な説明とすり合わせできず、先走り感がある。今後、地元主体の体制とし、より地元の主体性を重視していく必要がある。特に、上記の女性の要望に対しどう具体的に答えていくか。

今回は、ツルカメO&E(株)がコーディネート役として牽引したが、今後、行政がサポートする自主的な協議会など、地元住民が中心となって動いていく組織が必要である。

④広報、販促

今回のモニターツアーは、目的に沿った企業、組織に直接交渉を行っており、PR、販促ルートについては現在未開拓である。

4. 本格実施に向けての検討（次年度以降の展開）

（１）体験プログラムの品質管理と継続的開発・提供を行う受け地側コーディネート機能（組織）の設置

- ・今回実施したモニター・ツアーの体験・見学受入箇所は、今後ともプログラムのブラッシュアップと受入れを前向きにとらえている。しかし、継続的にプログラムを開発・品質管理・提供していくためには、資源管理やプログラム提供者間の連携、育成を進めるコーディネート役が必須となる。
- ・吉野ヶ里町において、テーマツアー（体験プログラム）を推進していくための受け地側の組織として①交通事業者（JTB, 農協観光等） ②吉野ヶ里町観光商工課 ③協議会 等が考えられる。
- ・町内の公平性や利害関係を勘案すると、第一段階として町の商工観光課の中に専任担当者を置き、これを中心に役場の全面的な支援を受けながら進めていくことが適切と考える。なお、町は、昨年 10 月に町の観光戦略として、（仮称）吉野ヶ里みらい会議・を立上げるべく、ホームページ等で参加の有志を募集した。現在、町と NPO、有志で、協議会を立ち上げることも検討中である。

（２）福岡都市圏の企業研修向けツアーとヘルスツーリズムの呼び込みへの展開に向けて

- ・旅行市場は大きく、B 2 C（企業と一般消費者間取引）、B 2 B（企業間取引）、B 2 B 2 C（企業間取引と企業・一般消費者間取引）に分類される。
- ・B 2 C 商品は旅行会社の店頭や駅前、バスの車中のパンフレットのような旅行である。楽しさ、面白さそして価格に非常に敏感に反応し、週末、祝祭日に集中する傾向があり、一般的なエコツアーはこれにあたるが、子供中心の旅行となり、低価格で事業採算は厳しい面がある。
- ・B 2 B 商品は企業研修（新入社員、マネジメント研修、階層別、メンタル等）、修学旅行、ゼミ合宿等であり、企業向けのソリューションが求められる。楽しさ、面白さよりも意義や効果が問われる。但し、課題解決に有効と認知されれば安定的な集客が見込まれ、平日の催行も可能となる。
- ・B 2 B 2 C 商品は、今回の場合でいうと、テーマを絞り込んだグループとリーダー（先生とかインストラクター）のツアーがこれにあたるが、最終顧客は一般消費者であり B 2 C 商品と大きな違いはない。ただし、リーダーと一緒にいく旅行であり価格は内容次第であることがモニターツアーにおいても明らかになった。また、受け地側がテーマに対しどの程度対応できるかが重要な要素となる。
- ・吉野ヶ里町にとっての目指すべきニューツーリズムとは何か。町の地域資源はやはり自然・森林がベースとなる。町の強みとは何か。福岡都市圏から近距離で、自然と歴史、文化が残っているという好立地。この観点から、現在の自然すなわち環境（エコ）ツアーに「健康」という軸（観点）を強力に打ち出していきたい。

※B 2 C とは、BtoC ともいう。Business to Consumer の略

(3) 効果的な販売チャネルの開発

- ・現状のエコツアー、ヘルスツーリズムが事業採算的にもう一つ成功しているとはいえないのはプロダクトアウトの発想（自己満足で顧客の視点がない）からぬけきれていないこと、もう一つは流通・販促チャネルについてほとんど考慮されていないことだ。販売チャネルの開発を次の図表のようにとらえ整備し、次年度から売込んで行きたい。

図表 販売チャネルの整備方針

		流 通	最終顧客	最終プロダクト
(B2B2C) エコツアー お茶ツアー 温泉ツアー ウォーキングツアー		施設、カルチャーセンター、 大学、茶道部等へのダイレク トセールス (DM) インターネット (Web) 旅行会社 (JTB, 農協観光等)	施設の顧客 教室の生徒 カルチャアー センターの生 徒	テーマ(目的型)ツアー ・体験ツアー(独自性) ・体験プログラム(独自性)
企業 向け ヘル ス ツ ー リ ズ ム	(B2B) 企業研修	福岡都市圏の企業へダイレ クトセールス インターネット (Web)	企業 (総務・人事部 人材開発室) 労働組合 健康保険組合 学校等	研修 (メンタルヘルス対 策、メタボ対策、社員研修 (内定者、新入社員、階層) ヘルシーカンパニーの理 念 CSR 費用は会社負担
	(B2B 2C) 福利厚生	福利厚生会社 健康保険組合 インターネット (Web)	企業の従業員	福利厚生カフェテリアプ ラン 交通費、宿泊費の一部補助

(4) ツアー（サービス）と商品の融合の試み

- ・新しいテーマ性のツアー造成において、ものづくり体験と商品開発&販売を融合させていく。たとえば、お茶のテーマでの健康ツアーにおいては茶風呂の体験、茶ボディーソープ、茶化粧ジェルを試用、茶の商品づくり体験、共同商品開発等。お茶を飲む、お茶をたしなむ、お茶を食べる。そして、お茶のこころを体験する。おもてなしのこころの源流を求める旅。
- ・エコツアー、たとえば、木工教室ツアーにおいては吉野ヶ里町の杉、檜、竹、語り部さんの話、間伐材運び出し、伐採の体験プログラムを経験し、より木材に対する知識を深め、木工商品化に参画し製作し販売し、さらには幼稚園、小学校の木育に利活用することも面白いのではないかな。今後、木育共感商品開発あるであろう。
特に竹となれば、竹細工、バンブーオーケストラ等すでに材料はそろっている。

第2章 健康づくり（ヘルシーカンパニー）

1. 健康づくり（ヘルシーカンパニー）推進の考え方

（1）社会的背景

日本人の生活習慣の変化や高齢化により、近年、糖尿病等の生活習慣病の有病者、予備軍が急増し、生活者においては健康志向が高まりをみせ、社会においては、医療費の高騰を抑えるべくこうした生活習慣病予防対策への取組は緊急の課題となっている。

また、日本における年間の自殺者数は、ここ10年間連続で3万人を超えている。特に自殺者の70%以上が男性であり、中でも会社員の自殺の原因と考えられているのが、様々な要因の中で鬱をはじめとした心の病によるものとされる。

厚生労働省が発表したメンタルヘルスケア実施状況によると、メンタルヘルスケアに取り組んでいない企業の理由として、「取り組み方がわからない」、「専門スタッフがいらない」等が多くあげられた。こういった中で、ヘルスツーリズムは、旅行のもつ「楽しさ」「コミュニケーション」「ストレス解消」「癒し」「転地効果」を利活用した体験型プログラムとして期待され登場し注目を浴びている。

（2）取組み概要

当初は、福岡都市圏から一時間以内という利便性、好立地で、かつ自然、歴史、文化にあふれるということから、福岡都市圏の企業・行政関連の従業員を対象としたヘルスツーリズムを検討したが、現状では、五ヶ山エリアにおいては受け地側の体制や健康づくり体験プログラムの提供がなかなか容易ではないとの判断となった。そこで、まずは、対象エリアを山茶花の湯エリアを中心に、ターゲットを吉野ヶ里町の地元企業の従業員、その家族、地域住民とし、スタートは健康知識の習得、意識付け、生活習慣の見直しを目指すこととした。（地元企業の健康づくりから始めるが、実績を積み重ねることで健康体験プログラムの内容を充実発展させ、福岡都市圏の企業向けに売り出すことを視野に入れる。）

地域の健康づくり、元気づくりといっても抽象的でどこからどう具体化したらいいのか。

「健康づくり」というのは、広すぎてどこから着手していくのがいいのかが難しい。

そんな中で、町内にある大塚製薬㈱にアプローチし、「産官学で地域の健康づくりを！」と呼びかけ、（補足説明-2 大塚製薬 ウォーキングで町おこしコンセプトシート参照）健康づくり推進チームへの参加をとりつけた。さらに、佐賀大学の参加が得られ、㈱ムーンスター月星大学院の協力も得られ、産官学の連携の一步が始まった。

なお、先進事例として、長野県信濃町の森林セラピー、熊野古道健康ウォーク・熊野セラピー、岡山美咲町農村セラピー、大阪府柏原市のウォーキングの取組み、㈱日本ユニシスのヘルシーカンパニーへの取組み、NPO法人健康経営研究会の取組みを先進事例として調査し参考とした。

2. 健康づくり（ヘルシーカンパニー）推進に向けてのプログラムの試行

(1) プログラムの概要

地元企業を対象として試行的にセミナー等を開催しながらニーズを把握し、そのニーズに対応できる健康体験プログラムを開発・施行した。また、本格実施に向けて事業展開方針を整理した。

ステップ1 町内企業として従業員の健康管理・健康増進の必要性の認識促進

11/17 吉野ヶ里商工会にて「ヘルシーカンパニーのすすめ」を講演。社員の健康づくりプログラム開発に賛同してくれる企業に呼びかけた。

ステップ2 プログラム試行実施（プログラムの検討・開発より先に実施に向けて動く）

参加企業従業員を対象にして、健康体験セミナー3回開催。（それぞれにおいて、アンケート）

2010. 12. 11 第一回健康体験セミナー

2011. 1. 31 第二回健康体験セミナー

2011. 2. 14 第三回健康体験セミナー

ステップ3 アンケート結果をもとに健康体験プログラムの検討・開発

2011.4以降

ヘルシーカンパニーとは

アメリカの心理学者ロバート・ローゼンが提唱した「健康な社員が収益性の高い会社をつくる」とする企業戦略」いわゆるヘルシーカンパニーの概念は、就業者の健康増進と事業収益の拡大、医療費負担の軽減を積極的に目指すものである。

(2) プログラムの試行

1) 吉野ヶ里町商工会での講演「ヘルシーカンパニーのすすめ」 講師：植田真司

2010. 11. 17 出席 34 社に対し、本健康づくり体験プログラム全 3 回に参加を呼びかけたところ、佐賀エレクトロニクス、ニシム電子工業他に加え、吉野ヶ里町からの参加意思表示を得て、参加者 20 人のモニター健康づくり体験セミナーを催行が決定した。

吉野ヶ里健康経営セミナー 「どうすれば、企業と従業員が元気になるのか ヘルシーカンパニーという考え方」

ヘルシーカンパニーとは、米国の臨床心理学博士・経営コンサルタントの Robert H. Rosen 氏が 1991 年に提唱した、「経営管理」と「健康管理」を統合的に捉えた企業戦略上の健康増進活動概念です。企業の収益は従業員がその活力をいかに発揮するかに依存し、そのためにストレスの少ない職場環境の開発やマネジメントのあり方を重視するものです。ヘルシーカンパニーという考え方により、従業員をはじめ経営者自らが生活習慣（運動・栄養・休養 など）を見直し、健康的な生活することで、体調がよくなり、頭の回転もよくなり、仕事の質が向上、人間関係もよくなり、休むことも少なくなり、結果として、業績向上につながり医療負担の軽減にもなることが分かっています。

★日 時★ 2010年11月17日（水） 12:00～13:00
★場 所★ 吉野ヶ里町商工会
★参加費★ 無料
★テーマ★ 『健康と経営－ウォーキング』

講演 「仕事のパフォーマンスを高めるヘルシーカンパニーとは」
「ウォーキング事業の可能性について」
植田 真司 氏 株式会社ニーズ創造研究所 代表取締役

1958年生まれ。大阪市立大学工学部、大阪府立大学大学院経済学研究科修了。大学の講師、企業の研修、自治体の委員やコーディネーターなどさまざまな場面で活動中。社会で活躍するビジネスアスリートの育成に取り組んでいる。現在、例ニーズ創造研究所代表取締役、大阪国際大学／びわこ成蹊スポーツ大学／流通科学大学／神戸市看護大学非常勤講師、早稲田大学スポーツビジネス研究所客員研究員、NPO法人関西スポーツ文化振興協会理事長 など。

今後の予定
12月 「健康と栄養」（大塚製薬にて）
1月 「健康と食（地産地消）」
1月 「健康と休養（温泉プログラム他）」

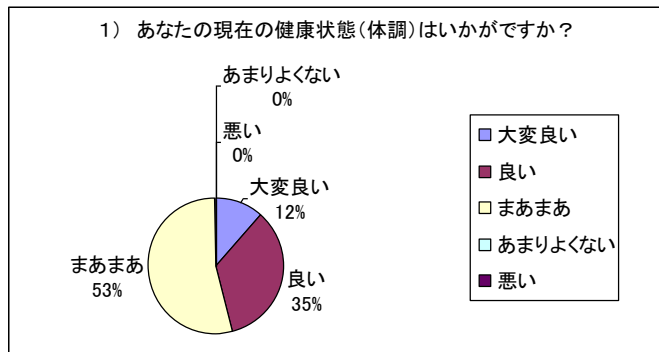
★問合せ★ 山茶花の湯 担当：松浦 TEL. 0952-53-2619
★主 催★ ツルカメO&E株式会社
★後 援★ 吉野ヶ里町商工会

【アンケート結果】

■経営者及び管理職本人について

1) セミナー前アンケート あなたの現在の健康状態(体調)はいかがですか？

大変良い	良い	まあまあ	あまりよくない	悪い
3	9	14	0	0

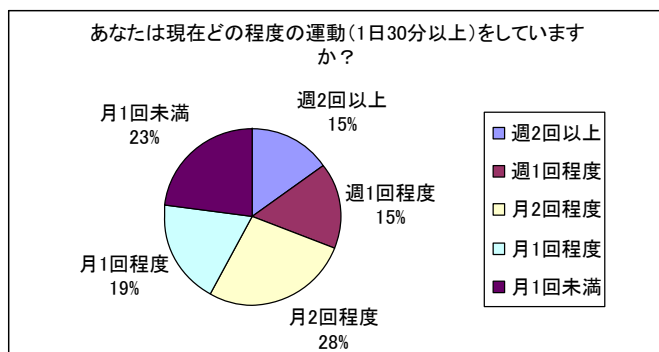


①-1

健康状態は大半がまあまであり、健康状態の悪い人はいない。

2-1) あなたは現在どの程度の運動(1日30分以上)をしていますか？

週2回以上	週1回程度	月2回程度	月1回程度	月1回未満
4	4	7	5	6

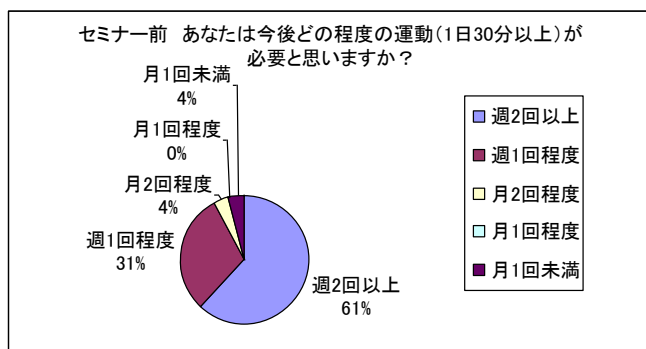


①-2

運動をしている人、運動をしていない人、バラバラである。

2-2) あなたは今後どの程度の運動(1日30分以上)が必要と思いますか？

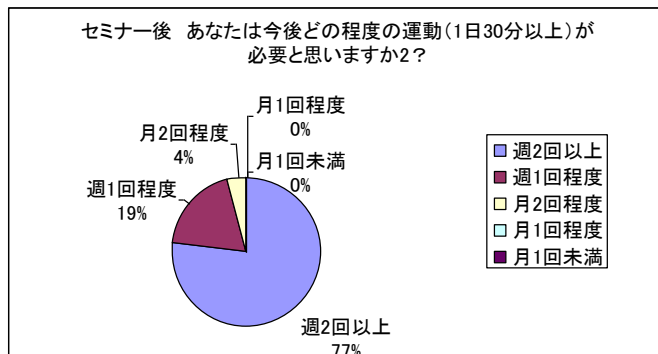
週2回以上	週1回程度	月2回程度	月1回程度	月1回未満
16	8	1	0	1



①-3

セミナー後 あなたは今後どの程度の運動(1日30分以上)を必要と思いますか？

週2回以上	週1回程度	月2回程度	月1回程度	月1回未満
20	5	1	0	0

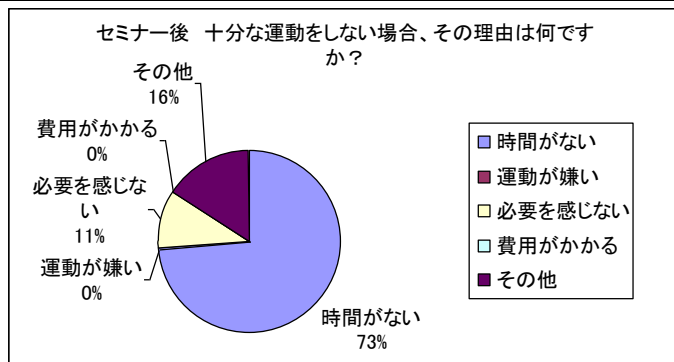


①-4

セミナー後に、運動が必要という意識が高まっている。

十分な運動(週2回以上、1回30分以上)をしない場合、その理由はなんですか？

時間がない	運動が嫌い	必要を感じない	費用がかかる	その他
14	0	2	0	3

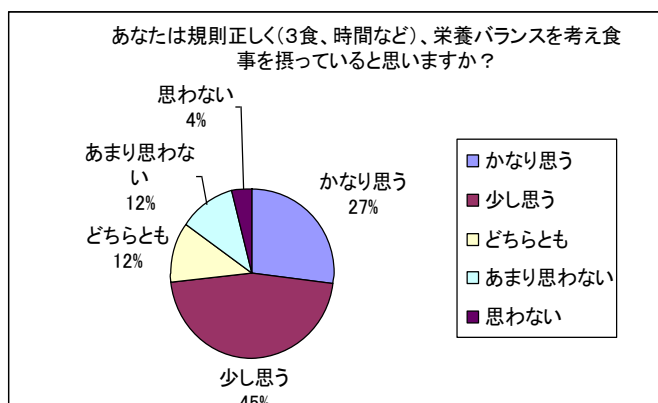


①-5

運動の出来ない理由は、時間がないこと。

3-1) あなたは規則正しく(3食、時間など)、栄養バランスを考え食事を摂っていると思いますか？

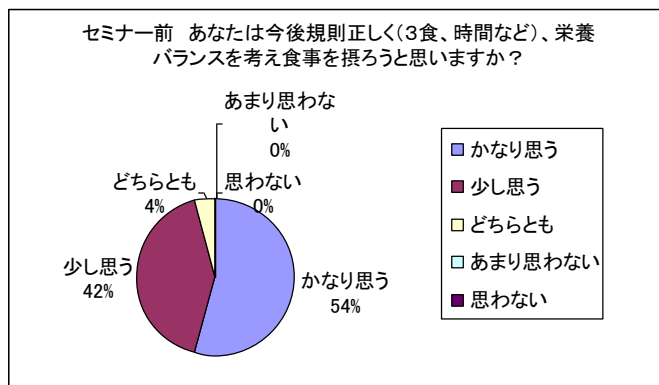
かなり思う	少し思う	どちらとも	あまり思わない	思わない
7	12	3	3	1



①-6

3-2) あなたは今後規則正しく(3食、時間など)、栄養バランスを考え食事を摂ろうと思いますか？

かなり思う	少し思う	どちらとも	あまり思わない	思わない
7	12	3	3	1

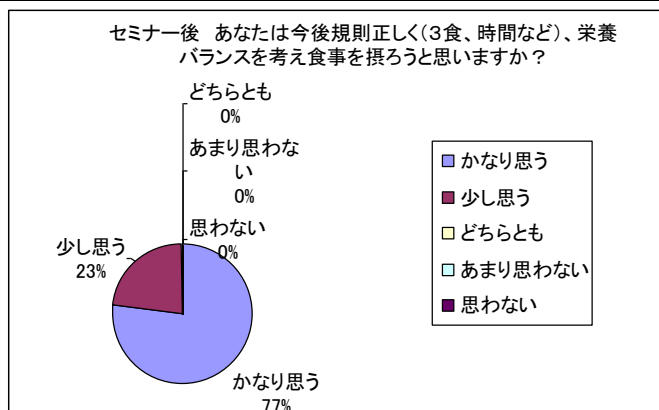


①-7

ほとんどの人が、食事を規則正しく取るべきと考えている。

セミナー後 あなたは今後規則正しく(3食、時間など)、栄養バランスを考え食事を摂ろうと思いますか？

かなり思う	少し思う	どちらとも	あまり思わない	思わない
20	6	0	0	0

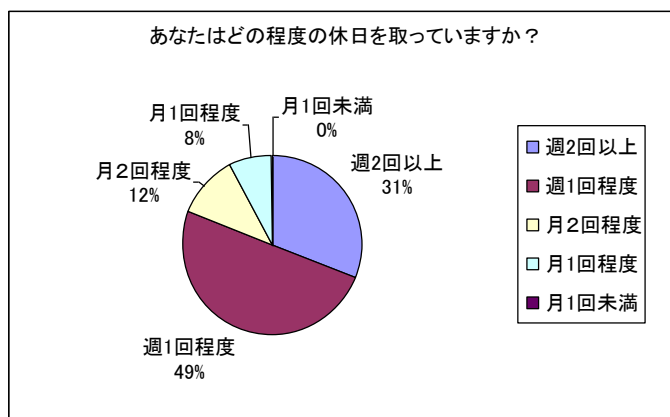


①-8

セミナー後は、ほぼ全員が規則正しく(3食、時間など)、栄養バランスを考えた食事が必要と考えている。

4-1) あなたはどの程度の休日を取っていますか？

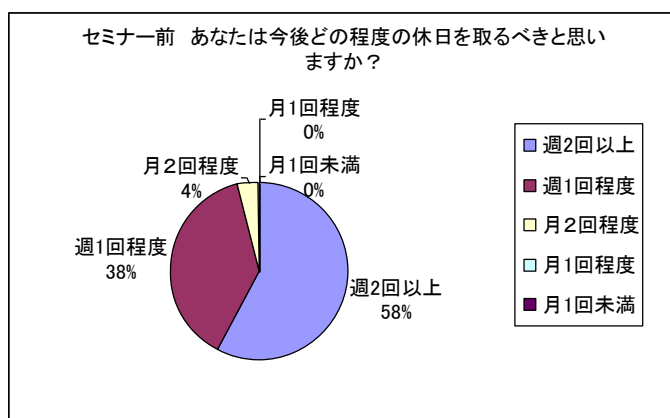
週 2 回以上	週 1 回程度	月 2 回程度	月 1 回程度	月 1 回未満
8	13	3	2	0



①-9

4-2) あなたは今後どの程度の休日を取るべきと思われますか？

週 2 回以上	週 1 回程度	月2回程度	月 1 回程度	月 1 回未満
15	10	1	0	0

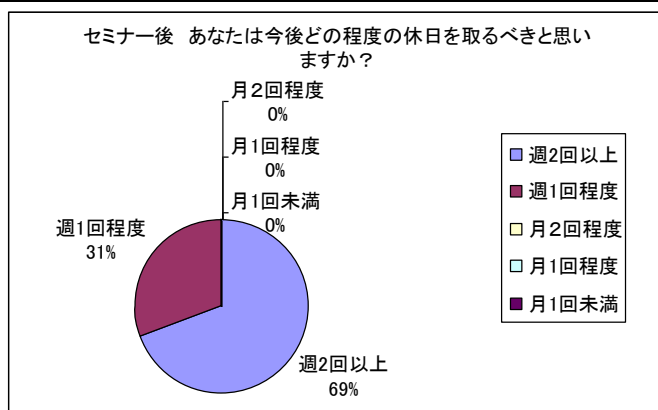


①-10

週2回の休みが欲しいと考えている。

3-1) あなたは今後どの程度の休日を取るべきと思われますか？

週 2 回以上	週 1 回程度	月2回程度	月 1 回程度	月 1 回未満
18	8	0	0	0

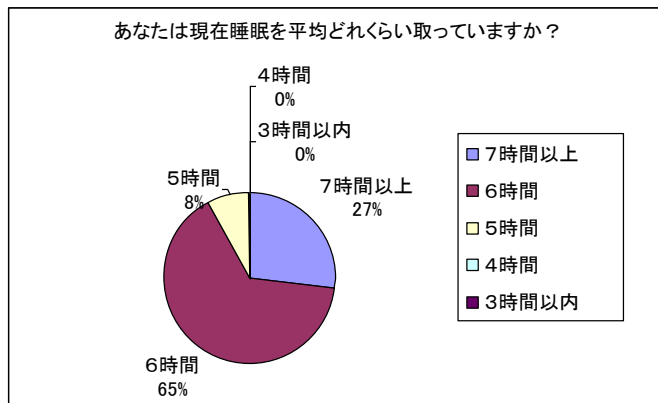


①-11

セミナー後は、ほぼ全員が週1回もしくは2回の休日が必要と考えている。

4-3) あなたは現在睡眠を平均どれくらい取っていますか？

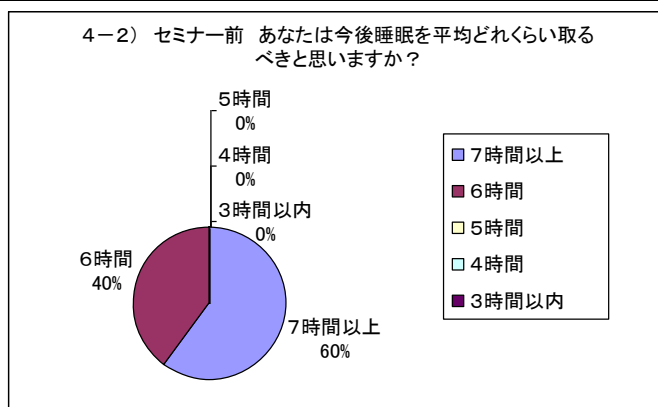
7時間以上	6時間	5時間	4時間	3時間以内
7	17	2	0	0



①-12

4-4) あなたは今後睡眠を平均どれくらい取るべきだと思いますか？

7時間以上	6時間	5時間	4時間	3時間以内
15	10	0	0	0

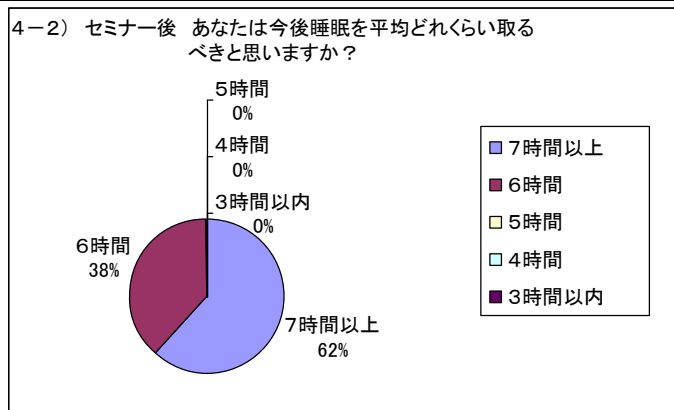


①-13

現在より約1時間多い、6時間～7時間の睡眠が欲しいと考えている。

セミナー後 あなたは今後睡眠を平均どれくらい取るべきだと思いますか？

7時間以上	6時間	5時間	4時間	3時間以内
16	10	0	0	0

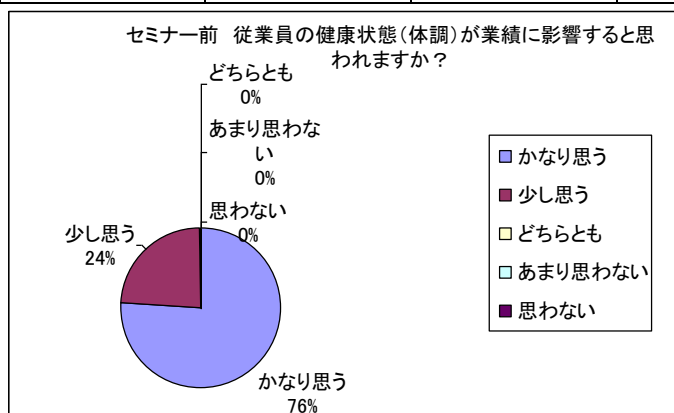


①-14

■従業員について

5) 従業員の健康状態(体調)が業績に影響すると思われますか？

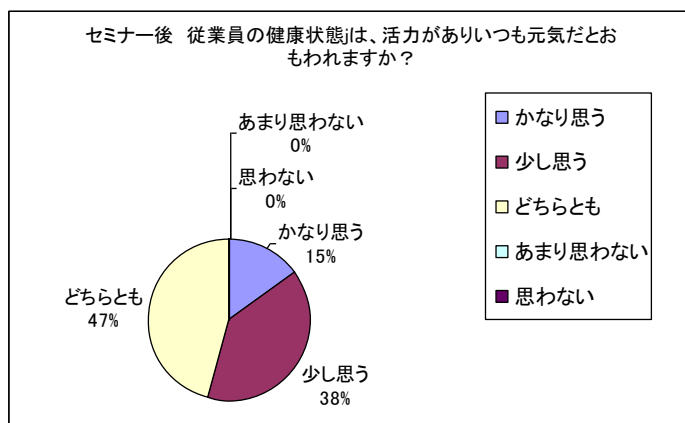
かなり思う	少し思う	どちらとも	あまり思わない	思わない
19	6	0	0	0



①-15

6) 従業員の健康状態は、活力がありいつも元気だと思われますか？

かなり思う	少し思う	どちらとも	あまり思わない	思わない
4	10	12	0	0



①-16

5) 従業員の元気がない場合、原因はなんだと思われますか？ 該当する物に○を付けて下さい。

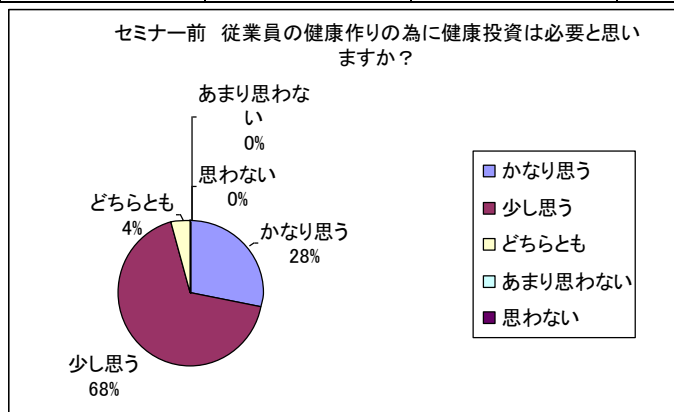
人間関係	運動不足	栄養不足	食べ過ぎ、飲みすぎ
10	12	1	2
寝不足	遊びすぎ	働きすぎ	その他
5	0	11	1

①-17

元気がない原因として、運動不足、働きすぎ、人間関係、寝不足があげられている。

6)従業員の健康づくりの為に健康投資は必要と思いますか？

かなり思う	少し思う	どちらとも	あまり思わない	思わない
7	17	1	0	0



①-18

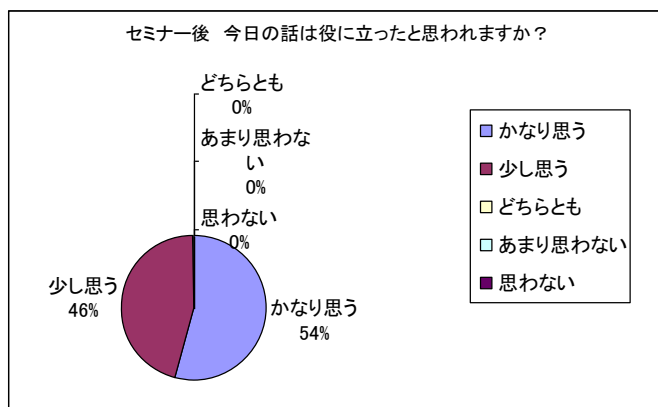
6)従業員の健康のために具体的に何かおこなっていますか？

ラジオ体操	健康教育	ストレスチェック	専門家の設置	その他
12	3	4	1	3

①-19

7) 今日の話は役に立ったと思われますか？

かなり思う	少し思う	どちらとも	あまり思わない	思わない
14	12	0	0	0

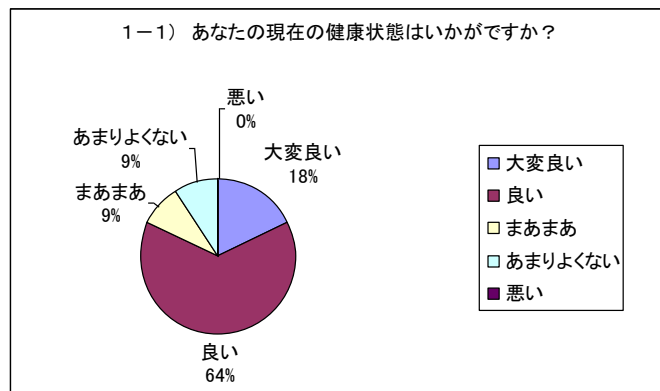


①-20

追加アンケート

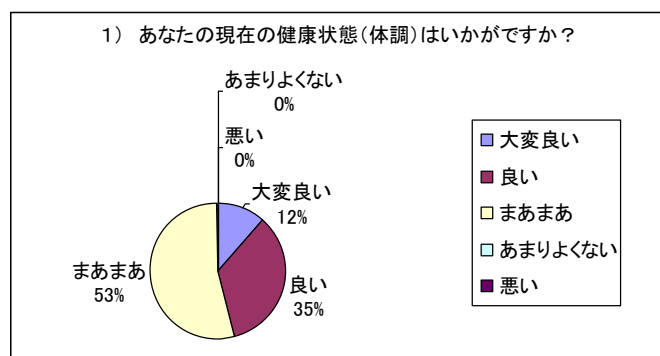
1－1) あなたの現在の健康状態はいかがですか？

大変良い	良い	まあまあ	あまりよくない	悪い
2	7	1	1	



①-21

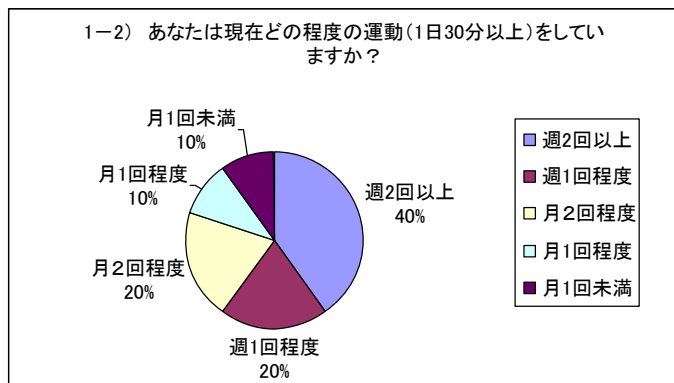
下記の前回に比べかなり改善されている。



①-22

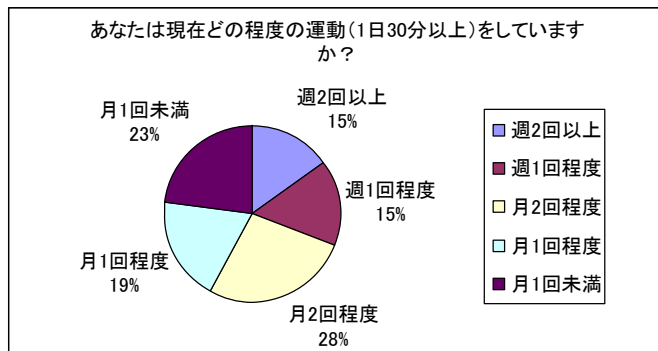
1-2) あなたは現在どの程度の運動(1日30分以上)をしていますか？

週2回以上	週1回程度	月2回程度	月1回程度	月1回未満
4	2	2	1	1



①-23

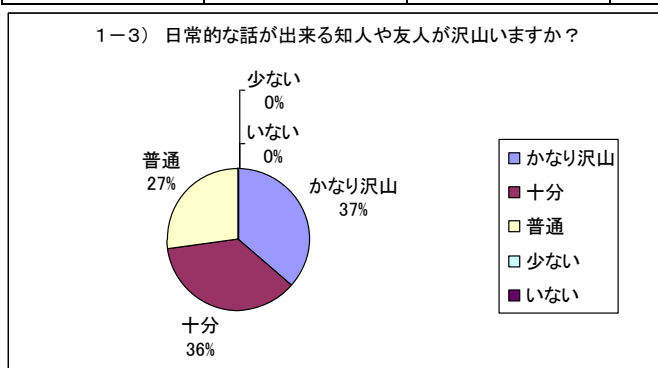
下記の前回に比べかなり改善されている。



①-24

1-3) 日常的な話ができる知人や友人が沢山いますか？

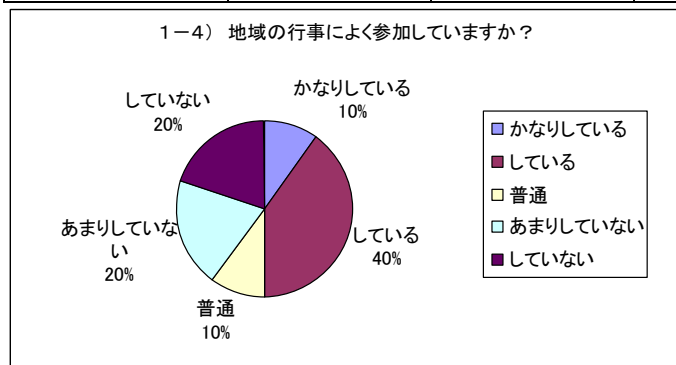
かなり沢山	十分	普通	少ない	いない
4	4	3	0	0



①-25

1-4) 地域の行事によく参加していますか？

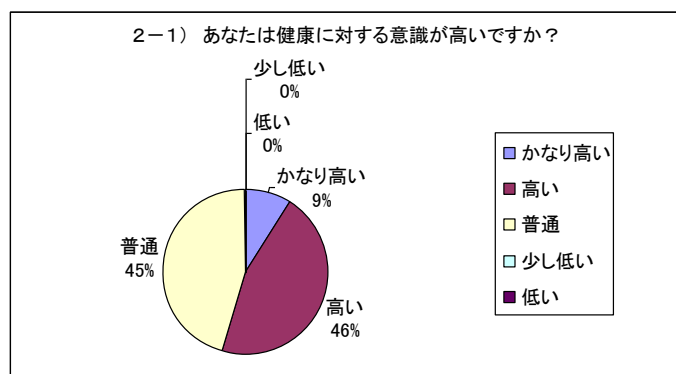
かなりしている	している	普通	あまりしていない	していない
1	4	1	2	2



①-26

2-1) あなたは健康に対する意識が高いですか？

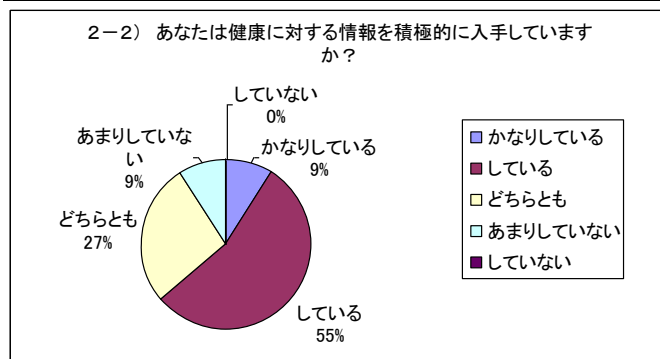
かなり高い	高い	普通	少し低い	低い
1	5	5	0	0



①-27

2-2) あなたは健康に対する情報を積極的に入手していますか？

かなりしている	している	どちらとも	あまりしていない	していない
1	6	3	1	0



①-28

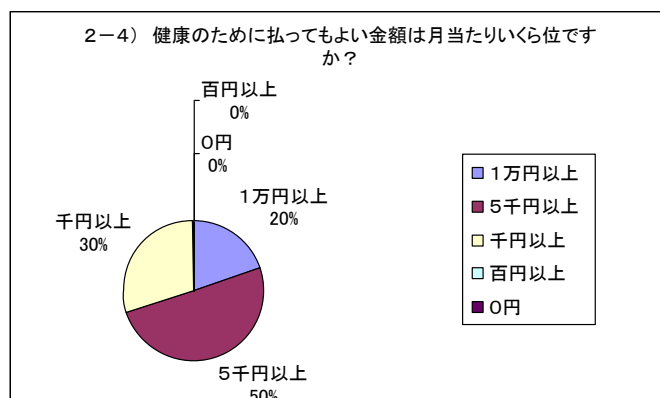
2-3) あなたは健康情報をどこから入手しますか？ 該当するものに○を付けて下さい。(複数可)

インターネットな どのweb	新聞	雑誌	TV	ラジオ
3	4	6	6	3
町からの広報誌	会社	家族	知人	その他
1	2	1	0	1

①-29

2-4) 健康のために払ってもよい金額は月当たりいくら位ですか？

1万円以上	5千円以上	千円以上	百円以上	0円
2	5	3	0	0

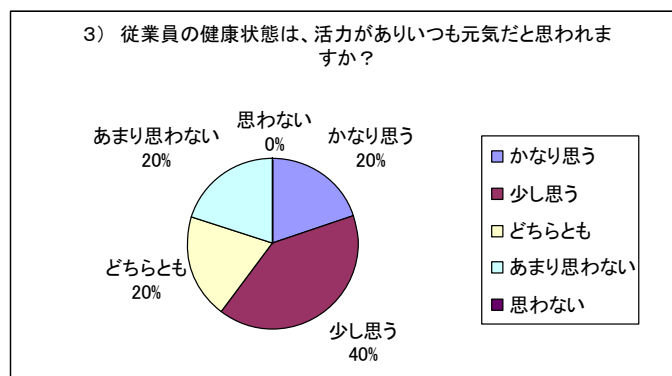


①-30

■従業員について

3) 従業員の健康状態は、活力がありいつも元気だと思われますか？

かなり思う	少し思う	どちらとも	あまり思わない	思わない
2	4	2	2	0



①-31

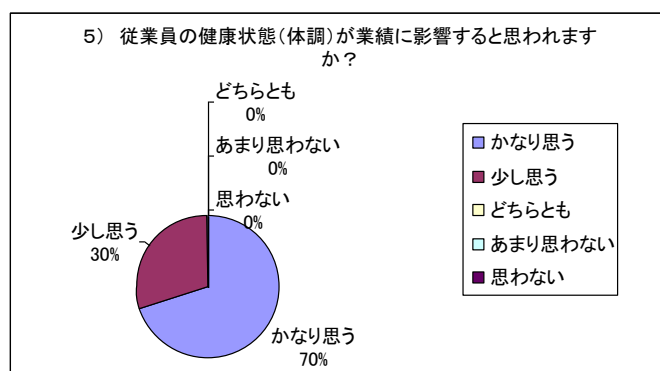
4) 従業員の元気がない場合、原因はなんだと思われますか？ 該当する物に○を付けて下さい。

人間関係	運動不足	栄養不足	食べ過ぎ、飲みすぎ	
6	3	1	1	
寝不足	遊びすぎ	働きすぎ、疲れの蓄積		その他
1	1	2		1

①-32

5) 従業員の健康状態(体調)が業績に影響すると思われますか？

かなり思う	少し思う	どちらとも	あまり思わない	思わない
7	3	0	0	0



①-33

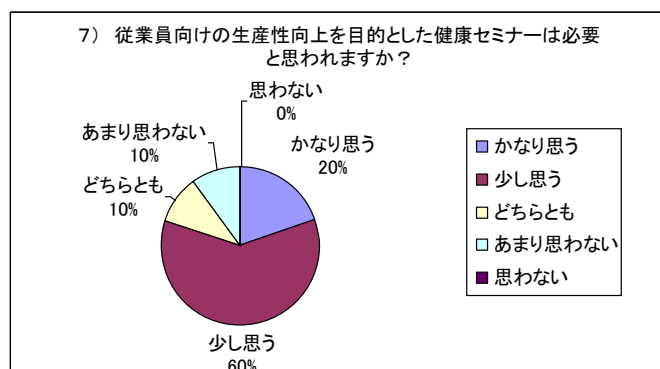
6) 従業員の健康のために具体的になにかおこなっていますか？

ラジオ体操	健康教育	ストレスチェック	専門家の設置
3	3	1	

①-34

7) 従業員向けの生産性向上を目的とした健康セミナーは必要と思われますか？

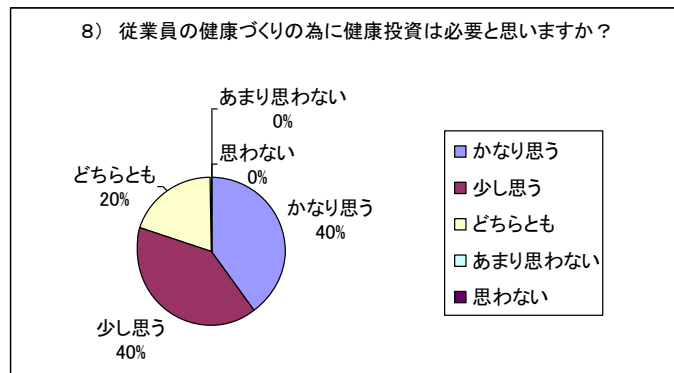
かなり思う	少し思う	どちらとも	あまり思わない	思わない
2	6	1	1	0



①-35

8) 従業員の健康づくりの為に健康投資は必要と思いますか？

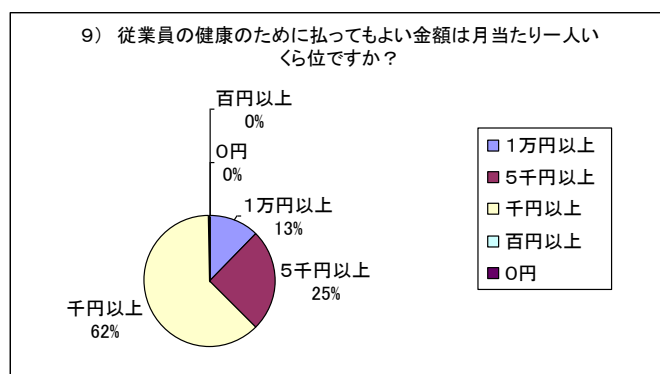
かなり思う	少し思う	どちらとも	あまり思わない	思わない
4	4	2	0	0



①-36

9) 従業員の健康のために払ってもよい金額は月当たりいくら位ですか？

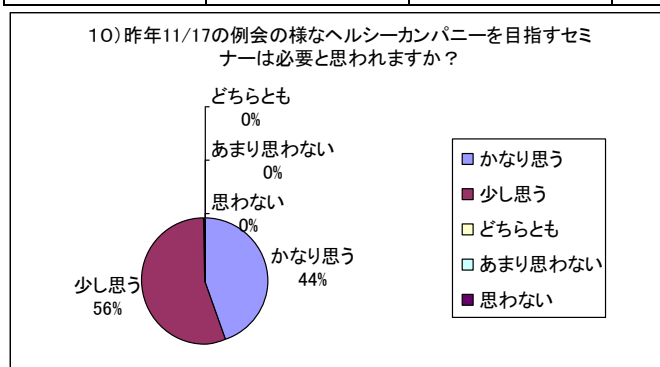
1万円以上	5千円以上	千円以上	百円以上	0円
1	2	5	0	0



①-37

10) 12月の例会の様なヘルシーカンパニーを目指すセミナーは必要と思われますか？

かなり思う	少し思う	どちらとも	あまり思わない	思わない
4	5	0	0	0



①-38

2) 健康セミナーの企画・準備・実施と評価（運動と栄養、食と休養）

I 2010. 12. 11 第一回健康体験セミナー

2010 年 12 月 2 日

セミナー参加の皆様へ

ツルカメ O&E 株式会社

吉野ヶ里町健康づくりプログラム 第一回 大塚製薬でのセミナーのご案内

拝啓

貴社ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、この度は吉野ヶ里町健康づくりプログラムへご参加いただきまして誠に有難うございます。第一回大塚製薬でのセミナーのご案内をさせていただきます。皆様の健康に少しでもお役に立てることが出来れば幸いです。

敬具

記

日時：2010 年 12 月 13 日（月）13:00 受付・測定 13:30 開始 15:30 終了

会場：大塚製薬㈱佐賀工場内 佐賀栄養製品研究所

佐賀県神埼郡吉野ヶ里町大曲字東山 5006-5 Tel：0952-52-1522

<http://www.otsuka.co.jp/company/production/factory/tour/saga/access.html>

内容スケジュール：

13:00 受付開始（セミナー開始前に体脂肪・骨密度測定）

13:30 セミナー開始

主催者あいさつ ツルカメ O&E㈱ 取締役部長 保元 温

大塚製薬セミナー概要説明 大塚製薬㈱佐賀出張所 所長 児玉健嗣

13:40 講演「運動と栄養」大塚製薬㈱佐賀出張所 岩崎央弥（健康管理士）

14:10 実技「健康教室」佐賀大学健康教室 指導スタッフ 浦寺翔太 山根由貴

内容—ストレッチ、軽い筋トレ、リズムダンス

15:00 大塚製薬㈱佐賀栄養製品研究所見学&説明 研究員 早瀬秀樹

15:30 終了（セミナー終了後 未実施者への測定）

屋内で軽い運動を行います。運動が出来る格好でお越しください（更衣室あり）。

また、タオルやお持ちであれば室内シューズをご持参ください。

大塚製薬セミナーに関するお問い合わせ先 大塚製薬㈱佐賀出張所 0952-30-1123 児玉

ツルカメ O&E㈱ 06-6251-1726 保元

セミナー様子 写真



主催者あいさつ



大塚製薬(株)健康管理士・岩崎氏による
「運動と栄養」講演



佐賀大学健康教室指導スタッフによる
「健康教室」実技・説明



佐賀大学健康教室指導スタッフによる
「健康教室」実技・説明



佐賀大学健康教室指導スタッフによる
「健康教室」実技・運動風景

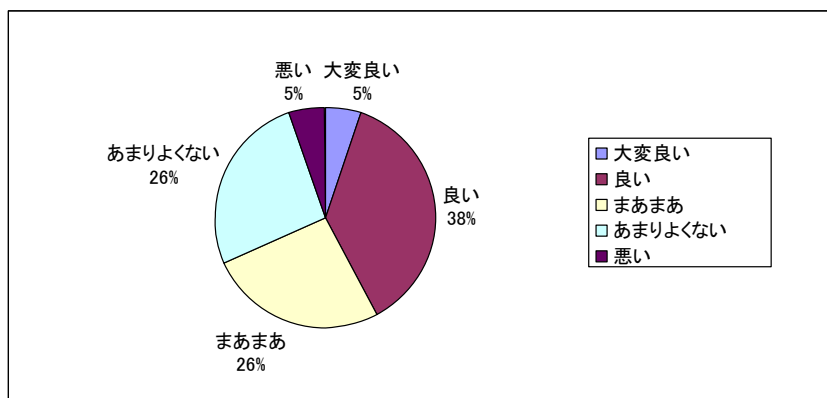


佐賀大学健康教室指導スタッフによる
「健康教室」実技・運動風景

【アンケート結果】

1) あなたの現在の健康状態(体調)はいかがですか？

大変良い	良い	まあまあ	あまりよくない	悪い
1	7	5	5	1



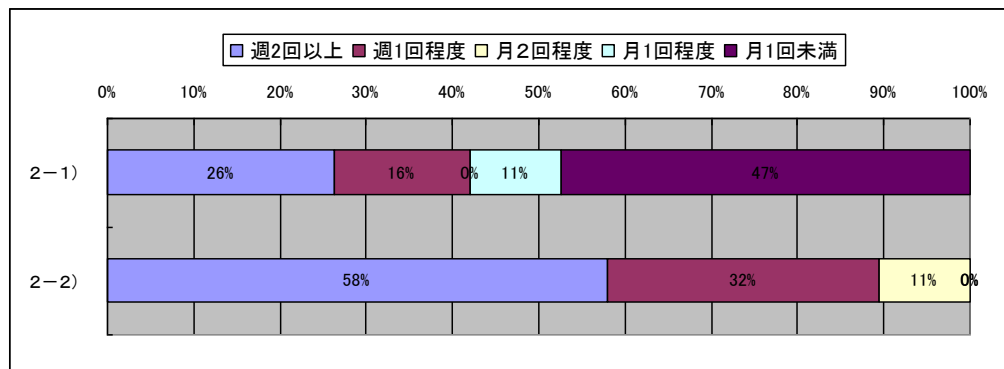
I-1

2-1) あなたは現在どの程度の運動(1日30分以上)をしていますか？

週2回以上	週1回程度	月2回程度	月1回程度	月1回未満
5	3	0	2	9

2-2) あなたは今後どの程度の運動(1日30分以上)が必要と思いますか？

週2回以上	週1回程度	月2回程度	月1回程度	月1回未満
11	6	2	0	0



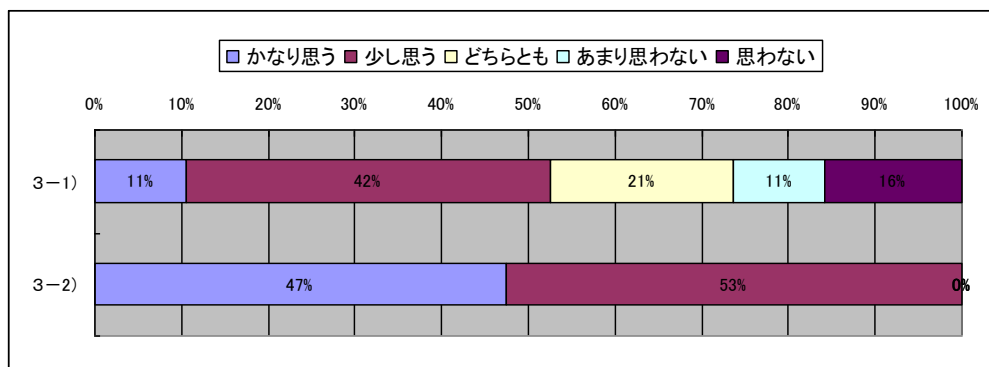
I-2

3-1) あなたは規則正しく(3食、時間など)、栄養バランスを考え食事を摂っていると思いますか？

かなり思う	少し思う	どちらとも	あまり思わない	思わない
2	8	4	2	3

3-2) あなたは今後規則正しく(3食、時間など)、栄養バランスを考え食事を摂ろうと思いますか？

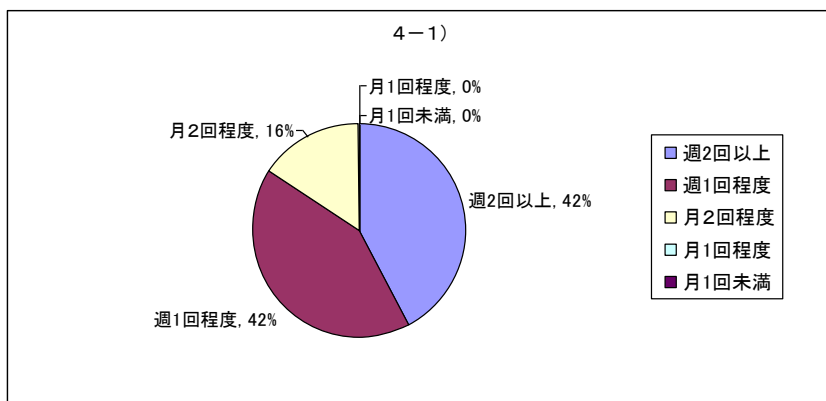
かなり思う	少し思う	どちらとも	あまり思わない	思わない
9	10	0	0	0



I-3

4-1) あなたはどの程度の休日を取っていますか？

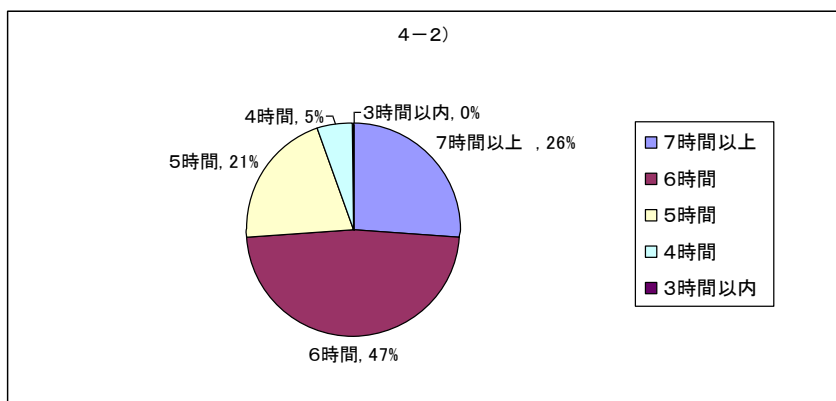
週 2 回以上	週 1 回程度	月 2 回程度	月 1 回程度	月 1 回未満
8	8	3	0	0



I-4

4-2) あなたは現在睡眠を平均どれくらい取っていますか？

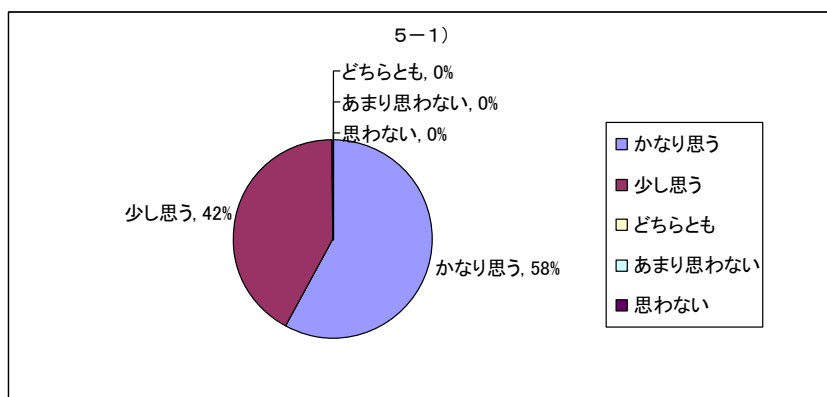
7時間以上	6時間	5時間	4時間	3時間以内
5	9	4	1	0



I-5

5-1) 今日の講演「運動と栄養」は役に立ったと思われますか？

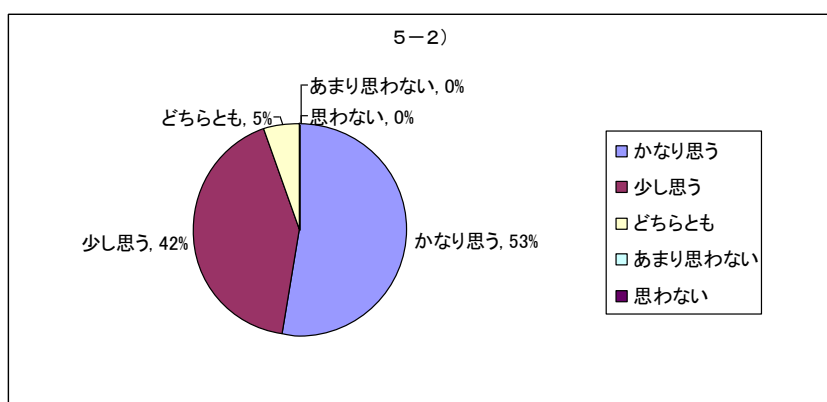
かなり思う	少し思う	どちらとも	あまり思わない	思わない
11	8	0	0	0



I-6

5-2) 今日の実技「健康教室」話は役に立ったと思われますか？

かなり思う	少し思う	どちらとも	あまり思わない	思わない
10	8	1	0	0



I-7

Ⅱ 2011. 1. 31 第二回健康体験セミナー
案内状パンフレット

2011 年 1 月 12 日

セミナー参加の皆様へ

ツルカメ O&E 株式会社

吉野ヶ里町健康づくりプログラム
第二回 健康体験セミナーのご案内

拝啓 貴社ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、この度は、第二回健康セミナーへご参加いただきまして誠に有難うございます。下記のとおりご案内をさせていただきます。皆様の健康に少しでもお役に立てることが出来れば幸いです。

敬具

記

日時：2011 年 1 月 31 日（月）13:00 受付後即開始 16:00 終了

会場：吉野ヶ里町農村環境改善センター

佐賀県神埼郡吉野ヶ里町三津 777 Tel：0952-52-3499

内容スケジュール：

13:00 開会 主催者あいさつ 吉野ヶ里町企画課 副課長 直塚政浩
ツルカメ O & E ㈱ 取締役部長 保元温

講座 佐賀の旨い農産物（食材）について

三神農業改良普及センター 副所長 藤崎弥生氏

13:30 実習 地産食材を使った健康メニューを作ってみよう “育男の一品”

指導：㈱さざんか工房 代表 池田悦子氏

- 献立 1. 雑穀米ごはん（赤米・黒米） 2. おからハンバーグ
3. 根菜ごろごろけんちん汁 4. ごぼうの変身（サラダ・スティック）
5. ちりめん高菜の一夜漬け

*地たまご 1 個であなたができる調理に挑戦！

15:00 配膳準備後 楽しく試食交流 あとかたづけ

15:20 講座 「生涯自分の歯で、美味しく食べて健康生活」 指導：歯科衛生士他

16:00 アンケート記入後閉会

*各自でエプロン、歯ブラシを持参ください。

本セミナーに関するお問い合わせ先

ツルカメ O&E ㈱ 06-6251-1726 保元

セミナー様子 写真



佐賀の旨い農産物（食材）についての講座



さざんか工房代表・池田悦子氏による、健康メニューづくり実技指導



健康メニューづくり・調理実習風景



健康メニューづくり・試食会



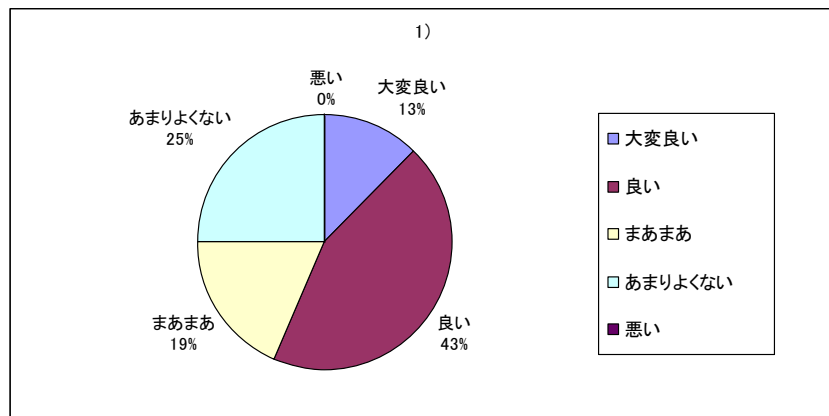
「生涯自分の歯で、美味しく食べて健康生活」
歯科衛生士による講座



「生涯自分の歯で、美味しく食べて健康生活」
歯科衛生士による講座

1) あなたの現在の健康状態(体調)はいかがですか？

大変良い	良い	まあまあ	あまりよくない	悪い
2	7	3	4	0



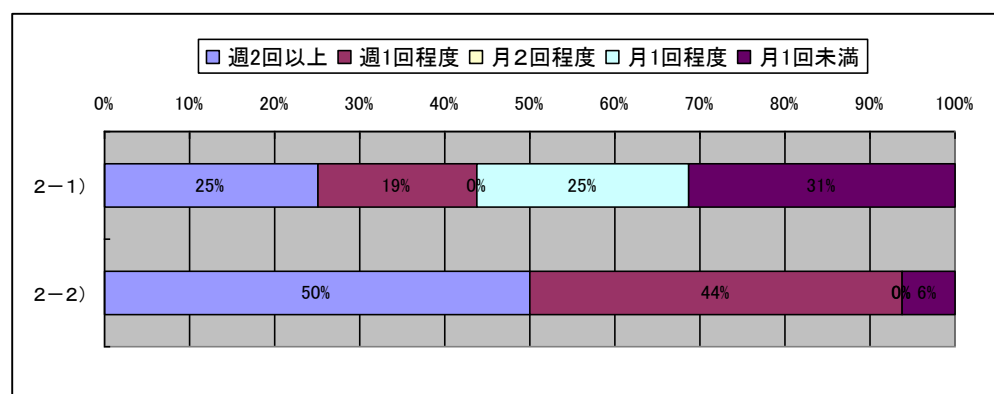
II-1

2-1) あなたは現在どの程度の運動(1日30分以上)をしていますか？

週2回以上	週1回程度	月2回程度	月1回程度	月1回未満
4	3	0	4	5

2-2) あなたは今後どの程度の運動(1日30分以上)が必要と思いますか？

週2回以上	週1回程度	月2回程度	月1回程度	月1回未満
8	7	0	0	1



II-2

2-3) 十分な運動を実施していない場合、その理由をお書きください。

仕事が忙しい 2。 休日は車での観光が中心で、寒い中運動しようと思わない。
おっくうなだけ。 目標がない。 子育てで忙しい。 生活習慣が変えられない。 時間がない

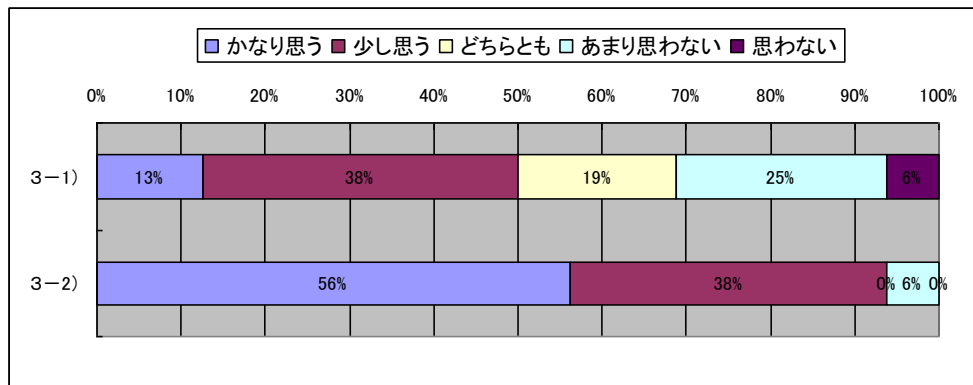
II-3

3-1) あなたは規則正しく(3食、時間など)、栄養バランスを考え食事を摂っていると思いますか？

かなり思う	少し思う	どちらとも	あまり思わない	思わない
2	6	3	4	1

3-2) あなたは今後規則正しく(3食、時間など)、栄養バランスを考え食事を摂ろうと思いますか？

かなり思う	少し思う	どちらとも	あまり思わない	思わない
9	6	0	1	0



II-4

3-3) 規則正しい食事や栄養バランスが摂れていない場合、その理由をお書きください。

決まった時間に食事が取れない。 インスタントの場合が多い

帰宅が遅く、食事が遅くなる。 忙しく、作る内容が偏りがち

時間の余裕がない。 生活習慣が変えられない

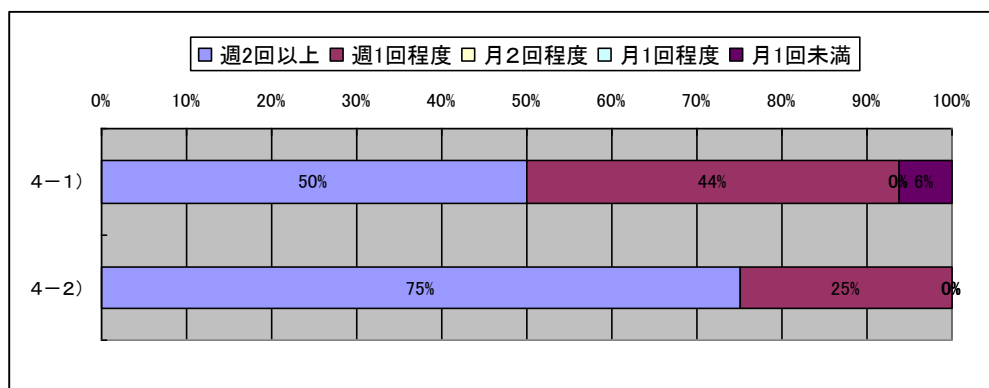
II-5

4-1) あなたはどの程度の休日を取っていますか？

週2回以上	週1回程度	月2回程度	月1回程度	月1回未満
8	7	0	0	1

4-2) あなたは今後どの程度の休日を取るべきと思われますか？

週2回以上	週1回程度	月2回程度	月1回程度	月1回未満
12	4	0	0	0



II-6

4-3) 十分な休日が取れていない場合、その理由をお書きください。

仕事が多忙 3

子育てで忙しい

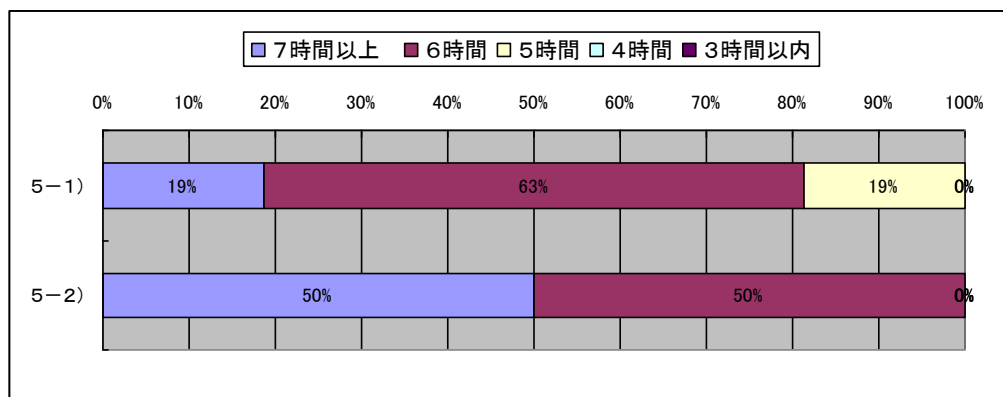
Ⅱ-7

5-1) あなたは現在睡眠を平均どれくらい取っていますか？

7時間以上	6時間	5時間	4時間	3時間以内
3	10	3	0	0

5-2) あなたは今後睡眠を平均どれくらい取るべきと思いますか？

7時間以上	6時間	5時間	4時間	3時間以内
8	8	0	0	0



Ⅱ-8

5-3) 十分な睡眠が取れていない場合、その理由をお書きください。

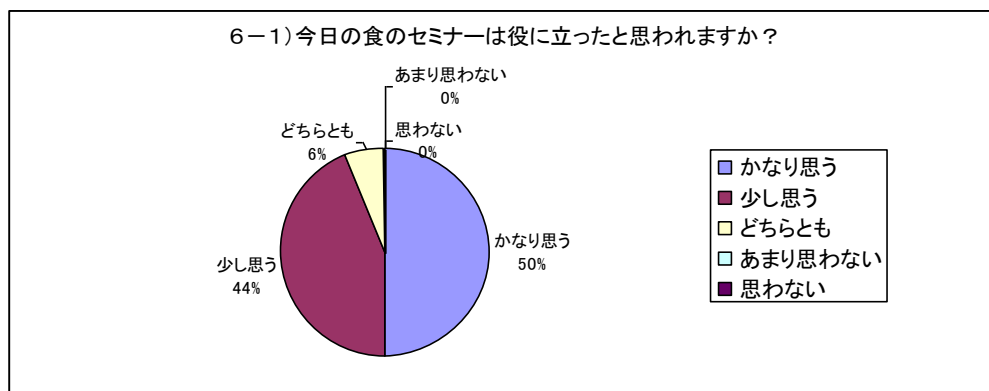
子育てで忙しい

仕事で遅くなる 3

Ⅱ-9

6-1) 今日の食のセミナーは役に立ったと思われますか？

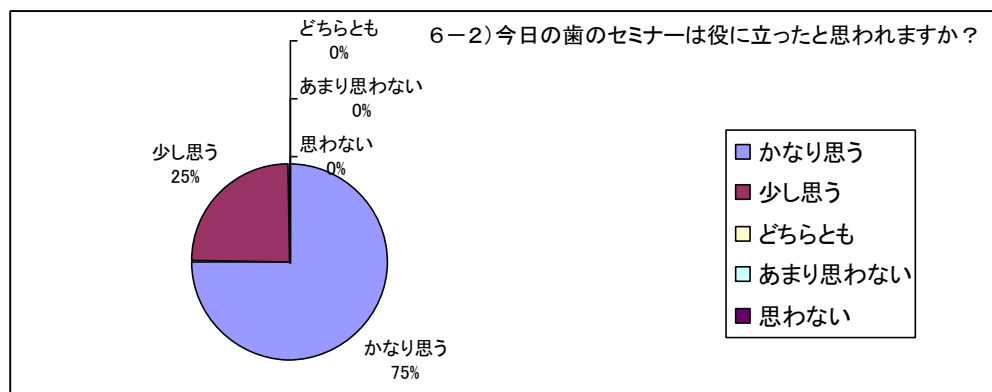
かなり思う	少し思う	どちらとも	あまり思わない	思わない
8	7	1	0	0



Ⅱ-10

6-2) 今日の歯のセミナーは役に立ったと思われますか？

かなり思う	少し思う	どちらとも	あまり思わない	思わない
12	4	0	0	0



II-11

Ⅲ 2011. 2. 14 第三回健康体験セミナー
案内状パンフレット

2011 年 2 月 4 日

セミナー参加の皆様へ

ツルカメ O&E 株式会社

吉野ヶ里町健康づくりプログラム
第三回 健康体験セミナーのご案内

拝啓 貴社ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。この度は、第三回健康体験セミナー（最終回）を下記のとおりご案内申し上げます。皆様の健康に少しでもお役に立てることが出来れば幸いです。どうぞよろしくお願い致します。

敬具

記

日時：2011 年 2 月 14 日（月）13：00 受付後即開始 16：00 終了予定

会場：吉野ヶ里温泉 山茶花の湯

佐賀県神埼郡吉野ヶ里町石動 76-2 Tel：0952-53-2619

内容スケジュール：

13：00 開会 主催者あいさつ 吉野ヶ里町企画課 副課長 直塚政浩
ツルカメ O&E 株式会社 取締役部長 保元温
山茶花の湯 支配人 松浦

講座Ⅰ ウォーキング、森林セラピーについての歩き方等実践指導

講師：佐賀ウォーキング協会資格保有者

14：00 講座Ⅱ ストレッチヨガ、瞑想 ～運動前後 メンタルヘルス～

講師：湘ストレッチスタジオ 主幹 安希先生

15：30 講座Ⅲ 温泉セラピー 入浴方法 ～リラックス～

講師：同 上

16：00 アンケート記入後 各自入浴実践 閉会

本セミナーに関するお問い合わせ先

ツルカメ O&E 株式会社 06-6251-1726 保元
山茶花の湯 0952-53-2619 松浦

セミナー様子 写真



健康体験セミナー (株)ストレッチスタジオ主幹・安希先生による、ストレッチヨガ・講座



健康体験セミナー (株)ストレッチスタジオ主幹・安希先生による、ストレッチヨガ・体験



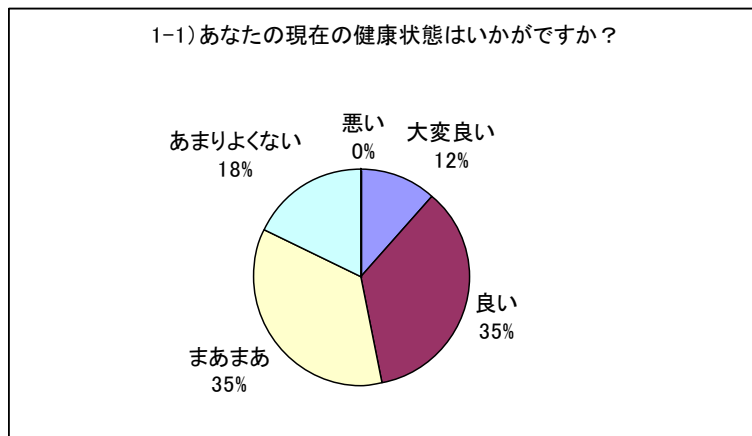
健康体験セミナー (株)ストレッチスタジオ主幹・安希先生による、ストレッチヨガ・体験



健康体験セミナー (株)ストレッチスタジオ主幹・安希先生による、温泉セラピー講座

1-1) あなたの現在の健康状態はいかがですか？

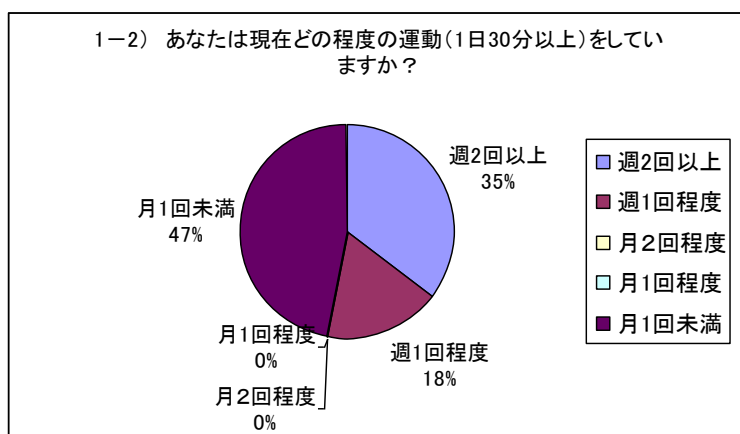
大変良い	良い	まあまあ	あまりよくない	悪い
2	6	6	3	0



III-1

1-2) あなたは現在どの程度の運動(1日30分以上)をしていますか？

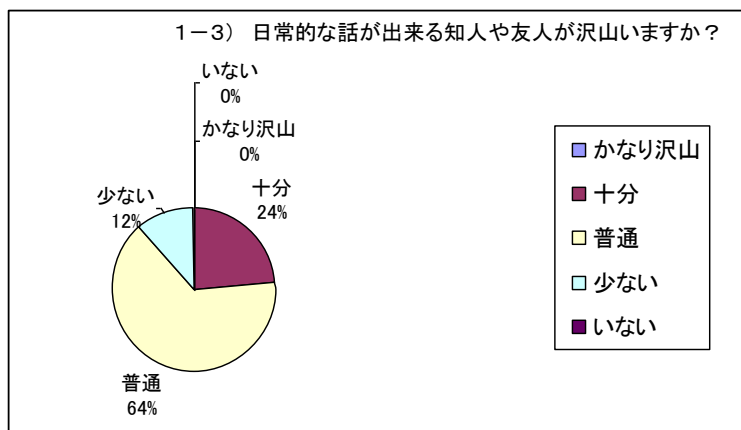
週2回以上	週1回程度	月2回程度	月1回程度	月1回未満
6	3	0	0	8



III-2

1-3) 日常的な話ができる知人や友人が沢山いますか？

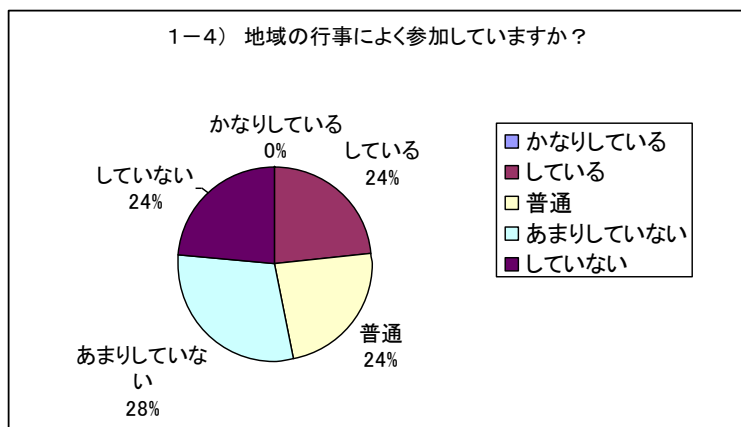
かなり沢山	十分	普通	少ない	いない
0	4	11	2	0



Ⅲ-3

1-4) 地域の行事によく参加していますか？

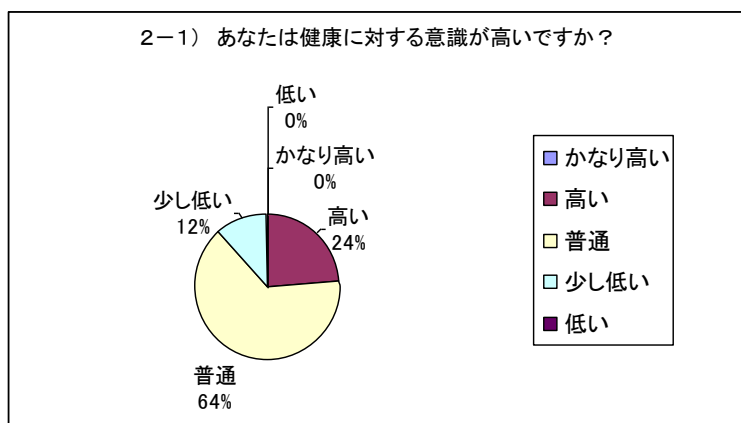
かなりしている	している	普通	あまりしていない	していない
0	4	4	5	4



Ⅲ-4

2-1) あなたは健康に対する意識が高いですか？

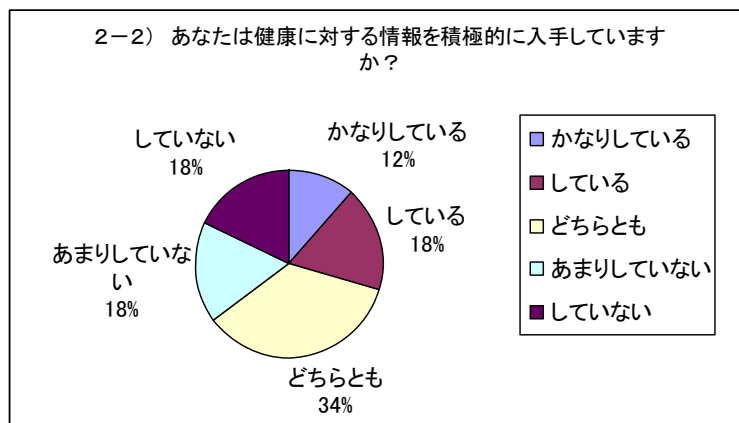
かなり高い	高い	普通	少し低い	低い
0	4	11	2	0



Ⅲ-5

2-2) あなたは健康に対する情報を積極的に入手していますか？

かなりしている	している	どちらとも	あまりしていない	していない
2	3	6	3	3



III-6

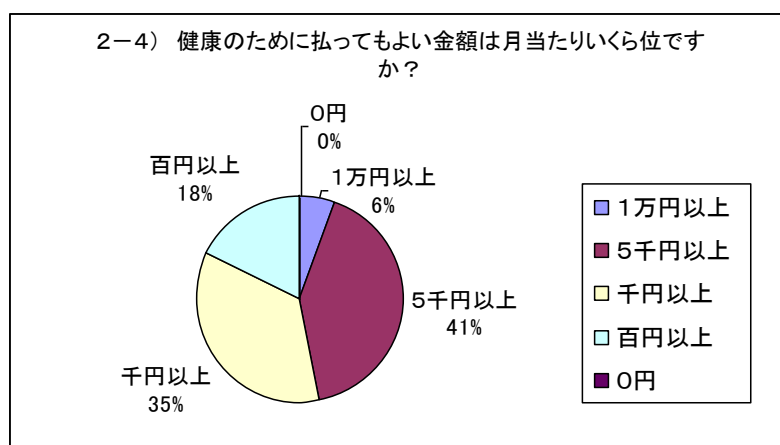
2-3) あなたは健康情報をどこから入手しますか？ 該当するものに○を付けて下さい。(複数可)

インターネットなどのweb	新聞	雑誌	TV	ラジオ
11	1	6	7	0
町からの広報誌	会社	家族	知人	その他
1	3	1	1	0

III-7

2-4) 健康のために払ってもよい金額は月当たりいくら位ですか？

1万円以上	5千円以上	千円以上	百円以上	0円
1	7	6	3	0



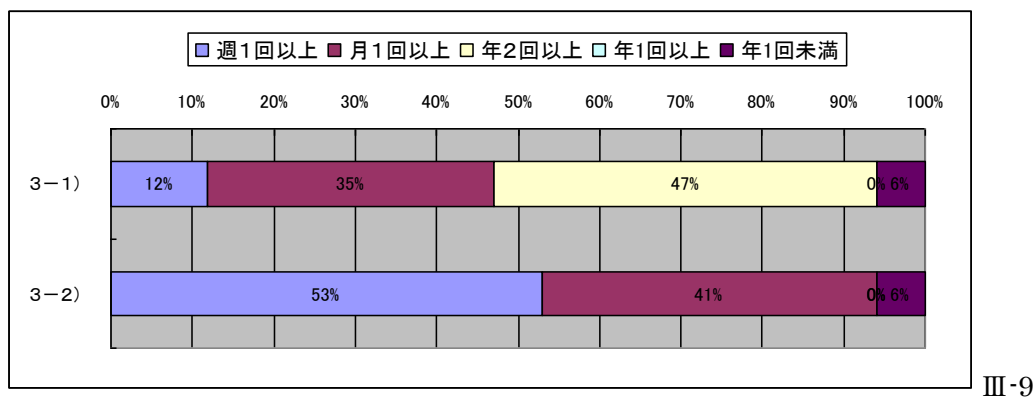
III-8

3-1) あなたはどの程度の頻度で温泉に入りますか？

週1回以上	月1回以上	年2回以上	年1回以上	年1回未満
2	6	8	0	1

3-2) あなたはどの程度の頻度で温泉に入りたいですか？

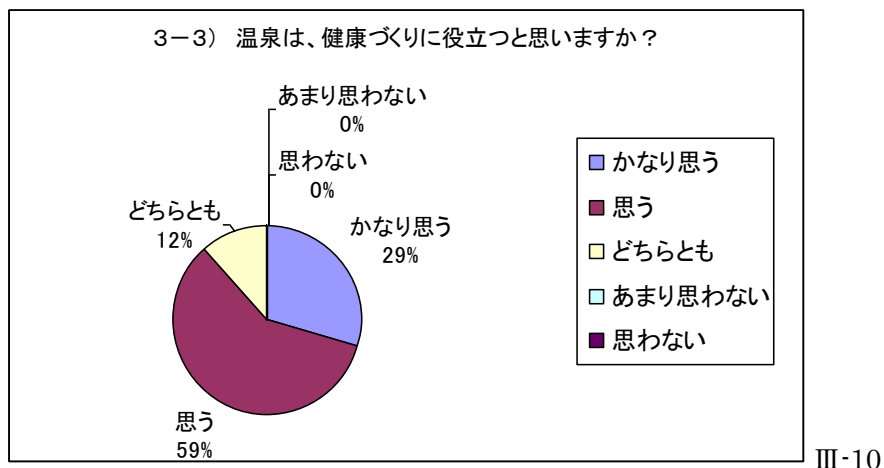
週1回以上	月1回以上	年2回以上	年1回以上	年1回未満
9	7	0	0	1



III-9

3-3) 温泉は、健康づくりに役立つと思いますか？

かなり思う	思う	どちらとも	あまり思わない	思わない
5	10	2	0	0



III-10

3-4) 温泉の良いところをお書きください。

リラックスできる	9
体の芯から温まる	4
リフレッシュできる	1
疲れが取れる	2
体がほぐれる	1

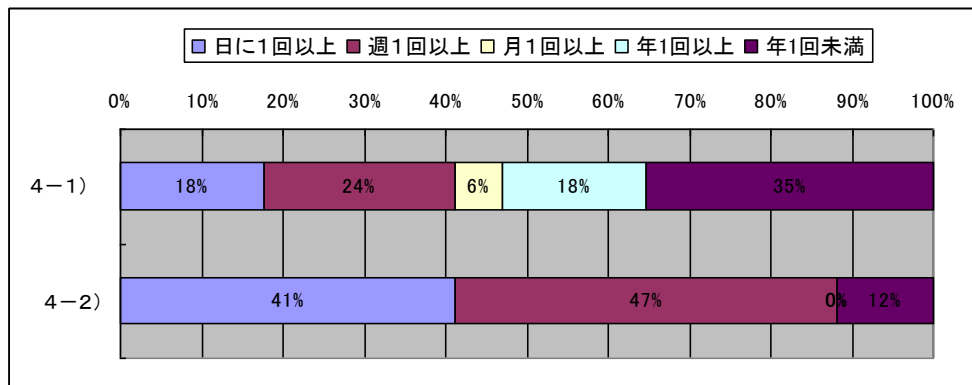
III-11

4-1) あなたは1分以上のストレッチ、深呼吸、瞑想などの積極的休息をどの程度取っていますか？

日に1回以上	週1回以上	月1回以上	年1回以上	年1回未満
3	4	1	3	6

4-2) あなたは1分以上のストレッチ、深呼吸、瞑想などの積極的休息をどの程度必要と思われますか？

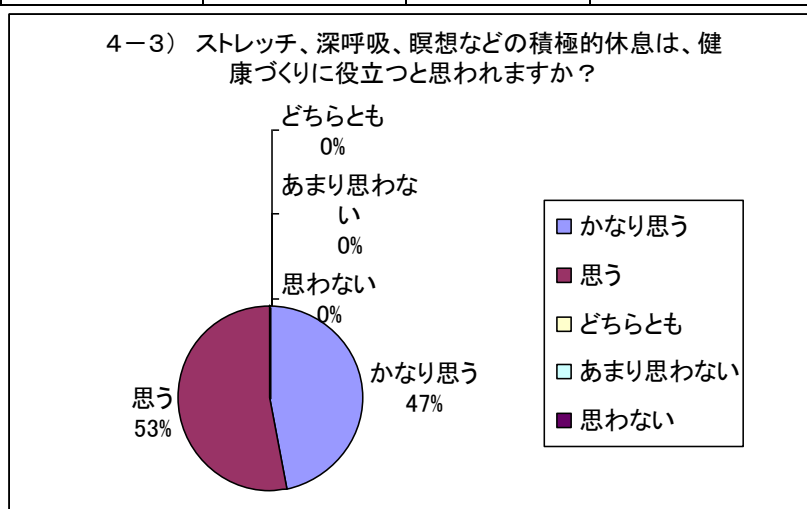
日に1回以上	週1回以上	月1回以上	年1回以上	年1回未満
7	8	0	0	2



Ⅲ-12

4-3) ストレッチ、深呼吸、瞑想などの積極的休息は、健康づくりに役立つと思われますか？

かなり思う	思う	どちらとも	あまり思わない	思わない
8	9	0	0	0



Ⅲ-13

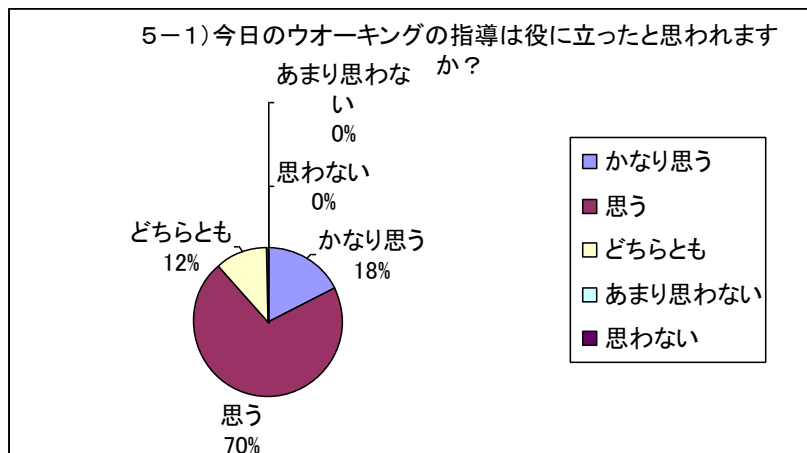
4-4) ストレッチ、深呼吸、瞑想の良いところをお書きください。

リラックスできる	6
バランスがよくなる	2
無になれる	1
肩こりが無くなる	1
道具が要らない	1
ストレスの低減	1
体が軽くなる	1
自分を見つめなおせる	1
一人で出来る	1

Ⅲ-14

5-1) 今日のウォーキングの指導は役に立ったと思われますか？

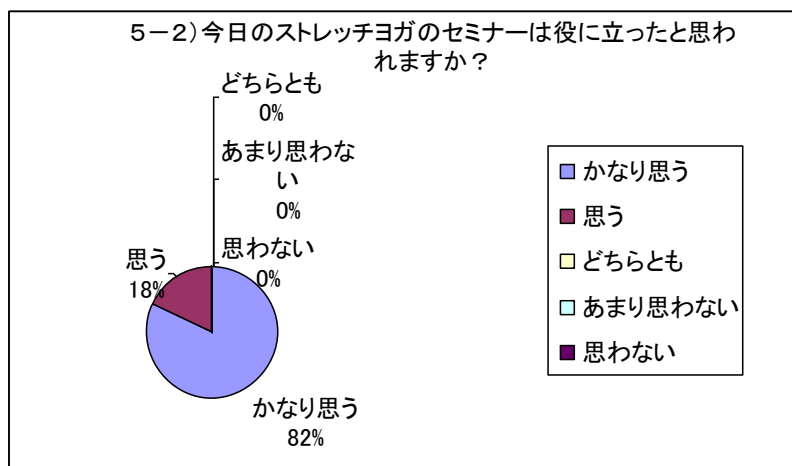
かなり思う	思う	どちらとも	あまり思わない	思わない
3	12	2	0	0



Ⅲ-15

5-2) 今日のストレッチヨガのセミナーは役に立ったと思われますか？

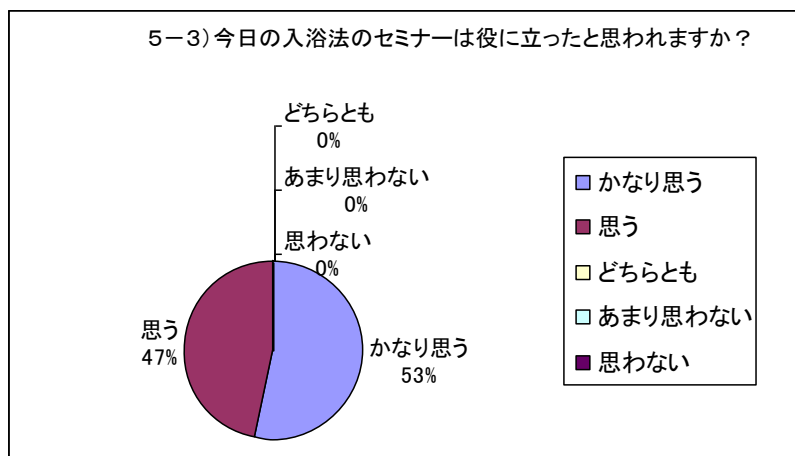
かなり思う	思う	どちらとも	あまり思わない	思わない
14	3	0	0	0



Ⅲ-16

5-3) 今日の入浴法のセミナーは役に立ったと思われますか？

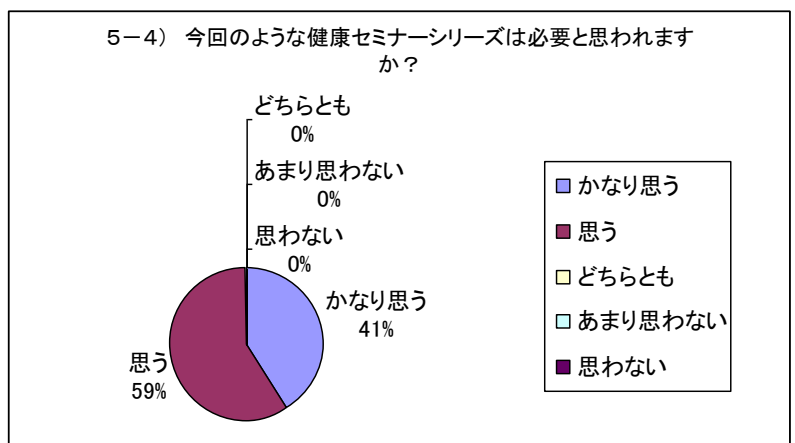
かなり思う	思う	どちらとも	あまり思わない	思わない
9	8	0	0	0



III-17

5-4) 今回のような健康セミナーシリーズは必要と思われますか？

かなり思う	思う	どちらとも	あまり思わない	思わない
7	10	0	0	0



III-18

5-5) その他、お気づきの事などありましたら自由にお書きください。

プロのセミナーは分かりやすい	1
場所(民家)がよかった	1
会社で継続を検討したい	1
ヨガの方法をまとめた物wが欲しい	1
よかった	1
重要なセミナー	1

III-19

(3) アンケートの評価・検証

1) 経営者・管理職調査の評価

経営者本人について

- ・経営者管理職の健康状態は、社員に比べ良いといえる。(図①-1 と I-①参照)
- ・健康が大切であることも理解できているようである。(図①-3、①-7、①-1、①-13 参照)
- ・しかし、運動、規則正しい食事、休養は必要と思っているが、実行できていないのが現状である。(図①-2 と①-3、①-6 と①-7、①-9 と①-10、①-12 と①-13 参照)
- ・運動をしない理由として、「時間がない」があげられている。(図①-5 参照)
- ・規則正しい食事(3食、時間など)、休日数や睡眠時間も理想と現状にはギャップがある。休日を週 1 日も取れていない人が約 2 割、睡眠時間も 6 割が 7 時間必要と考えているが、現実には 3 割しか 7 時間の睡眠が取れていない。
- ・今回のセミナーを聞いた後では、健康に対する意識が高まっていることが分かる。(図①-3 と①-4、①-7 と①-8、①-10 と①-11 参照)
- ・健康情報の入手先としては、新聞、雑誌、TVが多いようである。

以上のことから、「健康になる方法」だけでなく、健康づくりを阻害している原因をなくす工夫が必要である。その一つが時間のないことであり「時間のつくり方」などのセミナーが有効であると考えられる。

また、健康であることの大切さを理解してもらい、モチベーションを高めるために「健康であることのメリット」「不健康であることのデメリット」を説明するセミナーが必要と考えられる。

従業員について

- ・従業員の健康状態(体調)が業績に影響すると、1 回目、2 回目とも全員が思っている。(図①-15 ①-33 参照)
- ・元気であるかとの質問においては、約半分が元気と答えている。(図①-16)
- ・従業員の元気のない理由としては、運動不足、働き過ぎ、人間関係、寝不足が上位に来ている。
- ・従業員のための健康セミナーが、約 8 割の人が必要と思っている。(図①-35)
- ・従業員の健康づくりの為に投資をするかの質問には、1 回目の調査で 9 割、2 回目の調査でも 8 割の人が健康投資は必要と思うと答えている。(図①-18、①-36)。
- ・また、そのために約 4 割が月 5 千以上払っても良いと答えている。(図①-37)
- ・ヘルシーカンパニーのセミナーは、全員が役に立ったと思うと答えている。(図①-20)
- ・今回の様なヘルシーカンパニーのセミナーが必要と全員が思っている。(図①-38)

以上のことから都会の企業に比べて、地方の企業は従業員を大切にしているように思われる。

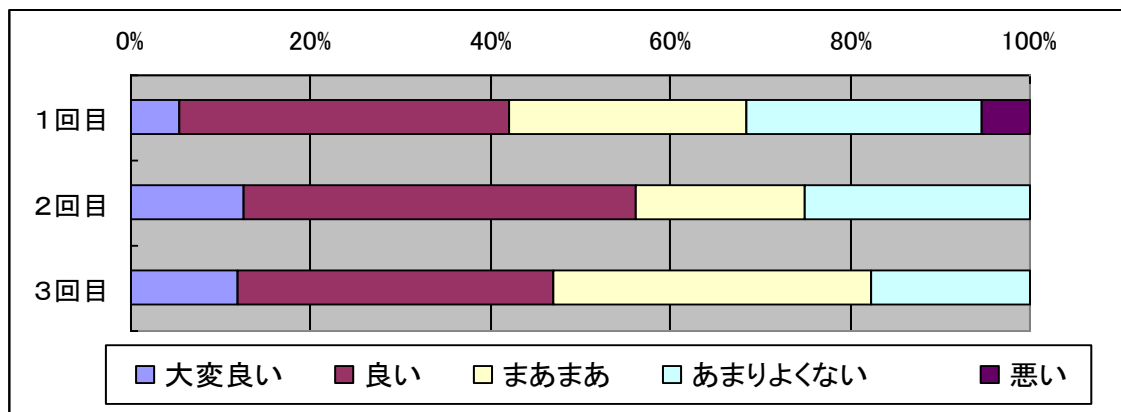
よって、今回のようなヘルシーカンパニーの考え方は、地域との連携を大切にする地方の企業に向いており、地方がヘルシーカンパニーで元気になり、地域を活性することが出来ればと考える。

ヘルシーカンパニーの考え方は、従業員の運動不足の解消、休日や睡眠時間の確保し、結果として従業員が元気になり、生産性が向上することである。まず、健康づくりの時間の確保をどうするのが課題である。また、職場での人間関係によりモチベーションが下がり、生産性が下がることが分かっているが、実は、運動することで人間関係が改善されることも分かっている。

2) 社員調査の評価

- ・体調のよくない人が 3 割程度おられたが、開催ごとに健康意識が高まり健康状態が改善されていると考えられる。(図 I-1、II-1、III-1、下記のグラフ参照)
- ・期間は、12 月から 2 月までの 2 ヶ月であるが、6 ヶ月又は 1 年の経過を見ればさらに改善されることが考えられる。

あなたの現在の健康状態(体調)はいかがですか？



- ・運動、規則正しい食事、休養は必要と思っているが、実行できていないのが現状である。(図 I-2、I-3、II-2、II-4、II-6、II-8、III-9、III-12 参照)
経営者・管理職同様に、「健康になる方法」だけでなく、健康づくりを阻害している原因をなくす工夫が必要である。
- ・今回の健康セミナーが役立ったという方が多い。
理由として、難しい理論や机上のセミナーでなく、分かりやすく、実践的で、誰でも簡単に取り組める内容であったことが受け入れられた要因であると考えられる。特に 3 回目の温泉及びストレッチヨガのセミナーは予想以上の好評であり、実践により気持ちよいという体験が良い評価に繋がったと考えられる。
- ・地域行事へ参加していない人 4 名中 3 名が、月 1 回未満の運動であり、地域行事へ参加と運動回数とは相関関係がありそうだ。社交的な人は、運動をする可能性も高いと言えそうだ。
- ・健康情報の入手先は、インターネット及びTVが多いようである。
今後の住民への健康情報は、インターネットなどを使い告知することが考えられる。

(4) 成果と課題

1) 成果

地元企業の従業員のみならず、商工会加盟企業及び町の健康づくりが、単なる健康づくりでなく、生産性向上や地域の活性化につながることに気づいてもらえ、次年度に向けて大きく一步を踏み出すことが出来たことが大きな成果である。

次ぎに、健康づくり体験セミナーを通じて新しいつながりが出来、さらにネットワークが広がったことも成果である。

また、健康づくりプログラムにおいても、山茶花の湯やウォーキングコースなどの資源を活かし、地元企業や団体の協力、地元講師によるセミナー開催が、成功につながったと考える。

- ・セミナーを聞くことにより、確実に健康が大切であることに気づいていただけたこと。
 - ・まずは数社の企業の理解を得て、ヘルシーカンパニーの実践へ踏み出したこと。
 - ・町を中心に、ニコニコ健康ウォーキングの街実現に向け、ヘルシータウンへの一步を踏み出す足がかりができたこと。
 - ・セミナーを通じて地元の山茶花の湯やウォーキングコースや地元企業はじめ三神農業改良普及センター、さざんか工房（地元の地産地消グループ）などの各団体の活動を告知することが出来たこと。
 - ・佐賀ウォーキング協会、佐賀大学の協力や、山茶花ウォーキングクラブが立ち上がったこと。
- さらに、大塚製薬等の企業がCSRとして、地域の健康作り、元気づくりに参加協力してくれたことも大きな成果である。

2) 課題

人が健康づくりのために行動を変える場合は、行動変容ステージモデルとして、「無関心期」→「関心期」→「準備期」→「実行期」→「維持期」の5つの段階があるといわれている。

今回は、健康意識に関心がある企業の従業員を対象にセミナーを実施したが、今後は無関心の企業、従業員にも、健康意識を持って参加していただくようにする必要がある。

また、健康づくりには維持・継続が大切であり、いかにして継続できるようにするのかという点が課題といえる。

3) 課題解決のためには

・見ていて楽しそうであり、参加した方々から「よかったよ！」と評価していただけるものでなくてはならない。今回は、参加者の評価も高く、健康づくりに喜んで参加していただけた健康プログラムになっていたと思われる。今後の告知方法を検討する。

・健康づくりが難しいもの苦しいものであっては継続できない。誰でもいつでも簡単に参加出来るものでなくてはならない。そのために、難しい理論中心のプログラムでなく、地元の資源や特産を活かし、分かりやすく体験や実践ができる体験型にしたことが良かったと考える。健康づくりのセミナーに参加するというよりも、癒しツアーに参加し、運動・栄養・休養を体験する手軽さが大切といえる。

・今後は、福岡の都市圏から来られる時、ツアーでなくとも、いつでも、誰とでも、もしくは一人でも、簡単に参加し体験できる受け入れ体制が必要と考える。会員組織（山茶花ウォーキン

グ協会や山茶花メンバーズカードなど）をつくるなど検討する。

さらに、今回のセミナーのアンケートなどから健康づくりに関しての課題として分かったことは、「1日30分以上に運動が週2回必要であること」「規則正しく時間を決めて3食摂り、栄養バランスをとること」「休養を摂り、睡眠をとること」など必要と考えているが、それが実行できていないということである。

その原因として、「運動する時間がない」「仕事が遅くなり夕食の時間が遅れる」「睡眠時間が十分取れない」など、時間のつくり方、考え方に問題があることが明らかとなった。

以上のことから、健康づくりによって人を元気にするためには、健康づくりの方法を伝えるだけでなく、「時間のつくり方」「時間に対する考え方」の意識改革が必要であると考えられる。内容として、健康であることが自分の人生にとってどれだけ大切であるか知ること。家族にとって、企業にとって、行政及び地域にとって、健康がどれだけ大切であるかを再認識することである。

従業員（≡住民）が、お互いが理解し、時間を奪い合うのではなく、時間を捻出できるように助け合う精神が大切であることを伝えていく必要がある。その意味で、企業が業績向上を視野に入れ、従業員の健康を考えるヘルシーカンパニーの考え方、行政が地域の活性や保険料の削減を視野に入れたヘルシータウンの考え方が重要となってくる。

次年度の課題として、以上のことを視野に入れ現プログラムと新たな健康づくりプログラム作成に繋げたい。また、推進体制の確立も必須である。

3. 本格的実施に向けて

(1) 産官学の健康づくりチームの結成

初年度は、地元企業及び諸団体の協力の元、地元企業及び行政関連の従業員を対象に全3回にわたるセミナーを通じて健康体験プログラムを模索してきた。次年度以降は、福岡都市圏の住民（企業、行政関連の従業員）を対象に、地元の資源を生かした健康（運動・栄養・休養）体験プログラム及び健康イベント（仮称：吉野ヶ里ニコニコ健康ウォーキングなど）を実践するために、現在の協力団体を集結し産官学のチームを結成する。

産官学のチームを結成することで、地域資源に諸団体の資産が加わり、それぞれが相乗効果を発揮し、新たな健康づくり商品やイベント・吉野ヶ里ニコニコ健康ウォーキング事業の立上げを目指す。

町では、町長をはじめ役場内の各関連部門の横の連携を密にしていくことが重要である。また、栄養、食育においては、三神農業改良普及センターなど、県との連携の強化、運動と栄養においては、大塚製薬、運動関連のプログラムは佐賀大学、地産地消・食はさざんか工房（地元の地産地消グループ）、温浴プログラム等の休養関連はツルカメ等との連携が必要である。

参加メンバーが目的を共有し、役割分担を明確にし、商品化を進めていく。

- ① ニーズの把握と問題点の明確化
- ② 問題解決策の情報収集
- ③ 問題解決策の絞込み
- ④ 健康プログラム及び健康イベントの商品化
- ⑤ 上記商品の告知、プロモーション

地元はもとより、他の地域からも好まれるホスピタリティーが行き届いた笑顔と挨拶の町を実現するためには、地域住民自らの積極的な参加が重要である。

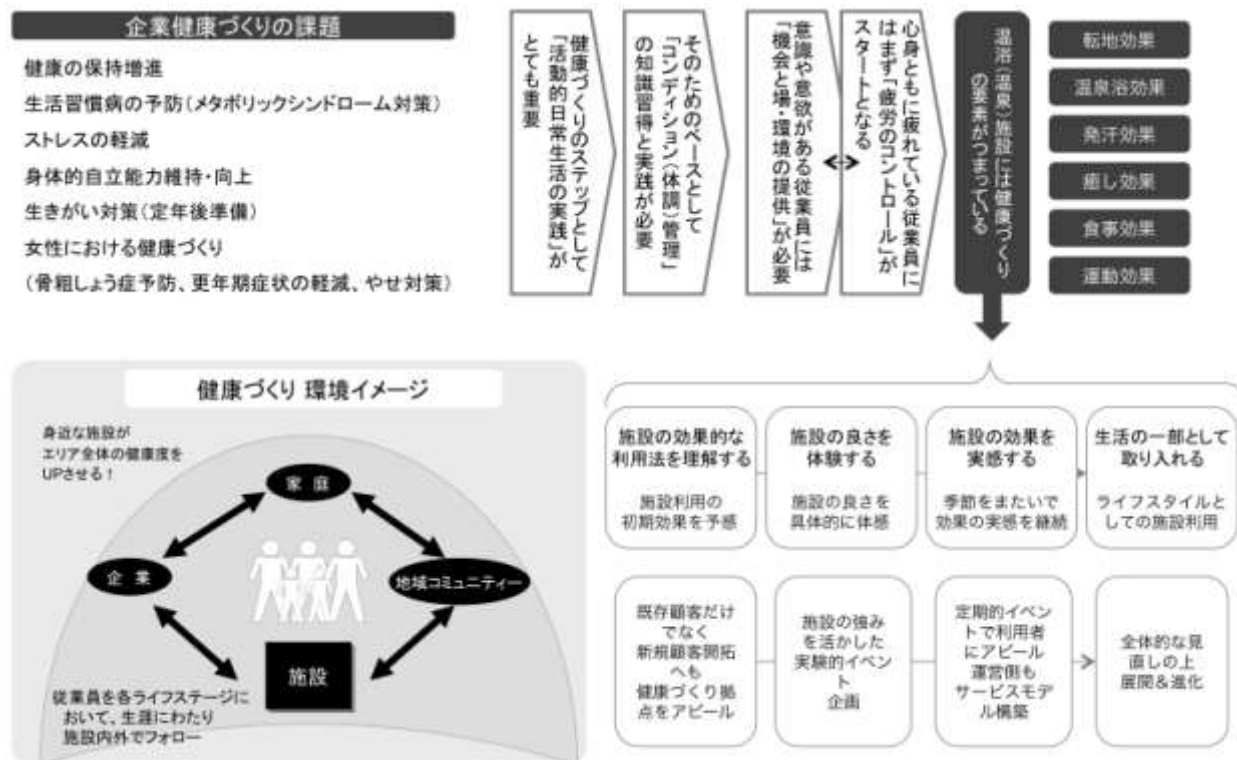
また、福岡都市圏の住民（企業、行政関連の従業員）を対象にするためには、福岡都市圏の団体参加も必要であり、産官学から産官学民の連携へと繋げていきたい。

(2) 山茶花の湯を活用した企業・従業員の健康づくり

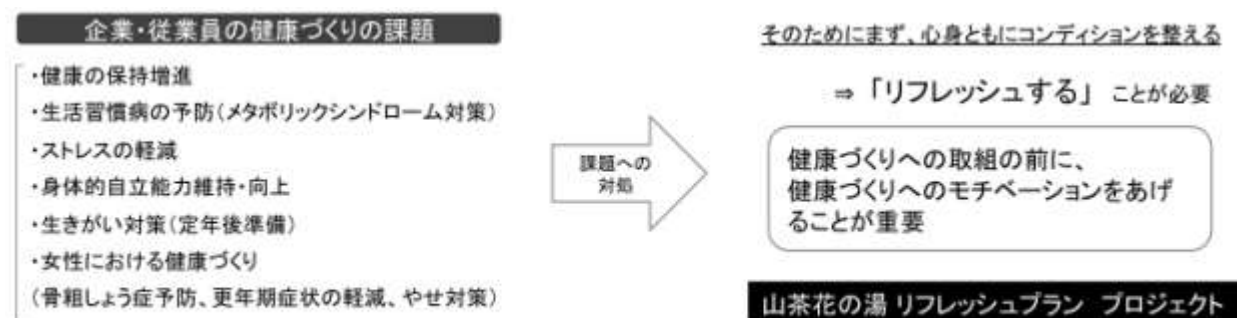
当社が運営する温浴施設「山茶花の湯」では、地域住民や福岡都市圏に対する健康づくりに対して下記のような事業展開を想定している。

1. 「山茶花の湯」を活用した企業・従業員の健康づくり

-1)



-2)

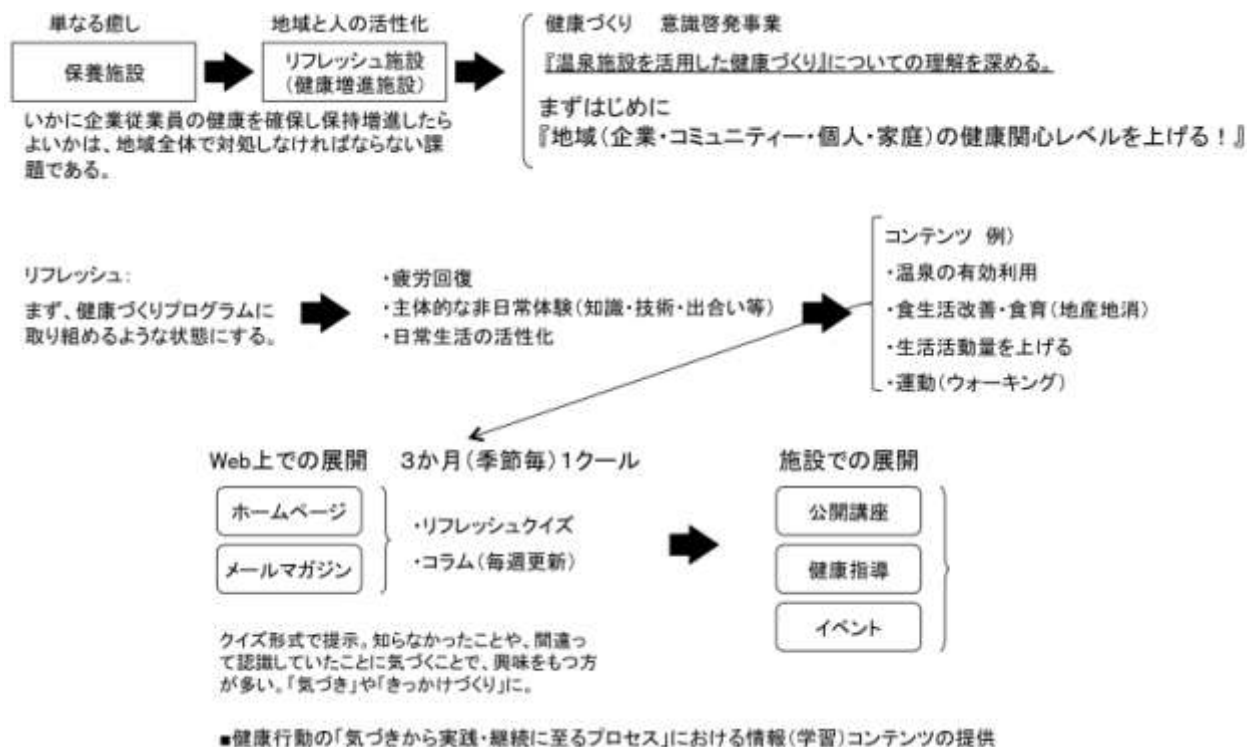


「リフレッシュのイメージ」

従業員が効果的にリフレッシュできれば、その生産性が向上したり、新しい発想が生まれたりすることが期待できる。

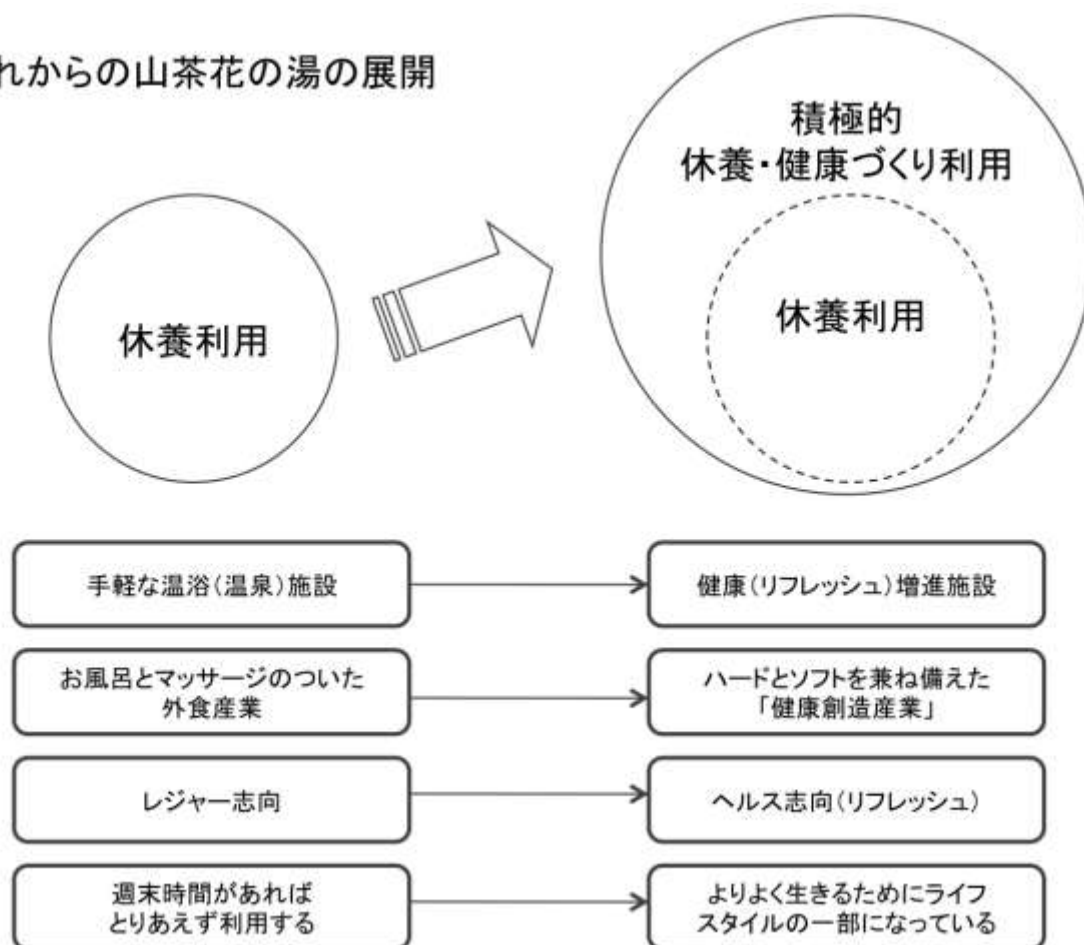
疲労回復	日頃のストレスから解放されて新たなやる気が生じてくること
主体的な非日常体験	主体的に新しい知識・技術・伝統文化・芸術・自然・食・友人などに出会うこと
日常生活の活性化	リフレッシュ後の日常生活がより健やかで豊かに過ごせること

-3)

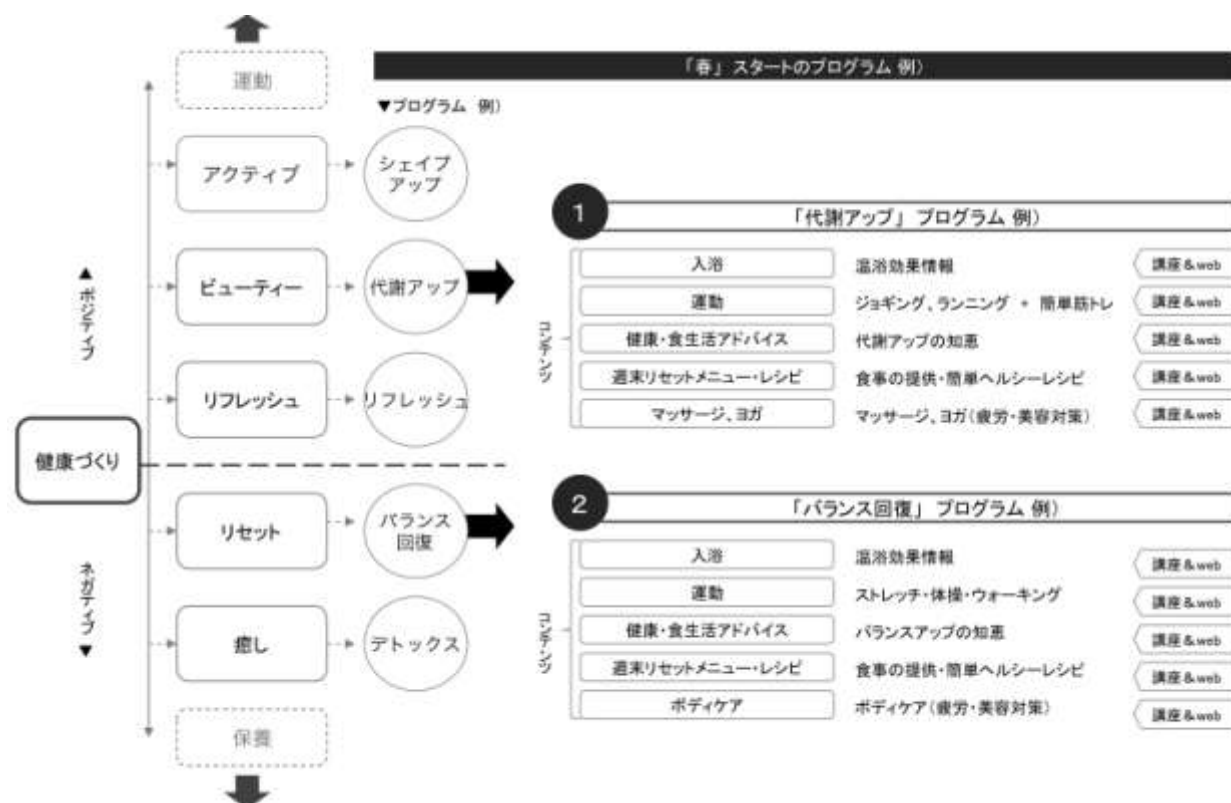


2. 施設展開イメージ

これからの山茶花の湯の展開



3. 施設プログラム



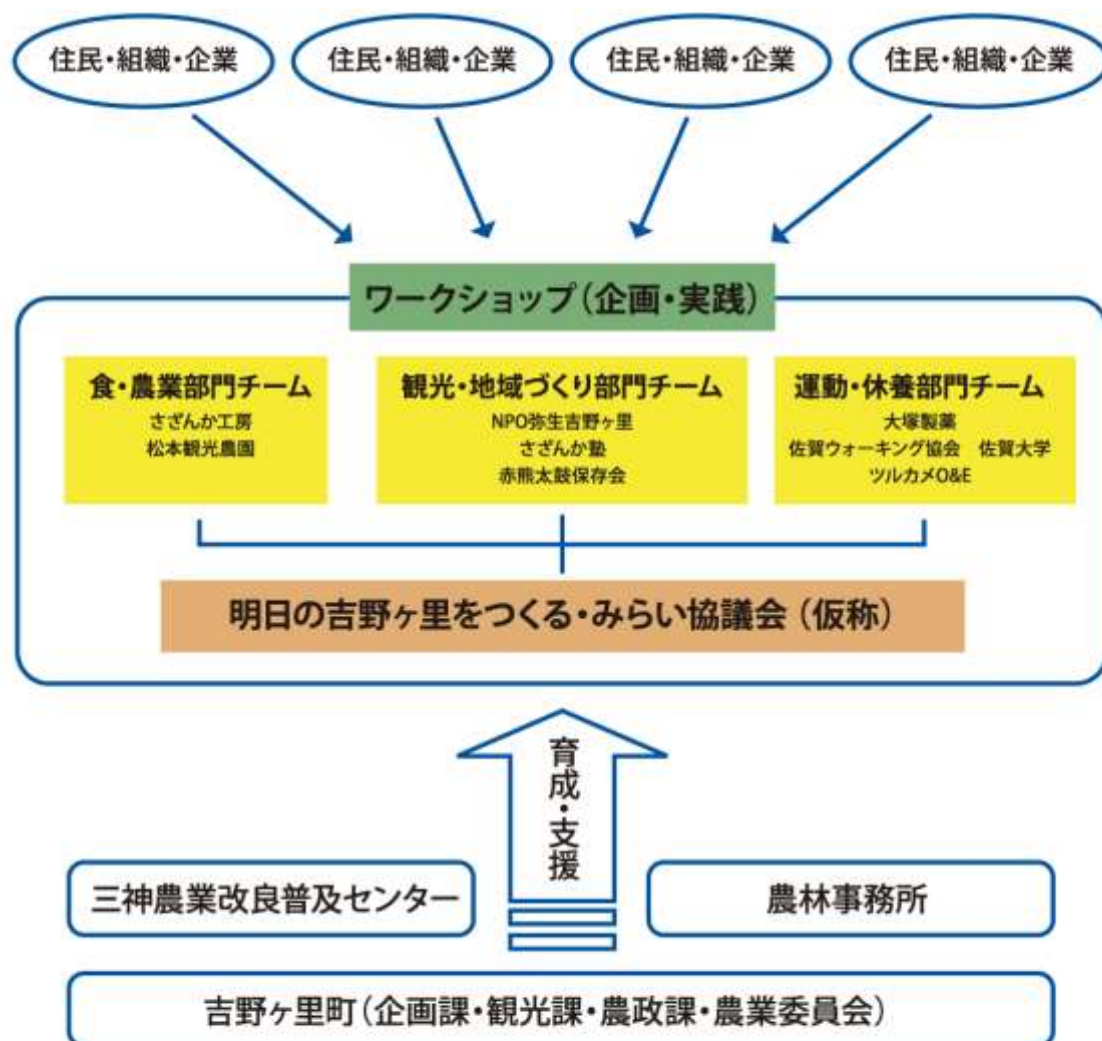
4. スケジュール



第3章 今後の実施に向けた実施体制について

今年度実施した体験プログラムの継続的開発、提供、ならびに販路拡大、商品開発など事業を展開していくためにも、各主体が参画する組織の設置が必要である。また、健康づくりのプログラムの継続的实施をしていくためにも、産官学の健康づくりチームの立上げが必要である。

そのため、今後、行政がサポートした上で、地域住民や企業等の連携による協議会を設置し、ワークショップ形式で企画や実践内容を検討していくものとする。



※町民協働の視点から行政はパートナーとして

補足説明

補足説明-1) スイス、レストランショーにて吉野ヶ里町産「栄西茶」の試飲サービスを実施

近い将来、欧州海外からのインバウンドツアーを企画するための事前調査として、スイス・ローザンヌで開催された食の見本市「ガストロノミア」に出展したジェトロのブースでの日本茶試飲サービスをはじめ、文化交流イベントにて栄西茶をPRした。



【狙い】

欧州では紅茶は盛んに飲まれているが、日本茶と紅茶はもとの原料の茶木は共通である。中国より伝わり日本の文化として根付いたお茶、千利休によって茶道として確立された。日本茶のルーツとも言える栄西茶は、日本の心「おもてなし」の文化にこだわり、生産されている。

近年ヨーロッパ各国では、日本文化の人気の一段と高まりつつある。しかし日本では「おもてなし」はすでに減りつつあるが、栄西茶の産地である吉野ヶ里町が提案する「おもてなし」を再発見する旅の価値は、逆に海外から教えてもらうことになると思う。

【実施内容】

- ・ 期間：2010年11月7日～10日
- ・ 場所：Switzerland ローザンヌ GASTRONOMIA（ガストロノミア） ジェトロブース
- ・ 提供：急須、紙カップにて来場者に試飲を勧めた。
- ・ 栄西茶のPR用のPOP（英語版）を作成し、日本茶の持つ健康効果（カテキンの効能等）を知ってもらい、レストラン等で食後に提供するお茶として日本茶を提案。
- ・ 日本の産品紹介、日本向け文化ツアーを企画/催行しているジャパンコンシェルジェAG（チューリッヒ本社）の協力のもとジェトロスイスへ提供。

Japan Concierge AG

Stampfenbachstrasse 52 8006 Zurich Switzerland Phone +41 (0)43 317 17 47

【栄西茶 PRPOP】

Japanese Tea 日本茶

EISAI-CHA

Eisai, the master of Zen Buddhism introduced tea and Zen to Japan. Both of the elements became the center of spiritual culture in Japan. Try it for yourself, to enjoy a true Japanese cultural experience.

About Eisai Green Tea (Eisai-cha)

Beginning of Japanese Tea
The history of Japanese tea began in the 600s (AD). Tea and Buddhism were introduced to Japan from the Tang Dynasty (China). Tea culture didn't spread too much around that time, however, in 1191, a few hundred years after its introduction, Eisai, a master of Zen Buddhism, brought tea from China after finishing a spiritual journey. This was the beginning of Japanese tea culture. Eisai brought tea seeds from China and started to plant them in the front yard of Mt. Seirin temple in northern Kyushu. This location is known as the birthplace of Japanese tea. And for his actions, Eisai is known as the father of Japanese tea. Today, tea plants are still growing on Mt. Seirin temple grounds.

Eisai Green Tea, the root of Japanese Green Tea
The biggest difference from regular Japanese green tea and Eisai tea is in the harvesting process. Eisai tea is dry-roasted in a metal pot, on the other hand Japanese green tea leaves are usually steamed to keep the green color. Therefore, the color of Eisai tea is Golden brown, and tastes more like Chinese oolong tea. Today, only 30 tea farmers produce Eisai tea. And, it is only distributed in the northern Kyushu area.

How to drink Eisai tea
We recommend heating the water to about 70°C for the first cup to taste the wonderful flavor of the tea. For the second cup, you should use an even higher temperature, you will taste some bitterness because more caffeine and catechin dissolve in the water.

Amount of tea: 5g of tea leaves per person

JAPAN SPECIALIST Tour & Trade Japan Concierge AG
Stampfenbachstrasse 52, 8606 Zürich, Switzerland
Tel : +41-43-317-1747 Fax : +41-44-212-6088 E-mail : info@japan-concierge-net.com

【ガストロノミアとは】

スイス、ローザンヌで開催されるホテル業、料理の分野で専門見本市（スイス国内のホテルの飲食チーフやレストランオーナーなど業界関係および一般も来場）で、欧州各国に加え、世界中からの売り込みがある。

gastronomia

du 7 au 10 novembre 2010 | Lausanne
Salon professionnel romand de l'hôtellerie et de la gastronomie



【会場ジェトロブースの様子】



【補足】

2010年12月～11年1月の間、ローザンヌ、チューリッヒにて開催の日本文化イベント狂言公演&大江戸物産展、新年会等で日本食、梅酒、日本酒の試飲とともに「栄西茶」でおもてなし、日本茶PR。



日本文化イベント狂言公演&大江戸物産展で展示&試飲おもてなし



スイス日本人会 新年会&落語イベント
参加者にお茶のおもてなし

1.

ウエルタウン吉野ヶ里に向けて	
テーマ	吉野ヶ里町は、自然と共生し、健康づくりを進める「ウォーキングとニコニコ笑顔と挨拶の町」。地域の独自性・優位性を十分発揮し、訪れる人におもてなしをする、また来たい、住みたい町に。ウォーキングを通じ、住民の健康づくりと福岡都市圏との健康交流を目指そう！
1、挨拶と笑顔のまちづくり。住民で、「笑顔とあいさつ」の健康マナーウォーキング運動を	2、地域交流として、福岡都市圏からの集客。周辺事業の創造で経済活性化
・みんなで、誘い合ってウォーキングをしよう。 ・道ですれ違ったら、「おはよう」「こんにちは」「こんばんは」と笑顔で挨拶をしよう。 ・ウォーキングのときは、太陽や緑の木、青い空に感謝しよう。雨の日も、雨に感謝しよう。 ・歩くときは、良い姿勢で、背中を丸めず、胸を張って、大きく腕を振って上を向いて歩こう。 ・できることなら、太陽と共に早起きして、すがすがしい朝にウォーキングをしよう。 ・適度なウォーキングが、深い睡眠を誘う。成長ホルモンが分泌される12時までは、寝よう。 ・道にごみが落ちていたら拾う。 ・家に帰ったら、靴をそろえて脱ごう。 ・ウォーキングの途中に、困っている人がいたら、助けてあげよう。 ・ウォーキングを通じて、健康づくりを実践し、規則正しい生活習慣とマナーを身に付けよう。	・「ウォーキングとニコニコ笑顔と挨拶のまち」にむけて、ホスピタリティー精神を。 ・サービスは、サービスを受けた人が喜ぶだけ。ホスピタリティーは、サービスを提供し他人も喜ぶこと。 ・新しいウォーキング事業を創造する。 ・従来のウォーキングではなく、地域全体でおもてなしをする。ウォーキングを通じて、さまざまな商品やサービスを提供するウォーキング事業を立ち上げる。 勉強会の開催 ①関係者の勉強会において開催されるモニターツアーで提供できるサービスを検討する。 ②住民の勉強会で、ウォーキングコースを作り、さまざまなウォーキングの楽しみ方を検討し、自らがおもてなしが出来る観光スポットとコースを提案する。 ③地元企業50社等の勉強会で、ウォーキング事業のワークショップを開催する。内容は、①ウォーキングの意味。②ウォーキング周辺ビジネスについて ③創造、アイデア発想について ウォーキングに関連した新しい周辺ビジネスを検討する。

2.

大塚製薬と町、ツルカメO&Eでウェルネス・タウンの実現(Ⅱ)	
目的	吉野ヶ里町のリーディングカンパニーのCSRとして、町の健康づくりを応援し、(住民及び地元企業の健康に対する意識改革をサポート)地域の元気に寄与する。
1、ヘルシーカンパニーのモデル企業として大塚製薬が健康運動事業を社内で推進。	2、大塚製薬の健康運動事業の内容を、地元住民及び地元企業に提供する。
・大塚製薬が、従業員への健康投資を開始。 ・ウォーキングを中心とした生活習慣の改善で、生産性の向上、医療費の削減などの効果測定。 ・従業員の健康投資が、従業員満足にもつながることを明らかにしそれを公開する。 ・町、大塚製薬、ツルカメO&Eで、協議会を結成し実施する。既存のウォーキング計画を後援する。	・大塚製薬の従業員は、同時に地域住民でもあり、地元詳しく、健康意識も高い。 ・大塚製薬の従業員が、健康づくりのリーダーとして、早朝のウォーキングや、健康マナーウォーキングを実践する。地域住民向けの健康教育を実施。 ・企業経営者に、ヘルシーカンパニーの結果報告をする。
3、大塚製薬の健康運動事業の内容を、学校に提供する。ヘルシースクールへ	4、町も、ウエルタウンめざし、町長以下健康づくりに取り組む。
・小学校から中学、高校まで、子ども達の生活習慣改善教育の実施に協力。・運動・栄養・休養のコンテンツ、特に食を提供する。 ・工場見学の推進。	・吉野ヶ里町は、ウエルタウンへの取り組みを住民に宣言し、職員自らが健康マナーウォーキング運動を推進し、地元の活性化に対し模範を示す。

ウォーキング事業の立上げに向けて(Ⅲ)

<イメージ>

健康づくり = 休養(=温泉、瞑想、深呼吸)

現代の湯治場

温泉プログラム

山茶花の湯、移築古民家での瞑想

+ 運動(=ウォーキングなど)

まずは歩こう！

自然(森林浴、森林療法、森林セラピー等)

運動としてのウォーキング、効果測定、エビデンス

歩きながら地域の歴史、文化を知る。

歩きながら仲間づくり(コミュニティー)

歩きながら社員同士のきずなを深める。

+ 食(=地元の安全な食べ物)

食育ネットワーク

地産地消、農業体験

伝統食・文化

◎まずは、自分たちの視点でウォーキングコース選定

◎第三者の視点を活用して、自分の地域をもう一度見直して、その魅力を再発見し、発掘された地域資源をさらに高めることによって、他の地域との差別化を図ることが可能性になる。

◎企業(CSR、ヘルシーカンパニー)が参加、協力することでより強力に前進する。

11/21 五ヶ山ダム 水源地を訪ねてツアーアンケート調査票

この度は、「五ヶ山ダム水源地を訪ねてツアー」にご参加いただき、ありがとうございます。

吉野ヶ里町では、今般、五ヶ山地域活性化のため各種体験プログラムを設定してモニターツアーを実施します。ご参加の方々のご意見をもとに、町の観光戦略、今後の継続的な取組みに向けた検討材料とさせていただきます。つきましては、下記アンケートにご回答くださるよう、何卒、よろしくお願い致します。

なお、ツアーの途中であっても、記入できる設問から随時ご記入ください。

問1. あなたの属性について下記の内容をお答えください。

性別	男	女	ご年齢	歳	居住地	県	市・郡・町
----	---	---	-----	---	-----	---	-------

問2. これまでの来訪回数について、下記の設問にお答えください。

(1) 吉野ヶ里町へはこれまで何回訪問したことがありますか？

1. 毎年のように行く	2. 行ったことがある ⇒これまで () 回
3. 一度も行ったことがない	

(2) 山茶花の湯へはこれまで何回訪問したことがありますか？

1. 毎年のように行く	2. 行ったことがある ⇒これまで () 回
3. 一度も行ったことがない	

問3. ツアー内容について下記の設問にお答えください。

(1) このツアーの内容を事前に聞いて、最も期待していたことは何ですか？

--

(2) ツアーに参加して最も印象に残ったプログラムは何ですか？

--

(3) このツアーのプログラムについて、項目ごとに5段階で評価し、評価すべきこと、改善すべきこともお答えください。(5. とても満足 4. ほぼ満足 3. どちらともいえない 2. やや不満 1. 大変不満)

【記入例】

項 目	評価	コメント (評価できること、改善点など)
ツアー全般	4	景観が良いポイントを繋いでいて得した気分になる
五ヶ山ダム展望所	3	展望所の説明をもっと多くした方がよい
車中ダム案内	3	〇〇～〇〇にかけての階段に手すりを設置して欲しい

項 目	評価	コメント（評価できること、改善点など）
ツアー全般		
ダム説明		
五ヶ山エリア案内		
古民家 五ヶ山ダム歴史講演		
温泉 山茶花の湯		
地産池消弁当		
その他		

（５）今回のツアー料金はモニターツアー価格であり、通常であれば、最低でも 5,000 円程度になると考えられますが、それでも参加されますか？

1. 参加する 2. 内容によって参加する（変更したい内容： ） 3. 参加しない

（６）今回のツアーを今後どのようなところに参加を呼びかけたらよいと思いますか？
（NPO 組織など、具体的な団体・組織などがあれば教えてください。）

問４．この地域で、今回のツアーの訪問先以外に訪ねたい場所を教えてください。

問５．今後、この地域にどのような催しがあれば、参加されますか？
＜該当するものすべてをお選びください＞

1. 座禅止観健康ツアー 2. ウォーキングツアー、森林セラピー
3. お茶・もてなし・テーマツアー 4. 農業体験（芋狩り、いちご狩り等）
5. 食（地産地消）の重要性を知るツアー 6. その他（ ）

問６．この地域で感じられたこと、気になったこと、活かすべきことなどを、お書きください。

ご回答ありがとうございました。

企業の健康づくりに関する事前アンケート調査協力をお願い（商工会用2）

2011年2月16日

業種をお書きください。	「	」
従業員数をお書きください。	「	」
社名（できれば。無記名でも可）	「	」

該当する項目に○を付けて下さい。

1-1) あなたの現在の健康状態はいかがですか？

☐ 大変良い ☐ 良い ☐ まあまあ ☐ あまりよくない
☐ 悪い

1-2) あなたは現在どの程度の運動（1日30分以上）をしていますか？

☐ 週2回以上 ☐ 週1回程度 ☐ 月2回程度 ☐ 月1回程度
☐ 月1回未満

1-3) 日常的な話が出来る知人や友人が沢山いますか？

☐ かなり沢山 ☐ 十分 ☐ 普通 ☐ 少ない
☐ いない

1-4) 地域の行事によく参加していますか？

☐ かなりしている ☐ している ☐ 普通 ☐ あまりしていない
☐ していない

2-1) あなたは健康に対する意識が高いですか？

☐ かなり高い ☐ 高い ☐ 普通 ☐ 少し低い
☐ 低い

2-2) あなたは健康に対する情報を積極的に入手していますか？

☐ かなりしている ☐ している ☐ どちらとも ☐ あまりしていない
☐ していない

2-3) あなたは健康情報をどこから入手しますか？ 該当するものに○を付けて下さい。（複数可）

☐ インターネットなどのweb ☐ 新聞 ☐ 雑誌
☐ TV ☐ ラジオ ☐ 町からの広報誌
☐ 会社 ☐ 家族 ☐ 知人
☐ その他

2-4) 健康のために払ってもよい金額は月当たりいくら位ですか？

☐ 1万円以上 ☐ 5千円以上 ☐ 千円以上 ☐ 百円以上
☐ 0円

御社の従業員についてお聞きします。

- 3) 従業員の健康状態は、活力がありいつも元気だと思われますか？
() かなり思う () 少し思う () どちらとも () あまり思わない
() 思わない
- 4) 従業員の元気がない場合、原因はなんだと思われますか？ 該当する物に○を付けて下さい。
() 人間関係 () 運動不足 () 栄養不足 () 食べ過ぎ、飲みすぎ
() 寝不足 () 遊びすぎ () 働きすぎ、疲れの蓄積 () 、
() その他
- 5) 従業員の健康状態（体調）が業績に影響すると思われますか？
() かなり思う () 少し思う () どちらとも () あまり思わない
() 思わない
- 6) 従業員の健康のために具体的に何かおこなっていますか？
() ラジオ体操 () 健康教育 () ストレスチェック () 専門家の設置
その他の場合、下記 1 1) へ
- 7) 従業員向けの生産性向上を目的とした健康セミナーは必要と思われますか？
() かなり思う () 少し思う () どちらとも () あまり思わない
() 思わない
- 8) 従業員の健康づくりの為に健康投資は必要と思いますか？
() かなり思う () 少し思う () どちらとも () あまり思わない
() 思わない
- 9) 従業員の健康のために払ってもよい金額は月当たり一人いくら位ですか？
() 1 万円以上 () 5 千円以上 () 千円以上 () 百円以上
() 0 円
- 1 0) 昨年 11/17 の例会の様なヘルシーカンパニーを目指すセミナーは必要と思われますか？
() かなり思う () 少し思う () どちらとも () あまり思わない
() 思わない
- 1 1) 従業員の健康のために具体的におこなっていることがあればお教えてください。
福利厚生でおこなっていますか？

--

- 1 2) その他、お気づきの事などありましたら自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

企業の健康づくりに関する事前アンケート調査協力をお願い（社員用3）

2011年2月14日

業種をお書きください。 「
社名（無記名でも可） 「
お名前（無記名でも可） 「

該当する項目に○を付けて下さい。

1-1) あなたの現在の健康状態はいかがですか？

() 大変良い () 良い () まあまあ () あまりよくない
() 悪い

1-2) あなたは現在どの程度の運動（1日30分以上）をしていますか？

() 週2回以上 () 週1回程度 () 月2回程度 () 月1回程度
() 月1回未満

1-3) 日常的な話が出来る知人や友人が沢山いますか？

() かなり沢山 () 十分 () 普通 () 少ない
() いない

1-4) 地域の行事によく参加していますか？

() かなりしている () している () 普通 () あまりしていない
() していない

2-1) あなたは健康に対する意識が高いですか？

() かなり高い () 高い () 普通 () 少し低い
() 低い

2-2) あなたは健康に対する情報を積極的に入手していますか？

() かなりしている () している () どちらとも () あまりしていない
() していない

2-3) あなたは健康情報をどこから入手しますか？ 該当するものに○を付けて下さい。（複数可）

() インターネットなどのweb () 新聞 () 雑誌
() TV () ラジオ () 町からの広報誌
() 会社 () 家族 () 知人
() その他

2-4) 健康のために払ってもよい金額は月当たりいくら位ですか？

() 1万円以上 () 5千円以上 () 千円以上 () 百円以上
() 0円

3-1) あなたはどの程度の頻度で温泉に入りますか？

() 週1回以上 () 月1回以上 () 年2回以上 () 年1回以上
() 年1回未満

3-2) あなたはどの程度の頻度で温泉に入りたいですか？

() 週1回以上 () 月1回以上 () 年2回以上 () 年1回以上
() 年1回未満

3－3) 温泉は、健康づくりに役立つと思いますか？

() かなり思う () 思う () どちらとも () あまり思わない
() 思わない

3－4) 心身の休養において温泉の良いところをお書きください。

--

4－1) あなたは1分以上のストレッチ、深呼吸、瞑想などの積極的休息をどの程度取っていますか？

() 日に1回以上 () 週1回以上 () 月1回以上 () 年1回以上
() 年1回未満

4－2) あなたは1分以上のストレッチ、深呼吸、瞑想などの積極的休息をどの程度必要と思われますか？

() 日に1回以上 () 週1回以上 () 月1回以上 () 年1回以上
() 年1回未満

4－3) ストレッチ、深呼吸、瞑想などの積極的休息は、健康づくりに役立つと思われますか？

() かなり思う () 思う () どちらとも () あまり思わない
() 思わない

4－4) ストレッチ、深呼吸、瞑想の良いところをお書きください。

--

5－1) 今日のウォーキングの指導は役に立ったと思われますか？

() かなり思う () 思う () どちらとも () あまり思わない
() 思わない

5－2) 今日のストレッチヨガのセミナーは役に立ったと思われますか？

() かなり思う () 思う () どちらとも () あまり思わない
() 思わない

5－3) 今日の入浴法のセミナーは役に立ったと思われますか？

() かなり思う () 思う () どちらとも () あまり思わない
() 思わない

5－4) 今回のような健康セミナーシリーズは必要と思われますか？

() かなり思う () 思う () どちらとも () あまり思わない
() 思わない

5－5) その他、お気づきの事などありましたら自由にお書きください。

--

ご協力ありがとうございました。